

\*本冊子に掲載している内容は、  
一部変更となる場合があります。

内容解説資料  
地 総 - 703

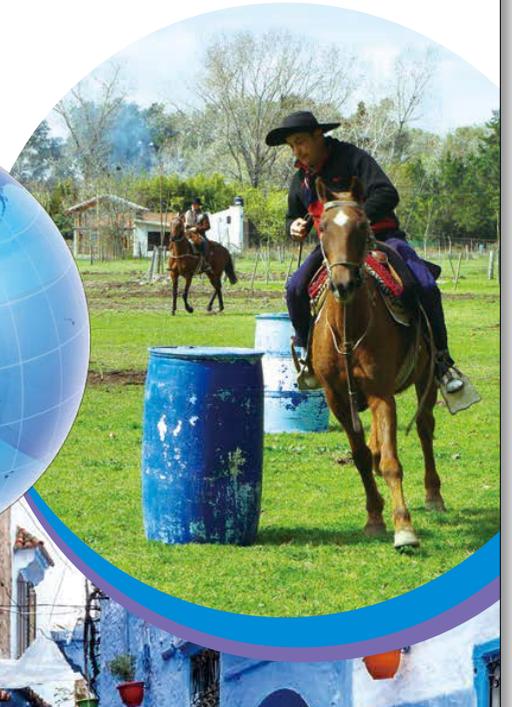
「教科書発行者行動規範」  
に則っております。

文部科学省検定済教科書 高等学校地理歴史科用  
46 帝国 地総-703

高等学校

# 新地理総合

帝国書院



暮らしが見える！ “今”がわかる！ 技能が身に付く！

## 地理総合教科書の決定版

新科目「地理総合」のポイントと教科書の特徴	2	見開き構成	22
全体構成	4	試し読み	24
<b>特色1</b> 人々の暮らしが見える 「生活文化」	6	QRコンテンツ	68
<b>特色2</b> 国際協力の視点から社会づくりを考える 「地球的課題」	12	デジタル副教材	69
<b>特色3</b> 災害発生のメカニズムから対策まで学べる 「防災」	16	指導資料・関連教材	70
<b>特色4</b> 実践的な地理的技能が身に付く 「地図とGIS」	20	特色一覧／著作者	裏表紙

暮らしが見える！ “今”がわかる！ 技能が身に付く！

# 地理総合教科書の決定版



## 高等学校 新地理総合

令和4(2022)年度発刊  
地総-703  
AB判 238ページ

### ■ QRコンテンツ

動画や用語解説、一問一答、統計資料などのデジタルコンテンツが充実。さらに、簡単な操作でGISを活用した学習ができる「アクセスWebGIS」を用意。

\*詳細は本冊子p.68および帝国書院ウェブサイトをご覧ください。

### ■ 関連教材

デジタル副教材や指導資料などの関連教材が充実。

\*詳細は本冊子p.69-71および帝国書院ウェブサイトをご覧ください。

## ● 新科目「地理総合」のポイント

### ■ 学習の目的 -社会で役立つ実用的な資質・能力を身に付ける新科目として必修修化-

- ①持続可能な社会づくりを目指し、環境条件と人間の営みとの関わりに着目して現代の地理的な諸課題を考察すること。
- ②グローバルな視座から国際理解や国際協力の在り方を、地域的な視座から防災などの諸課題への対応を考察すること。
- ③地図や地理情報システムなどを用いることで、汎用的で実践的な地理的技能を習得すること。

出典：高等学校学習指導要領解説 地理歴史編

### ■ 地理 A と地理総合の内容の比較

地理 A の内容	地理総合の内容
<b>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</b>	<b>A 地図や地理情報システムで捉える現代世界</b>
ア 地球儀や地図からとらえる現代世界	→ (1) 地図や地理情報システムと現代世界
イ 世界の生活・文化の多様性	<b>B 国際理解と国際協力</b>
ウ 地球的課題の地理的考察	→ (1) 生活文化の多様性と国際理解
<b>(2) 生活圏の諸課題の地理的考察</b>	→ (2) 地球的課題と国際協力
ア 日常生活と結び付いた地図	<b>C 持続可能な地域づくりと私たち</b>
イ 自然環境と防災	→ (1) 自然環境と防災
ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査	→ (2) 生活圏の調査と地域の展望

●大項目はA~Cの3つに編成されたが、中項目は地理Aの内容が活かされている。



## 人々の暮らしが見える 「生活文化」

- 臨場感ある写真と因果関係がわかる本文記述
- 地理学習の基礎を習得できる学習項目
- 諸地域の事例を通して国際理解を深める構成

● ● ●  
本冊子  
p.6-11



## 国際協力の視点から社会づくりを考える 「地球的課題」

- 具体事例をもとに地球的課題を考察する構成
- 国際協力が見える 特設「持続可能な社会づくりに向けて」

● ● ●  
本冊子  
p.12-15



## 災害発生のメカニズムから対策まで学べる 「防災」

- 災害発生のメカニズムがわかる模式図と解説
- 実践的な防災行動が身に付くアクティビティ

● ● ●  
本冊子  
p.16-19



## 実践的な地理的技能が身に付く 「地図とGIS」

- 地図やGISの活用方法を段階的に学べる展開

● ● ●  
本冊子  
p.20-21

## 人々の暮らしとの関わりを重視

↓教科書 p.2-3

### もくじ

世界の祭りを訪ねて……巻頭 1 私たちが地理を学ぶ意義……1

#### 第1部 地図でとらえる現代世界

##### 第1章 地図と地理情報システム 5

1 節 地球上の位置と時差……6

1 地球上の位置と私たちの生活……6

2 時差と私たちの生活……8

SKILL 1 時差の計算……9

2 節 地図の役割と種類……10

1 地球儀と地図……10

2 身の回りの地図……12

SKILL 2 地形図の利用—地図記号—……14

SKILL 3 地形図の利用—縮尺と等高線—……15

3 統計地図の種類と利用……16

SKILL 4 等値線図の作り方……18

SKILL 5 階級区分図の作り方……19

4 地理情報システム(GIS)の活用……20

SKILL 6 地理院地図の利用……22

SKILL 7 e-Stat と jSTAT MAP の利用……24

SKILL 8 WebGIS の活用……26

##### 第2章 結び付きを深める現代世界 27

1 節 現代世界の国家と領域……28

1 現代世界の国家……28

2 日本の位置や領域……30

2 節 グローバル化する世界……32

1 国家間の結び付き……32

2 貿易によって結び付く世界……34

3 さまざまな交通網の発達……36

4 世界を結ぶ通信網の発達……38

5 観光のグローバル化……40

SKILL 9 統計資料の活用……42

#### 第2部 国際理解と国際協力

##### 第1章 生活文化の多様性と国際理解 43

序説 生活文化の多様性……44

1 生活文化を考察する方法……44

1 節 世界の地形と人々の生活……46

1 大地形と人々の生活……46

2 変動帯と人々の生活……48

3 安定地域と人々の生活……50

4 河川がつくる地形と人々の生活……52

5 海岸の地形と人々の生活……54

6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活……56

SKILL 10 地形図の利用—小地形と土地利用—……58

SKILL 11 空中写真の利用……59

2 節 世界の気候と人々の生活……60

1 気温・降水と人々の生活……60

2 大気循環と人々の生活……62

3 世界の植生と気候区分……64

SKILL 12 雨温図・ハイサーグラフの見方……66

SKILL 13 写真の読み取り方—気候—……67

4 熱帯の生活……68

5 乾燥帯の生活……70

6 温帯の生活……72

7 亜寒帯・寒帯の生活……74

SKILL 14 写真の読み取り方—生活文化—……76

追出事例 自然 1

乾燥した大陸と太平洋の島々での生活 —オセアニア— ……78

1 人々をひきつける多様な自然環境……78

2 自然環境を生かした産業と人々の生活……80

追出事例 自然 2

モンスーンの影響を受ける地域での生活 —東南アジア— ……82

1 モンスーンの影響を受けてきた人々の生活……82

2 気候を生かした農業と人々の生活……84

3 節 世界の言語・宗教と人々の生活……86

1 世界の言語と人々の生活文化……86

2 世界の宗教と人々の生活文化……88

追出事例 宗教 1

イスラームと人々の生活の関わり —中央アジア・西アジア・北アフリカ— ……90

1 イスラームを中心とした生活文化……90

2 乾燥地域で暮らすムスリムの生活文化……92

3 変化するムスリムの生活……94

追出事例 宗教 2

ヒンドゥー教と人々の生活の関わり —インド— ……96

1 インドの歩みとヒンドゥー教……96

2 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活……98

3 変化するヒンドゥー教徒の生活……100

追出事例 歴史 1

移民の歴史と人々の生活の関わり —ラテンアメリカ— ……104

1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化……104

2 大土地所有制が生み出した社会構造……106

3 外国資本による工業化と生活の変化……108

追出事例 歴史 2

植民地支配の歴史と人々の生活の関わり —サハラ以南アフリカ— ……110

1 生活文化に残る旧宗主国の影響……110

2 植民地支配の影響が残るアフリカの産業……112

3 人々の生活の変化と経済成長への取り組み……114

第1部 第1章  
地図の基礎からGISの活用方法まで習得できる。

第1部 第2章  
様々な地図から世界の結び付きを考察できる。

第2部 第1章  
世界各地の生活文化を通して、国際理解を深めることができる。

概論での基礎的な学習をもとに、学習を追究できる追出事例を設置。追出事例は世界の主要10の国と地域を掲載。

第2部 第2章  
具体事例をもとに地球的課題の解決に向けた国際協力のあり方を考察できる。

第3部 第1章  
災害のメカニズムから対策まで考察できる。

第3部 第2章  
地域調査の手法を丁寧に習得できる。

- 「生活文化」单元において、地形や気候など地理学習の基礎となる学習項目や、世界各地の生活文化を学べる地域事例が充実！
- 「地球的課題」や「防災」の学習を深めるための基礎知識を習得できる。

追出事例 歴史 3

国家体制の変化と人々の生活の関わり —ロシア— ……116

1 国家体制の変化が人々の生活に与えた影響……116

2 変化するロシアの産業……118

5 節 世界の産業と人々の生活……120

1 人々の生活を支える農業の発展……120

2 人々の生活を支える工業の発展……122

3 グローバル化する現代の産業と人々の生活……124

追出事例 産業 1

産業力が世界の生活文化に与える影響 —アメリカ合衆国— ……126

1 世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源……126

2 世界の食卓に影響を与える農業……128

3 産業の発展を支えてきた移民の力……130

追出事例 産業 2

経済成長による人々の生活の変化 —東アジア— ……132

1 東アジアの経済成長とその歩み……132

2 経済成長による中国の生活の変化……134

3 経済成長による韓国の生活の変化……136

追出事例 産業 3

地域統合が人々の生活や産業に与える影響 —ヨーロッパ— ……138

1 EU 統合と人々の生活……138

2 EU 統合による農業への影響……140

3 EU 統合による工業や社会への影響……142

SKILL 15 白地図による地域の特徴のまとめ方……144

追出事例  
概論

追出事例

#### 第2章 地球的課題と国際協力 145

1 節 複雑に絡み合う地球的課題……146

1 相互に関連する地球的課題とその解決に向けて……146

持続可能な社会づくりに向けて 1 SDGs について学ぼう……148

2 節 地球環境問題……150

1 多様な地球環境問題……150

2 熱帯林の破壊への対策……152

3 地球温暖化への対策……154

持続可能な社会づくりに向けて 2 海洋汚染について考えよう……156

3 節 資源・エネルギー問題……158

1 世界のエネルギー・鉱産資源……158

2 エネルギー利用の現状と課題……160

3 地域で異なるエネルギー問題への取り組み……162

持続可能な社会づくりに向けて 3 水の利用について考えよう……164

4 節 人口問題……166

1 世界の人口……166

2 発展途上国と先進国の人口問題……168

3 地域で異なる人口問題への取り組み……170

持続可能な社会づくりに向けて 4 教育の普及について考えよう……172

5 節 食料問題……174

1 飢餓と飽食……174

2 地域で異なる食料問題への取り組み……176

持続可能な社会づくりに向けて 5 食料生産について考えよう……178

6 節 都市・居住問題……180

1 世界の都市の発達……180

2 発展途上国と先進国の都市・居住問題……182

3 地域で異なる都市・居住問題への取り組み……184

持続可能な社会づくりに向けて 6 感染症の予防について考えよう……186

SKILL 16 関係図によるまとめ方……188

#### 第3部 持続可能な地域づくりと私たち

##### 第1章 自然環境と防災 189

1 節 日本の自然環境……190

1 日本の地形……190

2 日本の気候……192

2 節 地震・津波と防災……194

1 地震・津波による災害……194

2 地震・津波の被災地の取り組み……196

SKILL 17 ハザードマップの見方……199

3 節 火山災害と防災……200

1 火山の恵みと災害……200

2 火山と共生する地域の取り組み……202

SKILL 18 火山地形の読み取り方……205

4 節 気象災害と防災……206

1 さまざまな気象災害……206

2 気象災害への取り組み……208

さくいん……228

SKILL 19 水害の危険がある地域の読み取り方……211

5 節 自然災害への備え……212

1 減災の取り組み……212

2 被災地への支援……214

SKILL 20 防災ゲーム「クロスロード」の活用……215

持続可能な社会づくりに向けて 7 自然災害による被害を減らそう……216

SKILL 21 災害発生時の行動計画の立て方……218

##### 第2章 生活圏の調査と地域の展望 219

1 節 生活圏の調査と地域の展望……220

1 地理的な課題と地域調査……220

2 現地調査の準備……222

3 現地調査の実施……224

SKILL 22 新旧地形図の比較……225

4 調査の分析と発表……226

SKILL 23 ポスターセッションの方法……227

世界の家畜・鉱産物・農産物……巻末 1

【使用上の注意】 国名には略称を用いています。主な略称は以下のとおり。  
中国…中華人民共和国 韓国…大韓民国 北朝鮮…朝鮮民主主義人民共和国 ロシア…ロシア連邦

2 \*第2部 第1章の各節には、選択して学習する追出事例があり、ページの端に色を付けています(→ p.44)。

## 臨場感ある写真と因果関係がわかる本文記述

↓教科書 p.68-69, 本冊子 p.34-35 **試し読み**

臨場感ある写真で熱帯の暮らしがイメージできる。

- 人々の暮らしが見える臨場感ある写真を精選。  
帝国書院の社員が撮影したオリジナル写真も多数掲載。
- 地理的事象の因果関係や背景がわかる本文記述で、地理的な見方・考え方を働かせた学習ができる。

### 4 熱帯の生活

**学習課題** 熱帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。



←1 一年中観光客が訪れるビーチリゾート(インドネシア、バリ島、2018年7月) 年間を通して気温が高く、年較差が小さいため、一年中多くの人でにぎわう。

**読み解き** 写真1~4から読み取れる植生や生活文化は、熱帯の気候とどのように関わり合っているのだろうか。



自社撮影



自社撮影



自社撮影

↑2 熱帯の気候で育つ作物が並ぶ市場(インドネシア、2018年9月)

↑3 食事の様子(インドネシア、2018年9月) ご飯と野菜や魚を混ぜて食べる。

↑4 高床式の住居(インドネシア、9月) 木や竹などが家の材料になっている。



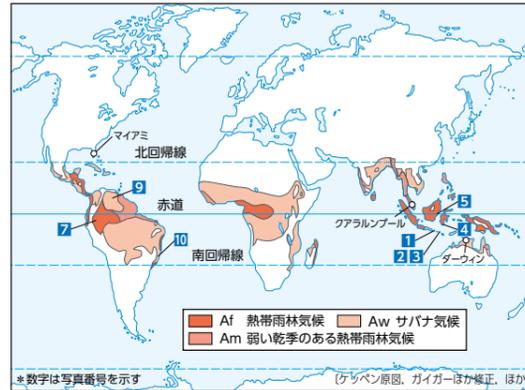
↑5 激しいスクールのなかを歩く子どもたち(インドネシア、サマリダ、9月)

●**熱帯雨林** 熱帯林のうち、特に降水量が多く、気温が高い地域に生育する森林のこと。南アメリカではセルバ、東南アジアやアフリカではジャングルとよばれる。

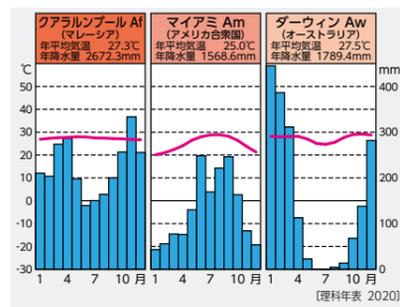
**高温多湿な熱帯の生活** 熱帯は赤道付近の低緯度に広がり、気温が高く降水量が多い。人々は豊富な森林資源や高温多湿な環境に適した家畜などを利用し、熱帯の気候に対応した生活文化を営んできた。

インドネシアの市場にはバナナやパイナップルなどの色鮮やかな熱帯性の農作物が並ぶ(写真2)。食事は米のほか、キャッサバやタロイもなどのいも類が主食である。年較差が小さく四季がないため、一年中風通しのよい衣服で過ごす。伝統的な住居には木材が使われ、床は高床になっており、家の中に熱や湿気がこもらないように工夫されている(写真4)。

(1) **熱帯雨林気候(Af)** 熱帯雨林気候は、ほとんどが赤道付近に分布し、一年中気温が高く、降水量が多い。午後には**スクール**という、激しい雨を伴う強風に見舞われることもある(写真5)。**熱帯雨林**とよばれる多種類の常緑広葉樹からなる密林では、高さの異なる樹木が層をなしている



↑7 アマゾン川と熱帯雨林(ペルー、2015年7月)



↑9 高木がまばらに生えるサバナ(ベネズエラ、1月)



↑10 コーヒーの収穫(ブラジル、2018年5月)

(写真7)。熱帯雨林では食用となる植物が少ないため、伝統的には狩猟や自給的な焼畑農業が行われてきたが、現在はバナナや天然ゴム、油やシナなどの商品作物のプランテーションが広くみられる。季節風(モンスーン)の影響が強い地域は、**弱い乾季のある熱帯雨林気候(熱帯モンスーン気候) (Am)**となり、アジアでは稲作が盛んである。

(2) **サバナ気候(Aw)** サバナ気候は、熱帯雨林気候より高緯度側に分布し、夏には熱帯収束帯の影響で降水の多い雨季となり、冬には亜熱帯高圧帯の影響で降水の少ない乾季となる。草丈の長い草原のなかに樹木が点在する**サバナ**が広がり(写真9)、アフリカではゾウやサイなどの大型草食動物が多い。乾季には、樹木はほとんどが落葉し、草原は枯れる。やせた土壌が多いが、インドのデカン高原ではレグール、ブラジル高原ではテラローシャとよばれる玄武岩が風化した肥沃な土壌が広がる。これらの地域では、さとうきびや棉花、コーヒーなどの商品作物の栽培が行われている(写真10)。

●**サバナ** 草丈の長い草原の中に樹木が点在する熱帯の草原地帯のこと。雨季には草が茂り乾季には枯れる。南アメリカのサバナは、オリノコ川流域ではリャノ、ブラジル高原ではセラードやカンポとよばれる。



デカン高原やブラジル高原の位置を確認しよう。

その地域の気候と農業の因果関係がわかる。



**確認** 熱帯雨林気候とサバナ気候の植生や気温・降水量の特徴を説明しよう。



**深い学び** 熱帯の気候と植生は、衣食住や産業とどのように関わっているのだろうか。事例地域を挙げて説明しよう。

## 地理学習の基礎を習得できる学習項目

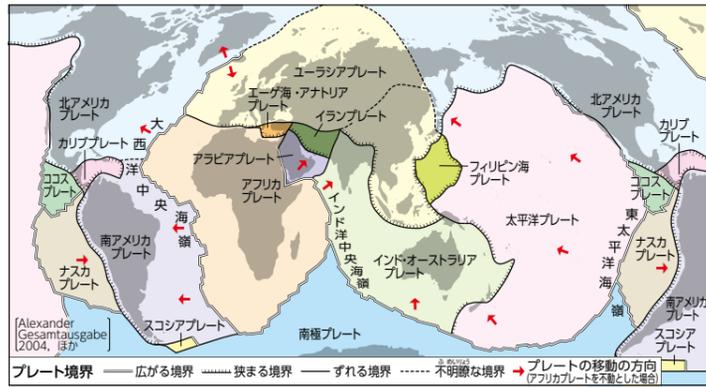
↓教科書 p.48-49, 本冊子 p.30-31 試し読み

### 2 変動帯と人々の生活

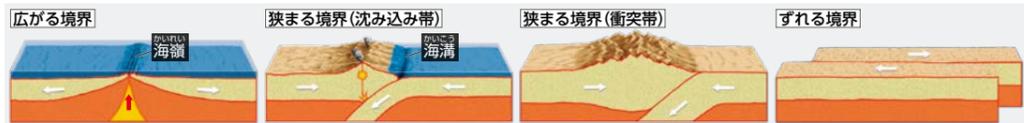
学習課題 変動帯の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。



↑1 高く険しい山でトレッキングを楽しむ人々(ネパール、4月) ヒマラヤ山脈は、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの衝突によって形成された。



↑2 世界の主なプレートの分布



↑3 プレート境界の模式図 読み解き それぞれのプレート境界には、どのような特徴があるのだろうか。



↑4 大地のさげ目(ギャオ) (アイスランド) 火山の火口が直線状に並んでいる。

①海嶺 大洋底にある長大な海底山脈のこと。中央海嶺はマントル対流の盛り上がり部分にあたり、プレートが生じる場所と考えられている。

②海溝 海底の細長い凹地のこと。多くが深さ6000m以上で、長さは数百kmから数千kmに及ぶ。固く密度の高い海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む境界に形成される。

変動帯の大地形と生活 変動帯では、高い山地や深い谷などの起伏の大きな地形がみられ、その美しい景観が観光資源となっている場所が多い(写真1)。その一方で地震や火山の噴火などの自然災害が多く、人々の生活に大きな影響を与えている。変動帯にみられるプレート境界は、各プレートの動く向きによって3種類に分類される(図3)。

(1) 広がる境界 隣り合うプレートが互いに遠ざかり、引っ張り合う力が働く境界で、太平洋や大西洋、インド洋の海底で海嶺を形づくっている。大西洋中央海嶺に位置するアイスランドは、火山と氷河がつくる特異な景観によって、毎年多くの観光客が訪れる(写真4)。

(2) 狭まる境界 隣り合う二つのプレートが互いに近づき、押し合う力が働く境界で、プレートの沈み込みや衝突によって、海溝と列島や巨大な山脈などの大地形が形成される。一般に高く険しい山地がみられ、地震や火山の噴火、山崩れなどによる自然災害も多発する。

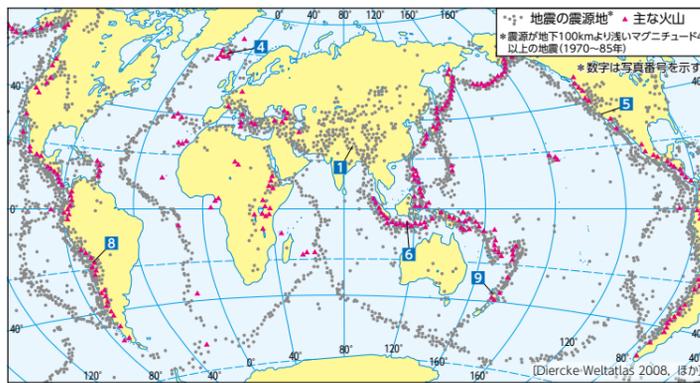
(3) ずれる境界 隣り合うプレートが互いにすれ違い、水平方向にずれ動くような力が働く境界で、主に海域に分布する。陸上では、アメリカ合衆国太平洋岸のサンアンドレアス断層などがみられる(写真5)。



↑5 プレートのずれる境界上にみられるサンアンドレアス断層(アメリカ合衆国、カリフォルニア州) 断層の長さは1000km以上に及ぶ。



↑6 噴煙をあげる火山(インドネシア、ジャワ島) インドネシアは、変動帯に位置しており、多くの火山がみられる。



↑7 世界の主な地震の震源地と火山 読み解き プレート境界と地震の震源や火山の分布には、どのような関係があるのだろうか。

地震・火山に 対応した生活 プレート境界では地震が発生し、建物の倒壊や火災、土砂崩れ、地盤の液状化などの被害が生じる場合がある。また、海底で地震が発生すると津波によって沿岸に災害をもたらすことがある。日本を含む地震の多発地域では、建物の耐震化や津波を防ぐ防潮堤の建設、避難路の確保など、地震や津波への対策が課題になっている。

写真6のような火山の多い地域では、噴火に伴って溶岩や火山灰、火山ガス、火砕流が噴出し、火口周辺を中心にさまざまな被害をもたらす。しかし、火山活動に伴って湧出する温泉、火山灰や風化した溶岩を元とする肥沃な土壌、観光資源としての美しい景観、再生可能エネルギーとしての地熱など、人々は火山からさまざまな恩恵を受けている(写真8・9)。また変動帯のなかには、マグマの作用によって銅や銀、すずを高い密度で含む鉱床が形成される場所もあり、これらの鉱産資源は現代の産業に欠かせないものになっている。



↑8 温泉と間欠泉(チリ、チロカマタ近郊、2016年9月) 熱水が噴き出す間欠泉を眺めながら、温泉につかることができる。



↑9 ワイラケイ地熱発電所(ニュージーランド) 火山の多いニュージーランドでは、地熱の利用が進められている。

確認 なぜ地震や火山が多い地域と少ない地域があるのだろうか。

深い学び 変動帯でみられる特徴的な生活を説明しよう。

2部1章 生活文化の多様性と国際理解

写真や地図、模式図と丁寧な本文記述で、大地形と人々の生活の関わりがよくわかる。

### 「生活文化」単元に設けた学習項目

1 節 世界の地形と人々の生活	46
1 大地形と人々の生活	46
2 変動帯と人々の生活	48
3 安定地域と人々の生活	50
4 河川がつくる地形と人々の生活	52
5 海岸の地形と人々の生活	54
6 氷河地形・乾燥地形・カルスト地形と人々の生活	56
SKILL 10 地形図の利用ー小地形と土地利用ー	58
SKILL 11 空中写真の利用	59
2 節 世界の気候と人々の生活	60
1 気温・降水と人々の生活	60
2 大気循環と人々の生活	62
3 世界の植生と気候区分	64
SKILL 12 雨温図・ハイサーグラフの見方	66
SKILL 13 写真の読み取り方ー気候ー	67
4 熱帯の生活	68
5 乾燥帯の生活	70
6 温帯の生活	72
7 亜寒帯・寒帯の生活	74
SKILL 14 写真の読み取り方ー生活文化ー	76
3 節 世界の言語・宗教と人々の生活	86
1 世界の言語と人々の生活文化	86
2 世界の宗教と人々の生活文化	88
4 節 歴史的背景と人々の生活	102
1 歴史的背景が人々の生活に与える影響	102
5 節 世界の産業と人々の生活	120
1 人々の生活を支える農業の発展	120
2 人々の生活を支える工業の発展	122
3 グローバル化する現代の産業と人々の生活	124

## 諸地域の事例を通して 国際理解を深める構成

- 自然環境、言語・宗教、歴史的背景、産業などの視点から生活文化の学習を深めるため、世界の主要10の国と地域を追究事例として掲載。
- 地誌的な学習にも対応できる。

歴史や農業、経済などの様々な面から、ヒンドゥー教と人々の生活の関わりがわかる。

↓教科書 p.96-101, 本冊子 p.38-43 **試し読み**

### 3 変化するヒンドゥー教徒の生活

**学習課題** 経済成長により、ヒンドゥー教の影響を受けた生活は、どのように変化しているのだろうか。

### 2 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活

**学習課題** ヒンドゥー教や自然環境は、人々の食生活にどのような影響を与えているのだろうか。

### 追究事例 宗教② ヒンドゥー教と人々の生活の関わり —インド—

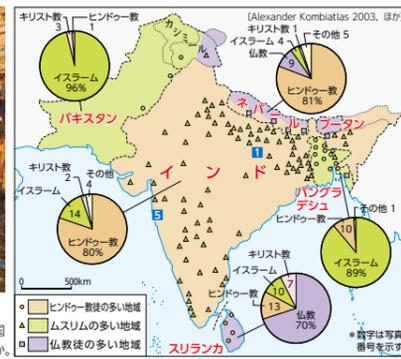
**主題** インドには、大勢のヒンドゥー教徒が暮らしている。インドの人々の暮らしに、ヒンドゥー教はどのように関わっているのだろうか。

### 1 インドの歩みとヒンドゥー教

**学習課題** ヒンドゥー教は、人々の職業や社会進出にどのような影響を与えているのだろうか。



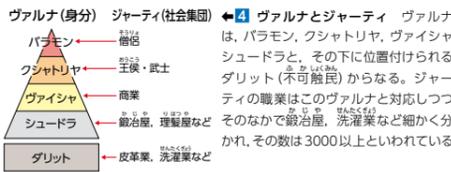
↑1 ガンジス川で沐浴するヒンドゥー教徒(インド、ヴァラナシ, 2017年)



年	事項
1498	ヴァスコ・ダ・ガマが海路でインドに到達
1854	イギリス人によりアッサム地方で茶の栽培が始まる
1877	イギリスのヴィクトリア女王がインド皇帝を宣言
1930年代	ガンジーにより独立運動が全国的に広がる
1947	インド連邦とパキスタンが独立。カシミール問題をめぐってインド・パキスタン戦争が起こる
1948	スリランカが独立
1962	インド・中国国境紛争
1971	パキスタンからバングラデシュが独立
1991	インドで新経済政策を導入。経済自由化でIT産業などが急速に発展

#### ↑2 南アジアの歩み

写真1のように、ガンジス川沿いのヒンドゥー教の聖地ヴァラナシには、大勢の信徒が集まり沐浴する。インドはヒンドゥー教徒が人口の8割を占めるが、イスラーム王朝が栄えた時代もあり、北部を中心にムスリムも多い(図2)。また、この地に興った仏教やジャイナ教、シク教を信仰する人々もいる。宗教面で多様なインドは、特定の宗教を国教としていない。一方、隣国のスリランカでは、仏教徒のシンハラ人に対して政府が優遇政策をとってきたことから、ヒンドゥー教徒であるタミル人との間で衝突が繰り返されてきた。南アジアでは、さまざまな国家の興亡があった。そうしたなかで、ヒンドゥー教を中心としつつも、イスラームやほかの宗教を信仰する人々と共存する社会がつけられてきた。大航海時代以降、南アジアはヨーロッパとの接触が活発になり、19世紀には産業革命を達成したイギリスが、この地域の多くを植民地にした。第二次世界大戦後には、宗教間の対立が原因でヒンドゥー教徒の多い地域がインド、ムスリムの多い地域がパキスタンやバングラデシュに分離・独立した(図3)。また、インドと周辺諸国の間では領有をめぐる問題が生じている。



↑4 ヴァルナとジャーティ ヴァルナは、バラモン、クシャトリア、ヴァイシャ、シュードラと、その下に位置付けられるドリット(不可触民)からなる。ジャーティの職業はこのヴァルナと対応しつつ、そのなかで級別、洗濯業など細かく分かれ、その数は3000以上といわれている。

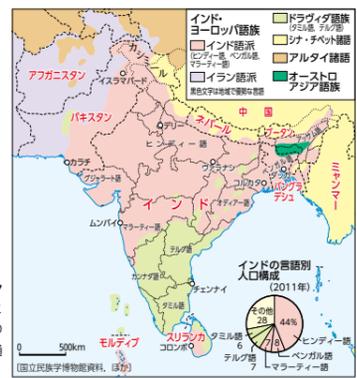
↑5 洗濯業のジャーティ (インド、ムンバイ) 屋外の洗濯場では、洗濯業のジャーティの人々が、家庭から預かった衣類を洗濯する。

↑6 南アジアの言語分布とインドの言語別人口構成 インドでヒンディー語が話せる人は全人口の4割程度で、実際には英語が共通語として広く使われている。

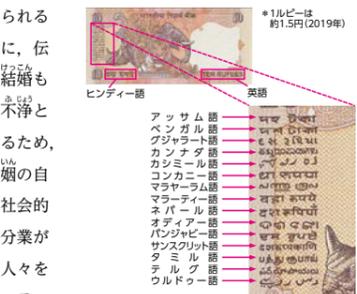
↑7 17の言語で金額が示されたインドの10ルピー紙幣

↑8 南アジアの国々において、大多数の人に信仰されている宗教を国ごとに説明しよう。

↑9 ヒンドゥー教徒が多いインドでは、カースト制によってどのような問題を抱えているのだろうか。



↑10 南アジアの言語別人口構成



↑11 17の言語で金額が示されたインドの10ルピー紙幣

↑12 南アジアの国々において、大多数の人に信仰されている宗教を国ごとに説明しよう。

↑13 ヒンドゥー教徒が多いインドでは、カースト制によってどのような問題を抱えているのだろうか。

### 2部1章 生活文化の多様性と国際理解

#### 深める 世界で活躍するインド系移民

インドは世界各地に多くの移民を送り出してきた。インド系移民は、19世紀に奴隷制が廃止されたのち、労働力が不足した南アフリカ、東南アジア、オセアニアを中心に、プランテーションや都市建設を担った。旧宗主国であるイギリスや、英語力が必要なカナダへも移住している。アジアへの出稼ぎ労働者も増加したが、より外貨獲得が困難になった。このことが要因の一つとなった。受け入れた人材がその技術を海外で生かすことにより、日本でもインド系のICT技術者が活躍している。

#### 深める 世界有数の牛肉輸出国 インド

インドは牛肉の輸出量が世界第1位である(2017年)。インドの人口の8割はヒンドゥー教徒であり、その人々は牛肉を食べることはしていない。

#### 深める 世界の紅茶

インドの紅茶を注ぐ店員(インド、デリー, 2019年) イギリスに輸出するための

### 「生活文化」単元で事例を取り上げた国・地域と主題

地域	主題(テーマ)
東アジア	経済成長による人々の生活の変化
東南アジア	モンスーンの影響を受ける地域での生活
インド	ヒンドゥー教と人々の生活の関わり
中央アジア・西アジア・北アフリカ	イスラームと人々の生活の関わり
サハラ以南アフリカ	植民地支配の歴史と人々の生活の関わり
ヨーロッパ	地域統合が人々の生活や産業に与える影響
ロシア	国家体制の変化と人々の生活の関わり
アメリカ合衆国	産業力が世界の生活文化に与える影響
ラテンアメリカ	移民の歴史と人々の生活の関わり
オセアニア	乾燥した大陸と太平洋の島々での生活

## 具体事例をもとに 地球的課題を考察する構成

- 発展途上国と先進国など、立場や環境の異なる複数の具体事例を掲載。
- 随所に掲載されている日本の事例のコラムで、日本と比較しながら考察を深めることができる。

↓教科書 p.168-169, 本冊子 p.52-53 **試し読み**

### 2 発展途上国と先進国の人口問題

**学習課題** 発展途上国と先進国の人口問題には、どのような違いがあるのだろうか。

1 **世界の合計特殊出生率**  
**読み解き** 合計特殊出生率には、発展途上国と先進国でどのような違いがみられるのだろうか。

2 **家族計画の普及活動** (ナイジェリア、カノ)  
**読み解き** 女性たちがボランティアから子どもを産む間隔を空けることの重要性を教わっている。

3 **世界の乳児死亡率**  
**読み解き** 乳児死亡率が高い地域にはどのような特徴があるのか、図1と比較して考えよう。

4 **中国の人口ピラミッドの変化**  
**読み解き** 一人っ子政策の実施によって、中国の人口構成はどのように変化していったのだろうか。

5 **家族計画** 家族の生活の安定などのために、出産する子どもの数や時期を計画的に調整すること。発展途上国では、政府が政策的に家族計画を奨励している例もある。

6 **一人っ子政策** 1組の夫婦の子どもを一人に制限する中国の人口政策のこと。1979年に始められたが、この政策は見直され、現在は3人まで子どもをもつことが認められるようになった。

7 **発展途上国の人口問題** 発展途上国の死亡率は、感染症の流行や紛争などのため先進国より高いが、衛生状態の改善や医療の普及によって低下してきた。他方、多くの子どもをもつことを望ましいとする考え方が根強く、妊娠・出産に関する情報が十分でないなど、発展途上国の出生率は先進国より高い(図1)。このため、発展途上国では出生率と死亡率の差が大きく、人口増加率が高い。その結果、経済の発展が人口増加に追いつかず、食料や就業機会の不足などが生じている。また、農村から都市に向かう国内人口移動も増え、急激な都市化の一因になっている。多くの発展途上国では、高い人口増加率をもたらす出生率を下げるために**家族計画**が奨励されてきた(写真2)。しかし、家族計画がうまく普及せず出生率がなかなか下がらない国や、中国の**一人っ子政策**のように政府主導の取り組みが功を奏したものの出生率が下がり過ぎ、人口ピラミッドが**つば型**に変化している国もある(図4)。

168 **Key Words** 家族計画 一人っ子政策 少子化・高齢化 移民 難民

### 3 地域で異なる人口問題への取り組み

**学習課題** 人口問題への取り組みは、インドとフランスでどのように異なるのだろうか。

1 **世界の中の日本 日本の人口問題**  
 日本は世界で最も高齢化の進んだ国である。日本の高齢化は1970年代から進み始め、老年人口の割合は、わずか24年で7%から14%に倍増した。このような急速な高齢化は出生率の低迷と関連しているため、政府は高齢化や少子化への対応を本格化させていった。例えば、介護保険制度によって社会で介護を支えるしくみをつくり、育児休業の取得推奨や保育所定員枠の増大などにより、社会で子育てを支える環境の整備を進めている。しかし、より少ない労働力で多くの高齢者や子どもを支えなければならないため、制度の整備や運用には課題も多い。

2 **日本の人口問題を紹介します。日本と世界の共通点と相違点が見える。**

3 **インドにおける都市と農村の乳児死亡率の推移**  
**読み解き** 都市と農村の乳児死亡率の違いに注目しよう。

4 **インドの人口ピラミッド**  
**読み解き** インドの人口ピラミッドは、p.167 図3の何型だろうか。

5 **インドでの人口増加抑制の取り組み**  
 インドの人口はおよそ13億で、中国に次いで世界第2位である。インドでは20世紀後半に急激な人口増加を記録した。この間に食料生産が増加し、経済発展も進んだが、貧富の差が大きく、十分な食料を得られない人々も多い。そのため、栄養不足の人口の割合は比較的高い。インド政府は、1960年代から**家族計画**の普及に努めてきた(写真3)。その成果もあって現在では出生率が低下し、以前よりも人口増加の勢いは緩やかになった。しかし、図4でインドの出生率の地域差をみると、南部では低いのに、北部では高い。このような地域差には、教育の普及の程度を表す**識字率**や、貧富の差などが関係している。特に子どもが労働力と考えられている農村部では、子どもをたくさんもつという考え方を考えることは容易ではない。家族計画は人々の価値観とも関わるため、その普及にあたっては慎重に進めることが大切である。女性の識字率の向上は、家族計画の普及のみならず、国の経済発展にも影響を及ぼすため、成人女性のための読み書き教室を開講する活動などが行われている(写真3)。また、子どもに登校を促すために給食を無料で提供する取り組みも、政府やNGOなどによって進められている。

6 **フランスでの人口増加維持の取り組み**  
 6000万を超える人口をもつフランスは、早くに人口転換が終わり高齢化も進んでいるが、その人口ピラミッドは**釣鐘型**で(図3)、日本のようなつば型にはなっていない。その一因として、子どもをもつことを社会的に支援する**家族政策**が整備され、出生率の低下に歯止めがかかっていることがある(図6)。家族政策の内容は幅広く、例えば子育て世帯に対する現金給付や保育費用の控除などの税制上の優遇などは、子どもの数が多いほど有利になるしくみになっている。また、乳幼児の保育については保育所や保育ママが整備され、子育て世帯の仕事と家庭生活の両立を支えている(写真7、図10)。さらに、父親の出産休暇制度も整備され、取得率も高い。ほかにも、妊娠と出産にかかる費用は原則無料で、3人以上の子どものいる世帯では鉄道や公共施設などで割引を受けられるしくみもある。他方で、高齢化の進行に伴って国内の産業に従事する労働力は不足しがちであり、国外から多くの移民を受け入れている。新たに移民として入ってきた人々だけでなく、かつての移民の子孫も含め、フランス国内には多様な文化的背景をもつ人々が暮らす。そのような多様な人々の存在は、社会的な対立につながることもあり、共存の道が模索されている。

7 **フランスの主な保育サービス** フランスでは、在宅での保育サービスが発達しており、なかでも認定保育ママは、保育費の7割を支えているとされる。

8 **フランスの人口ピラミッド**  
**読み解き** p.167 図3の日本の人口ピラミッドと比較しよう。

9 **主なる国の女性の年齢別就業率**  
**読み解き** 子育て世代の20代~40代に着目して、日本とほかの国を比較しよう。

10 **フランスの人口ピラミッド**  
**読み解き** 子育て世代の20代~40代に着目して、日本とほかの国を比較しよう。

11 **フランスの主な保育サービス** フランスでは、在宅での保育サービスが発達しており、なかでも認定保育ママは、保育費の7割を支えているとされる。

12 **インドの州別出生率と主なる州の識字率**  
**読み解き** 出生率が多い地域の識字率の傾向を、男女差にも着目してとらえよう。

13 **家族計画の普及をよびかけた看板** (インド、ニューデリー)

14 **インドの人口ピラミッド**  
**読み解き** インドの人口ピラミッドは、p.167 図3の何型だろうか。

15 **インドでの人口増加抑制の取り組み**  
 インドの人口はおよそ13億で、中国に次いで世界第2位である。インドでは20世紀後半に急激な人口増加を記録した。この間に食料生産が増加し、経済発展も進んだが、貧富の差が大きく、十分な食料を得られない人々も多い。そのため、栄養不足の人口の割合は比較的高い。インド政府は、1960年代から**家族計画**の普及に努めてきた(写真3)。その成果もあって現在では出生率が低下し、以前よりも人口増加の勢いは緩やかになった。しかし、図4でインドの出生率の地域差をみると、南部では低いのに、北部では高い。このような地域差には、教育の普及の程度を表す**識字率**や、貧富の差などが関係している。特に子どもが労働力と考えられている農村部では、子どもをたくさんもつという考え方を考えることは容易ではない。家族計画は人々の価値観とも関わるため、その普及にあたっては慎重に進めることが大切である。女性の識字率の向上は、家族計画の普及のみならず、国の経済発展にも影響を及ぼすため、成人女性のための読み書き教室を開講する活動などが行われている(写真3)。また、子どもに登校を促すために給食を無料で提供する取り組みも、政府やNGOなどによって進められている。

170 **Key Words** 家族計画 識字率 NGO 高齢化 家族政策

対比的なレイアウトでインドの事例とフランスの事例を比較しやすい。

↓教科書 p.170-171, 本冊子 p.54-55

16 **フランスの人口ピラミッド**  
**読み解き** p.167 図3の日本の人口ピラミッドと比較しよう。

17 **主なる国の女性の年齢別就業率**  
**読み解き** 子育て世代の20代~40代に着目して、日本とほかの国を比較しよう。

18 **フランスの主な保育サービス** フランスでは、在宅での保育サービスが発達しており、なかでも認定保育ママは、保育費の7割を支えているとされる。

19 **インドの州別出生率と主なる州の識字率**  
**読み解き** 出生率が多い地域の識字率の傾向を、男女差にも着目してとらえよう。

20 **家族計画の普及をよびかけた看板** (インド、ニューデリー)

21 **インドの人口ピラミッド**  
**読み解き** インドの人口ピラミッドは、p.167 図3の何型だろうか。

22 **インドでの人口増加抑制の取り組み**  
 インドの人口はおよそ13億で、中国に次いで世界第2位である。インドでは20世紀後半に急激な人口増加を記録した。この間に食料生産が増加し、経済発展も進んだが、貧富の差が大きく、十分な食料を得られない人々も多い。そのため、栄養不足の人口の割合は比較的高い。インド政府は、1960年代から**家族計画**の普及に努めてきた(写真3)。その成果もあって現在では出生率が低下し、以前よりも人口増加の勢いは緩やかになった。しかし、図4でインドの出生率の地域差をみると、南部では低いのに、北部では高い。このような地域差には、教育の普及の程度を表す**識字率**や、貧富の差などが関係している。特に子どもが労働力と考えられている農村部では、子どもをたくさんもつという考え方を考えることは容易ではない。家族計画は人々の価値観とも関わるため、その普及にあたっては慎重に進めることが大切である。女性の識字率の向上は、家族計画の普及のみならず、国の経済発展にも影響を及ぼすため、成人女性のための読み書き教室を開講する活動などが行われている(写真3)。また、子どもに登校を促すために給食を無料で提供する取り組みも、政府やNGOなどによって進められている。

23 **フランスでの人口増加維持の取り組み**  
 6000万を超える人口をもつフランスは、早くに人口転換が終わり高齢化も進んでいるが、その人口ピラミッドは**釣鐘型**で(図3)、日本のようなつば型にはなっていない。その一因として、子どもをもつことを社会的に支援する**家族政策**が整備され、出生率の低下に歯止めがかかっていることがある(図6)。家族政策の内容は幅広く、例えば子育て世帯に対する現金給付や保育費用の控除などの税制上の優遇などは、子どもの数が多いほど有利になるしくみになっている。また、乳幼児の保育については保育所や保育ママが整備され、子育て世帯の仕事と家庭生活の両立を支えている(写真7、図10)。さらに、父親の出産休暇制度も整備され、取得率も高い。ほかにも、妊娠と出産にかかる費用は原則無料で、3人以上の子どものいる世帯では鉄道や公共施設などで割引を受けられるしくみもある。他方で、高齢化の進行に伴って国内の産業に従事する労働力は不足しがちであり、国外から多くの移民を受け入れている。新たに移民として入ってきた人々だけでなく、かつての移民の子孫も含め、フランス国内には多様な文化的背景をもつ人々が暮らす。そのような多様な人々の存在は、社会的な対立につながることもあり、共存の道が模索されている。

24 **フランスの主な保育サービス** フランスでは、在宅での保育サービスが発達しており、なかでも認定保育ママは、保育費の7割を支えているとされる。

25 **フランスの人口ピラミッド**  
**読み解き** p.167 図3の日本の人口ピラミッドと比較しよう。

26 **主なる国の女性の年齢別就業率**  
**読み解き** 子育て世代の20代~40代に着目して、日本とほかの国を比較しよう。

27 **フランスの主な保育サービス** フランスでは、在宅での保育サービスが発達しており、なかでも認定保育ママは、保育費の7割を支えているとされる。

28 **インドの州別出生率と主なる州の識字率**  
**読み解き** 出生率が多い地域の識字率の傾向を、男女差にも着目してとらえよう。

29 **家族計画の普及をよびかけた看板** (インド、ニューデリー)

30 **インドの人口ピラミッド**  
**読み解き** インドの人口ピラミッドは、p.167 図3の何型だろうか。

31 **インドでの人口増加抑制の取り組み**  
 インドの人口はおよそ13億で、中国に次いで世界第2位である。インドでは20世紀後半に急激な人口増加を記録した。この間に食料生産が増加し、経済発展も進んだが、貧富の差が大きく、十分な食料を得られない人々も多い。そのため、栄養不足の人口の割合は比較的高い。インド政府は、1960年代から**家族計画**の普及に努めてきた(写真3)。その成果もあって現在では出生率が低下し、以前よりも人口増加の勢いは緩やかになった。しかし、図4でインドの出生率の地域差をみると、南部では低いのに、北部では高い。このような地域差には、教育の普及の程度を表す**識字率**や、貧富の差などが関係している。特に子どもが労働力と考えられている農村部では、子どもをたくさんもつという考え方を考えることは容易ではない。家族計画は人々の価値観とも関わるため、その普及にあたっては慎重に進めることが大切である。女性の識字率の向上は、家族計画の普及のみならず、国の経済発展にも影響を及ぼすため、成人女性のための読み書き教室を開講する活動などが行われている(写真3)。また、子どもに登校を促すために給食を無料で提供する取り組みも、政府やNGOなどによって進められている。

171 **Key Words** 家族計画 識字率 NGO 高齢化 家族政策

**地球的課題に関連する「世界の中の日本」コラム**

頁	タイトル
p.151	環境を保護する日本の取り組み
p.161	エネルギーの地産地消
p.169	日本の人口問題
p.175	食料の安定供給に向けた取り組み
p.183	三大都市圏に人口が集中している日本

## 国際協力が見える 特設「持続可能な社会づくりに向けて」

↓教科書 p.172-173, 本冊子 p.56-57 **試し読み**

持続可能な社会づくりに向けて SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 4

### 教育の普及について考えよう

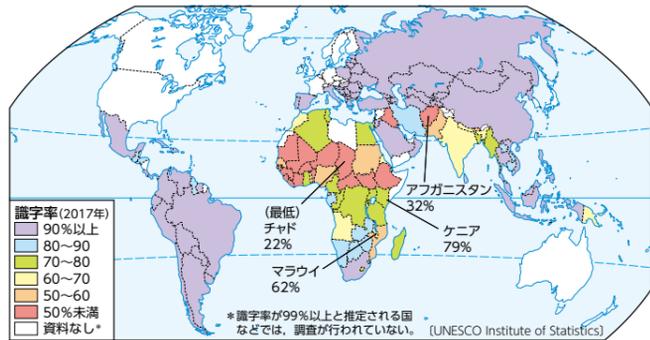
質の高い教育を普及させるための取り組み

#### TRY

- 1 すべての人に質の高い教育を普及させることは、SDGsにおける17の目標のうち、どの目標の解決に結び付くのだろうか。関連すると考えられる目標を赤色で囲もう。
- 2 世界の教育の現状について、①の事例からとらえよう。
- 3 ②と③の事例から、教育に関連したSDGsの目標を達成するために、日本が協力できることや私たちが取り組めることは何か考えよう。



#### 1 教育をめぐる世界の現状



15歳以上の人口のなかで、日常生活で使う簡単な文章を読み書きできる人口がどのくらいいるのかを表すのが、**識字率**(→p.170)である(図1)。識字率は、小学校段階の教育がどのくらい普及しているのかということと関連しており、国や地域による差が大きい。識字率が高いのは、日本をはじめ、欧米などの先進国である。一方、アフリカや南アジアなどの発展途上国では識字率は低い。発展途上国では、貧しい家計を助けるために多くの子どもたちが労働に従事しており(図2、写真3)、働くために学校に通えない子どもが多いことが問題となっている。

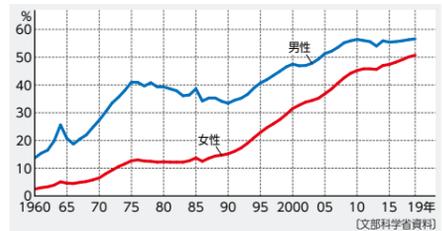


↑1 世界の識字率 **読み解き** 識字率が低い国は、どの地域に集中しているのだろうか。



↑2 地域別にみた児童労働者数

↑3 日干しレンガづくりをする子どもたち(アフガニスタン、カブール) 貧しい家庭が多いアフガニスタンでは、子どもも収入を得るための労働力と考える家庭が今なお多い。



↑4 日本の男女別大学進学率の推移 **読み解き** 女性の大学進学率が高まった背景には、どのようなことがあるのだろうか。

#### 探究課題

すべての人に質の高い教育を普及させることは、持続可能な社会をつくるうえで最も効果的な手段の一つである。世界の教育環境にはどのような課題があり、質の高い教育を普及させるためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。ここでは、4節「人口問題」の学習内容を生かして、質の高い教育の普及について考えよう。

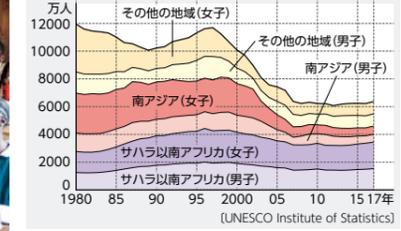
#### 2 子どもたちが学校に通える環境を整えるために必要なこと



↑5 屋外で授業を受ける子どもたち(マラウイ、2015年) 教室の設備は黒板だけで、子どもは土の地面にじかに座っている。

小学校に通えない子どもの数は、図7のように減少傾向にある。しかし、地域によっては、依然として小学校に通えない子どもの数が多い所もある。例えば、サハラ以南アフリカでは子どもの約5人に1人、西アジアおよび南アジアでは子どもの約10人に1人が小学校に通うことができていない。このような状況の改善には、紛争の解決や国内の治安の改善、教室などの教育を受けるための施設の整備など、学校に通うための社会環境づくりが必要である。そこで、生活水準の向上、学校給食の普及のような、子どもを学校に通わせたいくなるしくみづくりが、国連やNGO(→p.147)などによって行われている。

↑6 学校給食プログラムで給食を食べるスラムの小学校の子どもたち(ケニア、ナイロビ) 国連世界食糧計画(WFP)では、学校で毎日栄養価の高い給食を提供する取り組みを、アフリカなどの国々を中心に実施している。この取り組みによって、子どもたちの通学頻度が高まり、教育水準も向上することが期待されている。



↑7 小学校に通えない子どもの数の推移 **読み解き** 地域による違いに着目しよう。

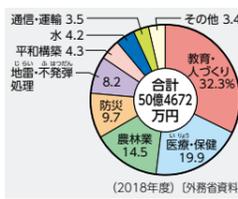
#### 3 質の高い教育の普及を援助する日本の国際協力



↑8 日本から送られたミシンで縫製の職業訓練を受ける女性(フィリピン) 女性が経済的に自立するための技能教育がNGOによって行われている。

アジアやアフリカなどの発展途上国では、一般的に男性よりも女性のほうが教育を受ける機会に乏しい。そのため、日本政府はこれらの国々でNGOなどを支援することで、十分な教育を受けられず、貧しい生活環境におかた女性たちに教育を受ける機会を設け、貧困から抜け出すための手助けを行っている(図9)。このような取り組みは、女性自身の人生を豊かにするだけの子どもたちへの貧困の連鎖を防ぐことにもなる。また、教育を普及させるためには、教育を担う教員が必要となるため、小学校の教員などの人材を取り組みも進められている(写真10)。

↑9 NGOの活動に対する日本政府の資金援助の内訳 **読み解き** どのような分野に力が入れているのだろうか。



教育の普及について、SDGsの17の目標を意識して考えることができる。

日本の国際協力の事例を通して、地球的課題の解決に向けた自分自身の行動を考えることができる。

#### 「持続可能な社会づくりに向けて」一覧

頁	タイトル
p.148-149	SDGsについて学ぼう
p.156-157	海洋汚染について考えよう
p.164-165	水の利用について考えよう
p.172-173	教育の普及について考えよう
p.178-179	食料生産について考えよう
p.186-187	感染症の予防について考えよう
p.216-217	自然災害による被害を減らそう

\*教科書p.156~の6テーマでは日本の国際協力の事例を掲載しています。

## 災害発生メカニズムがわかる 模式図と解説

↓教科書 p.194, 本冊子 p.60 **試し読み**

直下型地震と海溝型地震の震源の深さの違いがわかる。

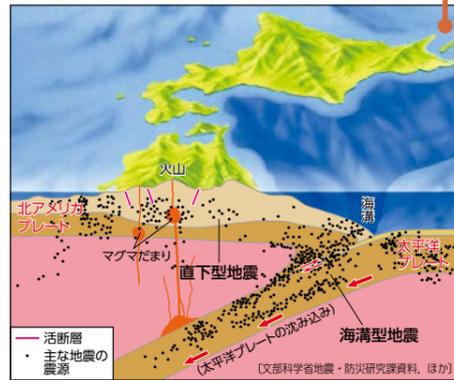
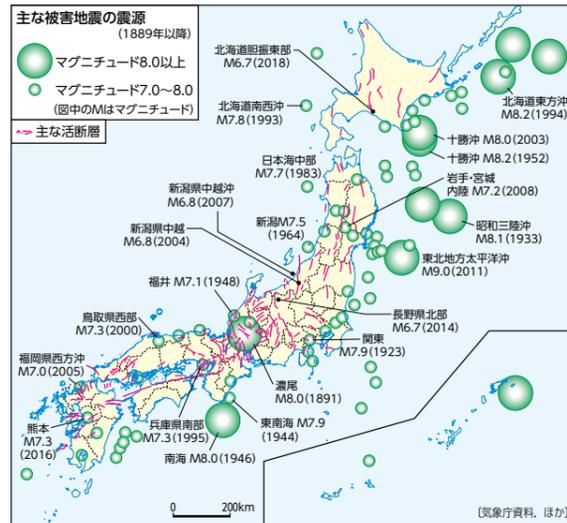
### 2節 地震・津波と防災

節の主題

変動帯に位置する日本は、数多くの地震によってさまざまな被害を受けてきた。地震や津波は、どのような被害をもたらすのだろうか。また、地震や津波の発生に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。

### 1 地震・津波による災害

**学習課題** 地震・津波による災害は、地域によってどのような違いが生じるのだろうか。



① **マグニチュード (M)** 地震の規模を表す値のこと。マグニチュードの値が1大きくなると、地震のエネルギーは約32倍になる。

② **震度** 各地点の揺れの大きさを示す指標のこと。日本では、震度は0から7までの数字で決められ、そのうち、震度5と6は弱と強の二つに分かれており、計10段階で示される。



↑3 長野県北部地震によって地表に現れた断層 (長野県、白馬村、2014年)

#### 地震の種類と特徴

変動帯に位置する日本は、世界的にみても特に地震の多い地域である (図1)。地震はプレートの沈み込みや衝突で生じる力により、プレート境界に徐々に蓄積されたひずみが、一気に解放されるときに発生する。地震の規模は**マグニチュード (M)** で表され、各地点の揺れの大きさは**震度**で示される。通常、震源から遠ざかるにつれて震度は小さくなる。また、地盤の質の違いによっても震度の大きさは異なる。日本列島の太平洋沖に分布する千島・カムチャツカ海溝、日本海溝、相模トラフ、南海トラフ、南西諸島海溝などに沿う場所では、プレート境界にたまったひずみが解放されると、非常に規模の大きな**海溝型地震**が発生する (図2)。海溝型地震では、**津波**が発生して沿岸地域に甚大な被害をもたらすことがある。一方、内陸部の活断層がずれ動いて発生する地震は、人の住む土地の直下で発生することから**直下型地震**とよばれる。直下型地震は規模が小さくても、震源に近い都市に大きな被害をもたらす。

↓教科書 p.198, 本冊子 p.64 **試し読み**

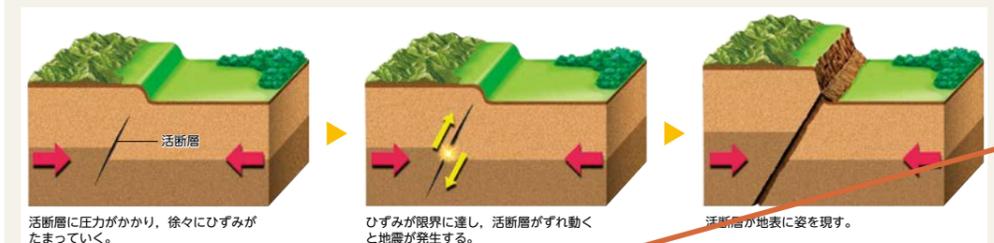
### 深める 地震や津波が発生するしくみ

#### 地震のしくみ

① **海溝型地震** 海洋プレートが沈み込むと、大陸プレートも引きずられてひずみがたまり、限界に達すると、大陸プレートが跳ね上がって地震が発生する。巨大地震はこのタイプが多い。 ↓1 海溝型地震のしくみ



② **直下型地震** 海洋プレートの沈み込みによって大陸プレート内部に圧力がかかるとひずみがたまって活断層がずれ動き、地震が発生する。震源は地下十数kmと浅いことが多い。 ↓2 直下型地震のしくみ



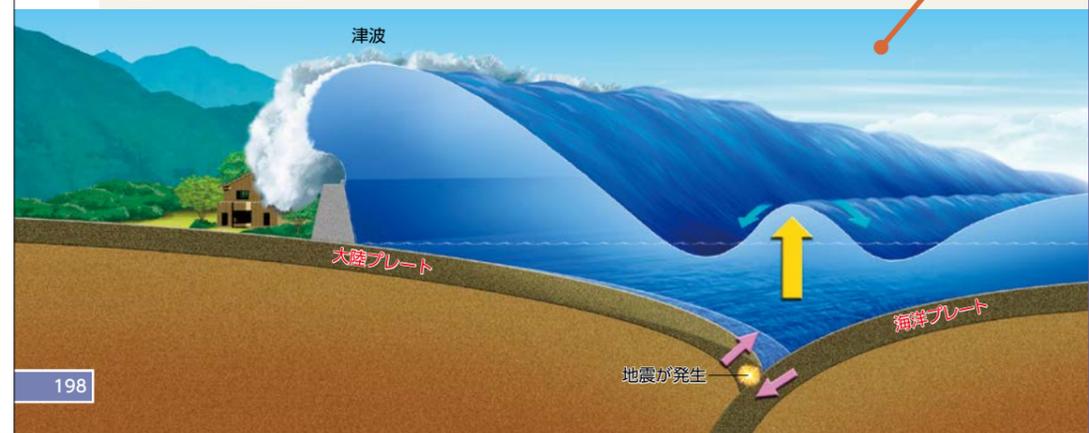
#### 津波のしくみ

津波は、海溝型地震の発生に伴う大陸プレートの跳ね上がりによって、海底が隆起したり沈降したりすることで発生する。海底地形の変化と連動して、海水も隆起したり沈降したりする。隆起した海水は重力によって崩れ、高波となってあらゆる方向へ広がる。陸に向かった波は、水深が浅くなるにつれて高さを増し、津波となる。



↑3 津波に襲われた海岸 (インドネシア、スラウェシ島、2018年)

↓4 津波のしくみ **QR動画**



模式図によって、地震のしくみが視覚的にイメージできる。

丁寧な解説と迫力ある模式図によって、津波のしくみがよくわかる。

#### 「防災」単元の主な模式図

頁	タイトル
p.194	主な地震の震源の深さ
p.198	海溝型地震 直下型地震 津波のしくみ
p.200	火山の恵みと火山災害
p.204	噴火のしくみ カルデラの形成
p.206	さまざまな気象災害
p.208	都市で洪水が起こるしくみとその対策
p.210	台風の構造 線状降水帯の模式図

## 実践的な防災行動が身に付く アクティビティ

↓教科書 p.215, 本冊子 p.67 **試し読み**

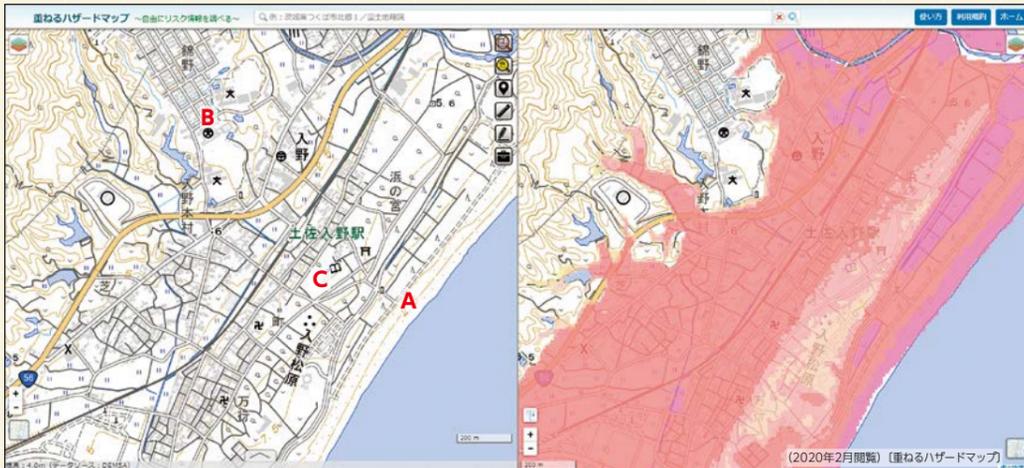
### SKILL 20 防災ゲーム「クロスロード」の活用

**TRY** 1 図4を参考にしながら、地震が発生したときのことを考えよう。Q1～Q3のような判断の分かれ道(クロスロード)で、あなたならYESとNOのどちらを選ぶだろうか。また、そのように判断した理由を話し合おう。  
2 国土地理院の「重ねるハザードマップ」で、図4の地域の津波浸水想定を調べよう。また、津波の指定緊急避難場所も確認しよう。

**Q1 YES or NO**  
あなたは同級生たちと海辺(A)に遊びに来た。地震を感じたが、大した揺れではないように感じた。まず、スマートフォンで情報収集をする？

**Q2 YES or NO**  
スマートフォンで津波警報を受信したので、急いで逃げ始めた。高台の高校(B)まで行けば安全そうだが、20分くらいかかりそう。友人は、「近くの図書館の屋上の避難場所(C)の方が近そう」と言う。友人に付いて行く？

**Q3 YES or NO**  
避難場所に着いた。時間がたち、食べ物が足りず、あなたはとても空腹。限られた食料を小学生以下の子どもと65歳以上の高齢者にだけ配布してはどうかと提案があった。賛成する？



↑4 「重ねるハザードマップ」でみた高知県黒潮町の周辺(左)と同じ場所の津波浸水想定(右) 左の地形図に津波浸水想定を重ね合わせると、右の地図になる。この地図に、さらに指定緊急避難場所や、道路の通行規制区間、冠水想定箇所などの道路防災情報を重ね合わせることもできる。  
**ポイント** 国土地理院が公開している「重ねるハザードマップ」では、津波や洪水、土砂災害のハザードマップなどを重ねて表示することができる。

津波浸水深*		*南海トラフでのM9.1の地震を想定	
20.0m以上	1.0m以上3.0m未満	1.0m以上3.0m未満	
10.0m以上20.0m未満	0.5m以上1.0m未満	0.5m以上1.0m未満	
5.0m以上10.0m未満	0.3m以上0.5m未満	0.3m以上0.5m未満	
3.0m以上5.0m未満	0.01m以上0.3m未満	0.01m以上0.3m未満	

#### 防災ゲーム「クロスロード」とは

防災は人間と自然の対決にみえるが、防災のための技術や制度が複雑化し、人々の考え方や価値観が多様化した現代社会では、人間と人間、あるいは、ある対策と別の対策との間の葛藤と調整、合意形成における判断なども重要な意味をもつ。「クロスロード」とは判断の分かれ道のことで、防災に関する取り組みにみられるジレンマを題材に、二者択一の設問にYESまたはNOの判断を下すことを通して、防災を他人事ではなく自分のこととして考え、相互に意見交換することをねらいとした

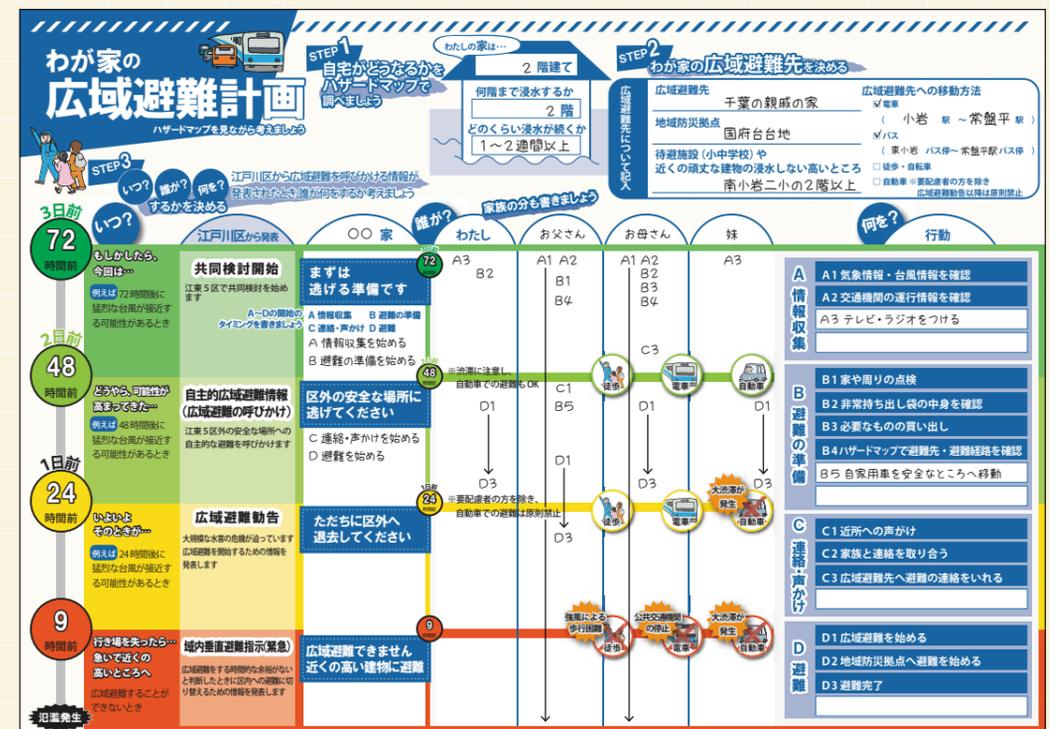
した集団ゲームである。災害時の行動にはっきりとした正解がないのと同様に、「クロスロード」の選択肢にも明確な正解はない。例えばQ1では、情報収集は確かに大切なことではあるが、地震発生後、わずかな時間で津波が押し寄せる可能性もあるので、直ちに高い場所に逃げたほうがよい場合もある。災害時に多くの人に受け入れられる判断を導き出し、実行に移すための対策を事前に進める準備として「クロスロード」に取り組むことが大切である。

ゲームを通して、災害時の行動を実践的に考えることができる。

↓教科書 p.218

### SKILL 21 災害発生時の行動計画の立て方

**TRY** 1 自分が暮らす地域のハザードマップなどを入手し、地域や学校周辺にはどのような地形や気候の特徴がみられ、どのような自然災害が起こる危険性があるのかを調べよう。  
2 図1を参考に、特に危険性の高い自然災害の発生を想定して、タイムライン(防災行動計画)を作成しよう。その際、自分の家の家族構成や生活環境に合わせて、自分自身や家族のとるべき行動について「いつ」「誰が」「何をやるのか」を明確にすることに留意しよう。



↑1 タイムライン(防災行動計画)の作成例(東京都江戸川区の例) 区の大部分が2週間以上にわたって浸水するという想定が基になっている。  
**ポイント** 警戒レベル(→ p.213)を想定して、それに合わせた行動計画を立てると災害発生時に判断しやすい。

#### 災害発生時の行動計画の作成

自然災害への備えの一つとして、災害が起こった際の対応を時系列で整理しておくタイムライン(防災行動計画)の作成が有効である。自然災害を想定し、各家庭の家族構成や生活環境に合わせて、自分自身や家族のとるべき行動について「いつ」「誰が」「何をやるのか」をあらかじめ整理することで、急な判断が迫られる災害発生時の判断材料とすることが期待できる。タイムラインを作成する際には、まず地域のハザードマップ

(→ p.199)などで自分の暮らす地域や学校周辺に、どのような地形や気候の特徴がみられ、どのような自然災害の危険があるのかを把握することが大切である。また、防災に関する情報をどこから入手するのかを確認することも大切である。一方で、自然災害が事前の想定どおりになることは少ない。そのため、実際に災害が発生した際には、作成したタイムラインを参考にしながら臨機応変に行動することが重要である。

災害時の行動を事前に整理することで、災害時の判断材料にすることができる。

## 地図やGISの活用方法を段階的に学べる展開

↓教科書 p.19, 本冊子 p.25 **試し読み**

**試し読み**

↓教科書 p.22, 本冊子 p.26

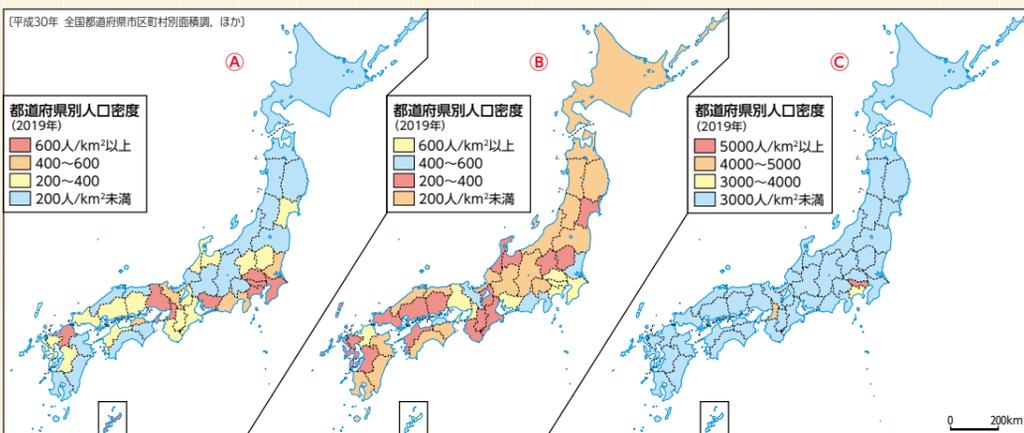
- 地図やGISの活用方法を丁寧に紹介。
  - 簡単な操作でGISを活用した学習ができる
- QRコンテンツ「アクセスWebGIS」を用意。
- \*「アクセスWebGIS」の詳細は本冊子p.68をご覧ください。 ▲QRコンテンツはこちらから



### SKILL 5 階級区分図の作り方

**TRY**

- 1 図5のA~Cのなかで、日本の人口密度の傾向を最も適切に表現した階級区分図はどれだろうか。また、ほかの図はどの点が多不適切なのだろうか。
- 2 図3について、統計資料を基に、傾向がよく表れるような階級区分図を作成しよう。また、図5と比べて分かることを説明しよう。



↑5 同じ内容を異なる色と階級で示した階級区分図の例

都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)
北海道	16.7	新潟	13.8	奈良	16.7	熊本	15.6
青森	12.5	富山	11.0	和歌山	8.9	大分	14.0
岩手	10.1	石川	26.7	鳥取	13.7	宮崎	10.0
宮城	24.6	福井	14.1	島根	11.2	鹿児島	10.3
秋田	10.0	山梨	20.6	岡山	22.3	沖縄	13.4
山形	12.0	長野	8.4	広島	21.7		
福島	8.1	岐阜	10.6	山口	14.7		
茨城	13.2	静岡	9.7	徳島	18.8		
栃木	11.2	愛知	25.6	香川	10.0		
群馬	16.9	三重	8.4	愛媛	12.4		
埼玉	16.1	滋賀	23.8	高知	13.4		
千葉	17.9	京都	63.4	福岡	23.7		
東京	55.5	大阪	27.5	佐賀	10.5		
神奈川	21.1	兵庫	22.5	長崎	13.9		

↑6 1000人あたりの大学生数

#### 階級区分図の作り方

階級区分図を作成するには、まず統計数値の最大値と最小値に注目して3~5階級ぐらいに区分する。次に、階級区分に応じて明るい色から暗い色へ、暖色から寒色へ、濃淡や色彩を決める。この際、各区分の大小の順序が分かるようにパターンを工夫することが大切である。階級区分やパターンの決め方が悪いと作図の意図が伝わりにくくなる。統計地図を作成する際には、意図が伝わりやすい図のタイトルを付けることや、凡例、統計の調査年、出典、縮尺(スケール)を記載することなどにも留意が必要である。

階級区分図を表現する上での留意点までわかる。

### SKILL 6 地理院地図の利用

**TRY**

- 1 地理院地図のウェブサイトを開き、「情報」にある「ベースマップ」をクリックして、どのような種類のベースマップがあるのか調べよう。
- 2 図1を参考に、検索バーに自分の通う学校名を入力して、その場所の地図を表示させよう。
- 3 2で表示させた場所の緯度・経度、標高を読み取ろう。
- 4 「機能」にある「ツール」から「計測」をクリックして、学校から自宅までの距離を計測しよう。
- 5 「機能」にある「断面図」をクリックして、学校から自宅までの断面図をつくろう。また、グループをつくり、完成した断面図を比べよう。

#### 地理院地図の特色と機能

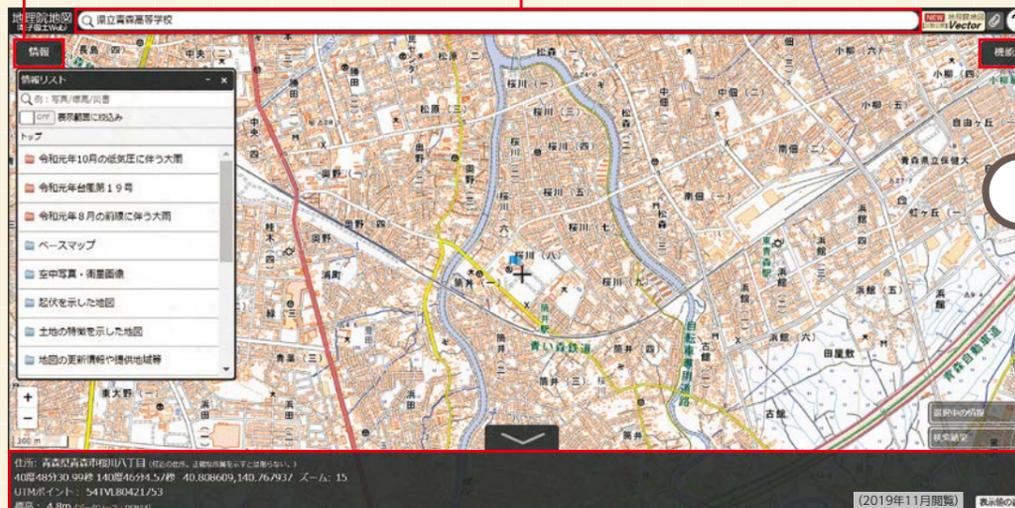
国土地理院は、最新の電子国土基本図(→p.13)を地理院地図としてインターネット上で公開している。地理院地図では、地図を自由に動かしたり、拡大・縮小したりすることができる。地図を拡大していくと、2万5千分の1地形図のように等高線や地図記号が表示される。地図上で距離や面積を計測する機能のほか、断面図を作成する機能や土地を立体的に表す3Dの機能もある。地図以外にも多数の情報が用意されており、空中写真や衛星画像は、最新のものだけでなく、古い年代のものも閲覧できるため、地域の様子の変化をとらえる際に役立つ。また、標高に応じて土地の色を変えた段彩図を表示したり、高さの範囲や色を指定して独自の段彩図をつくらたりする機能もある。このほか、過去に発生した地震や豪雨といった自然災害の被害を示した情報、自然災害ごとに定められた指定緊急避難場所などを地図上に示すことができるため、防災にも役立つ。

#### 「情報」ボタン

「情報」をクリックすると、「情報リスト」が開き、見たい項目をクリックすると詳細が表示される。また、ベースマップにほかの地理情報を重ねることができる。

#### 検索バー

入力ボックスに地名や住所、緯度・経度などを入力すると、その位置が地図上に表示される。地名や住所の場合は、検索結果が表示されるので、そのなかから選択する。



#### ↑1 地理院地図のウェブサイト

パソコンだけでなく、タブレットパソコンやスマートフォンなどの携帯端末でも閲覧することができる。

#### 「コンテキストメニュー」

図の中心地点の住所や緯度・経度、標高などが表示される。「+」や「-」のボタンで、情報の表示・非表示を切り替えることができる。

#### 「機能」ボタン

「機能」をクリックすると、「設定」、「ツール」、「断面図」「3D」などの項目が表示され、図形や文字の追加、距離や面積の計測、印刷、断面図や3D地図の作成などができる。

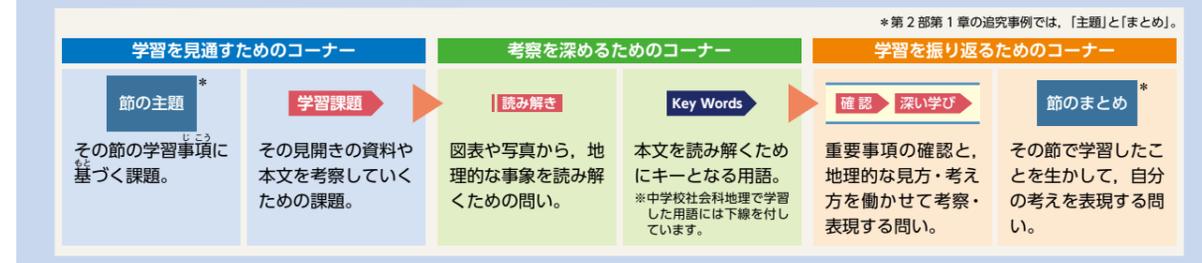
段階的な作業を通して、地理院地図の使い方がわかる。

#### ●第1部の「SKILL」ページ

頁	タイトル
p.9	時差の計算
p.14	地形図の利用-地図記号-
p.15	地形図の利用-縮尺と等高線-
p.18	等値線図の作り方
p.19	階級区分図の作り方
p.22-23	地理院地図の利用
p.24-25	e-StatとJSTAT MAPの利用
p.26	WebGISの活用
p.42	統計資料の活用

## ワイドで見やすいAB判の誌面

↓教科書 p.46-47, 本冊子 p.28-29 **試し読み**



### 1節 世界の地形と人々の生活

**節の主題** 地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこうした地形とどのように関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。

### 1 大地形と人々の生活

**学習課題** 大地形は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。

学習の見通しを立てられる問い。

AB判の判型を生かした迫力ある導入資料。

地図帳の活用を促す。

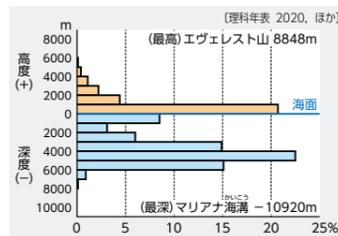
本文を補完する側注解説。  
\*側注で解説している用語は、すべてQRコンテンツにも掲載しています。

重要語句が一目でわかる。



↑1 高く険しいアルプス山脈を走る鉄道(スイス, 2015年8月) ↑2 大平原を走る鉄道(オーストラリア, 9月)  
**読み解き** 写真1と写真2の地形にはどのような違いがあるのだろうか。

**地図帳** 巨大な山脈や海嶺、海溝の位置や分布を確認しよう。



**地殻変動** 地球表面を覆う地殻に生じるさまざまな変化のこと。火山の噴火や地震などの活動に加え、長期間にわたる広大な地域の陸地の隆起や沈降、これに伴う褶曲や断層運動などがある。

**生活の舞台となる地形** 人々の生活は、土地の高低や起伏といった地形と関わり合いながら成立しており、それは、線路がさまざまな地形に対応して敷設されていることから分かる(写真1・2)。

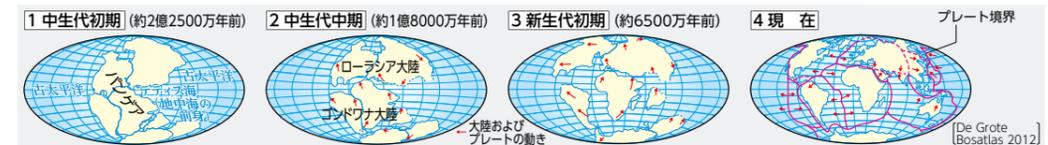
私たちの生活の舞台になっている陸地は、地球表面の3割を占めており、残りの7割は海である。陸地の大部分は高度1000m以下であり(図3)、世界の人々のほとんどがそこに暮らしている。広大な平野は一般に大陸の内陸部に広がっており、巨大な山脈は大陸の縁辺部に分布する傾向がある(図4)。起伏の小さな平野は、開発する際に地形的な制約が少ないため、大都市や農業地帯の多くが平野に立地している。

**地形をつくる力** 地球上の地形は、地球内部からの力である**内営力**と、太陽エネルギーを源にした**外営力**という二つの力が作用してつくられる。この力のバランスによって多様な地形が形づくられてきた。内営力は地殻変動や地震、火山活動によって地形を変化させる力であり、大陸や大平原、巨大な山脈などのような広

**Key Words** 内営力 外営力 大地形 小地形 変動帯 安定地域 プレート プレートテクトニクス



↑4 陸と海の地形(衛星画像) **読み解き** 巨大な山脈や海溝、海嶺は、どのような場所に分布しているのだろうか。



範囲に及ぶ**大地形**をつくる。一方の外的営力は、気温の変化や雨、風、水河、河川などの作用によって地形を変化させる力である。外的営力は狭い範囲に作用するため、比較的規模の小さな**小地形**をつくる。

**変動帯と安定地域** 世界の大地形は、地震活動や地殻変動が活発で、巨大な山脈や活断層、火山などが分布する**変動帯**と、それ以外の地震・火山活動が不活発な**安定地域**で特徴が大きく異なる。

地球の表面は厚さ100km程度の固い岩石でできた**プレート**に覆われている。変動帯はプレート境界に沿って広がり、プレートの運動と密接に関連している。プレートは十数枚に分かれており、それぞれが海面を覆いつくした流氷のようにゆっくりと滑り動いている(図5)。地殻変動や地震・火山活動と、これらによる大地形の発達には、プレートの動きが原因で生じると考えられている。このようにさまざまな地学現象をプレートの運動に求める考えを**プレートテクトニクス**とよぶ。変動帯と安定地域では、地形的な特徴や地震・火山活動に違いがあるため、それぞれの場所に暮らしている人々の生活にも違いがみられる。

(International Commission on Stratigraphy資料)

地質時代	年代	事項
前カンブリア時代	46億年前	微生物の誕生
古生代	5億4100万年前	酸素濃度上昇と鉄鉱床の形成
	2億5200万年前	陸上動物の出現 石炭層の形成 シンダリウムと恐竜の時代
中生代	6600万年前	ほ乳類の多様化
	2300万年前	大陸氷河の出現 人類の誕生
	260万年前	氷河時代 人類の進化と拡散

### 6 地質時代の区分

**確認** 巨大な山脈や海溝、海嶺などの大地形が、どのような力で形成されたのか説明しよう。

**深い学び** 土地の起伏が人々の生活に与える影響について、身近な地域の例を挙げて説明しよう。

資料の読み解きを促す。

資料の活用を促す本文内の図番号表記。

学習内容を振り返るコーナー。

習得した知識を用いて考察を深めるコーナー。

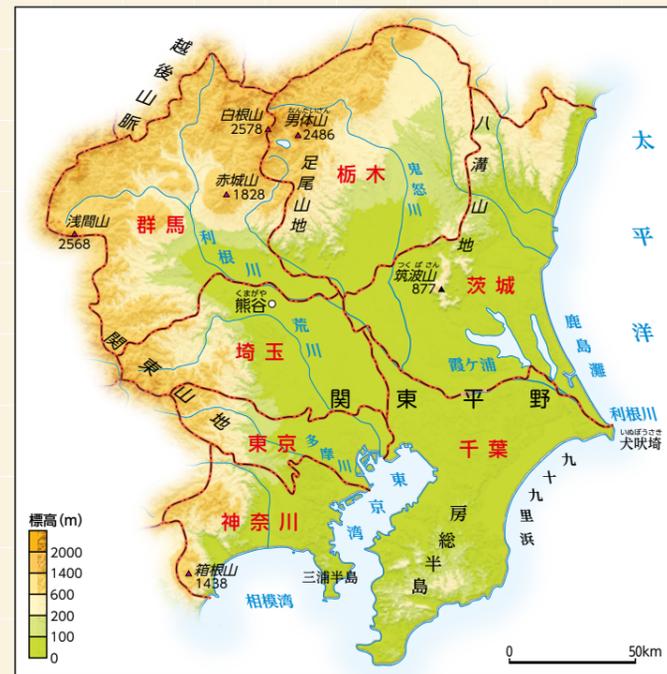
## SKILL 4

### 等値線図のつくり方

等値線図のつくり方が段階的に学べる丁寧な展開。



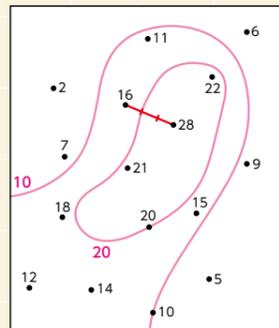
↑1 2018年7月23日午後2時の気温 この日に埼玉県熊谷市で最高気温41.1℃を記録した。ポイント 気温は地形の影響を受けるため、等温線を描く際や読み取る際には、観測地周辺の地形(→図4)にも注意が必要である。



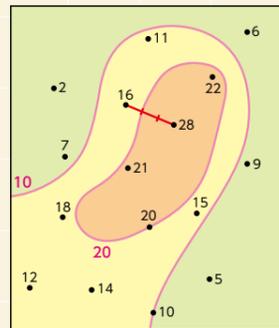
↑4 関東地方の地形

#### TRY

- 図1は、2018年7月23日午後2時の気温のデータである。36℃の等値線(等温線)を参考にしながら、38℃を赤色、34℃をオレンジ色、32℃を黄緑色で、等温線を描き入れよう。
- どのような地域で気温が高いのだろうか。また、そのような傾向を示す理由を考えよう。
- 2と同様に、どのような地域で気温が低いのだろうか。また、そのような傾向を示す理由を、図1を参考に考えよう。



ポイント 基準にしたい値の点がない場合は、2点の距離から線を描く場所を定める。



ポイント 隣り合う色を同系色にしたり、濃い色から淡い色にしたりすることで、読み取りやすくなる。

#### 等値線図のつくり方

等値線とは、分布の状態を図式的に表すため、同じ値をもつ点を結んだ線のことをいう。地形図に用いられる等高線や、天気図に用いられる等圧線、気温の等温線も等値線の一つである。

同じ値をもつ点の数が多いほど、正確な等値線図をつくることができる。しかし、同じ値をもつ点が少ない場合や、基準にしたい値の点がない場合は、ほかの2点の値を基にして線を描く場所を定め、各点を滑らかに結びとよい(図2)。

また、等値線図を見やすくするために、等値線と等値線の間を着色することもある(図3)。図4のような標高に応じて色分けした段彩図も等高線と等高線の間を着色したものである。

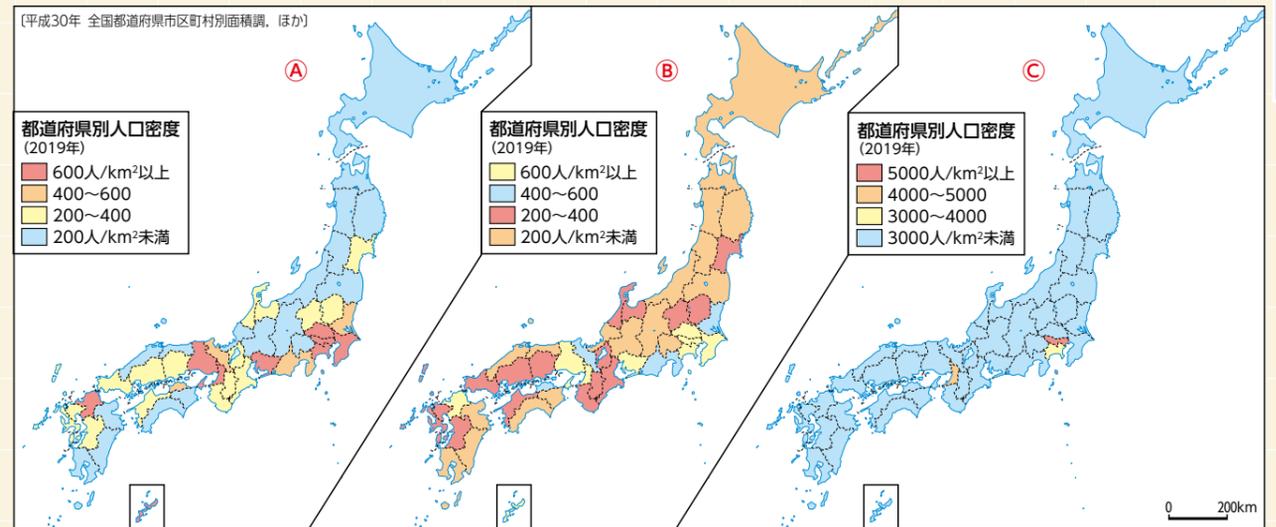
一方で、等値線図を読み取る際には、等値線上の場所の値が実測値ではない可能性があることに注意する必要がある。

## SKILL 5

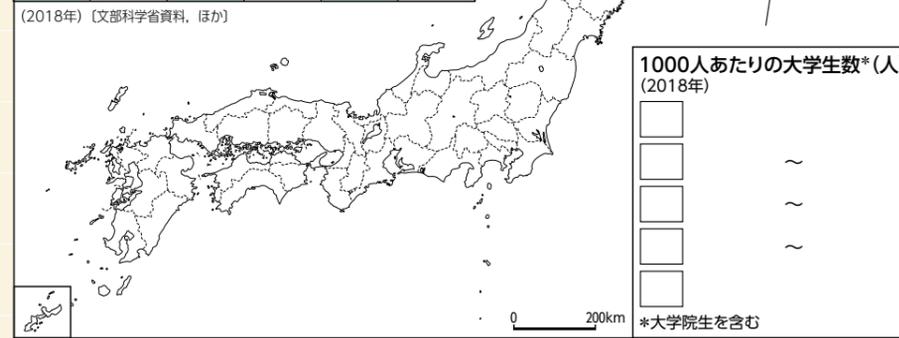
### 階級区分図のつくり方

#### TRY

- 図5のA~Cのなかで、日本の人口密度の傾向を最も適切に表現した階級区分図はどれだろうか。また、ほかの図はどの点ที่ไม่適切なのだろうか。
- 図6について、統計資料を基に、傾向がよく表れるような階級区分図を作成しよう。また、図5と比べて分かることを説明しよう。



都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)	都道府県	1000人あたりの大学生数(人)
北海道	16.7	新潟	13.8	奈良	16.7	熊本	15.6
青森	12.5	富山	11.0	和歌山	8.9	大分	14.0
岩手	10.1	石川	26.7	鳥取	13.7	宮崎	10.0
宮城	24.6	福井	14.1	島根	11.2	鹿児島	10.3
秋田	10.0	山梨	20.6	岡山	22.3	沖縄	13.4
山形	12.0	長野	8.4	広島	21.7		
福島	8.1	岐阜	10.6	山口	14.7		
茨城	13.2	静岡	9.7	徳島	18.8		
栃木	11.2	愛知	25.6	香川	10.0		
群馬	16.9	三重	8.4	愛媛	12.4		
埼玉	16.1	滋賀	23.8	高知	13.4		
千葉	17.9	京都	63.4	福岡	23.7		
東京	55.5	大阪	27.5	佐賀	10.5		
神奈川	21.1	兵庫	22.5	長崎	13.9		



#### 階級区分図のつくり方

階級区分図を作成するには、まず統計数値の最大値と最小値に注目して3~5階級ぐらいに区分する。次に、階級区分に応じて明るい色から暗い色へ、暖色から寒色へ、濃淡や色彩を決める。この際、各区分の大小の順序が分かるようにパターンを工夫することが大切である。階級区分やパターンの決め方が悪いと作図の意図が伝わりにくくなる。統計地図を作成する際には、意図が伝わりやすい図のタイトルを付けることや、凡例、統計の調査年、出典、縮尺(スケール)を記載することなどにも留意が必要である。

階級区分図の表現上の留意点までわかる。

## SKILL 6

### 地理院地図の利用

#### TRY

- 1 地理院地図のウェブサイトを開き、「情報」にある「ベースマップ」をクリックして、どのような種類のベースマップがあるのか調べよう。
- 2 図1を参考に、検索バーに自分の通う学校名を入力して、その場所の地図を表示させよう。
- 3 2で表示させた場所の緯度・経度、標高を読み取る。
- 4 「機能」にある「ツール」から「計測」をクリックして、学校から自宅までの距離を計測しよう。
- 5 「機能」にある「断面図」をクリックして、学校から自宅までの断面図をつくろう。また、グループをつくり、完成した断面図を比べよう。

#### 地理院地図の特色と機能

国土院は、最新の電子国土基本図(→p.13)を地理院地図としてインターネット上で公開している。地理院地図では、地図を自由に動かしたり、拡大・縮小したりすることができる。地図を拡大していくと、2万5千分の1地形図のように等高線や地図記号が表示される。地図上で距離や面積を計測する機能のほか、断面図を作成する機能や土地を立体的に表す3Dの機能もある。

地図以外にも多数の情報が用意されており、空中写真や衛星画像は、最新のものだけでなく、古い年代のものも閲覧できるため、地域の様子の変化をとらえる際に役立つ。また、標高に応じて土地の色を変えた段彩図を表示したり、高さの範囲や色を指定して独自の段彩図をつくったりする機能もある。このほか、過去に発生した地震や豪雨といった自然災害の被害を示した情報、自然災害ごとに定められた指定緊急避難場所などを地図上に示すことができるため、防災にも役立つ。

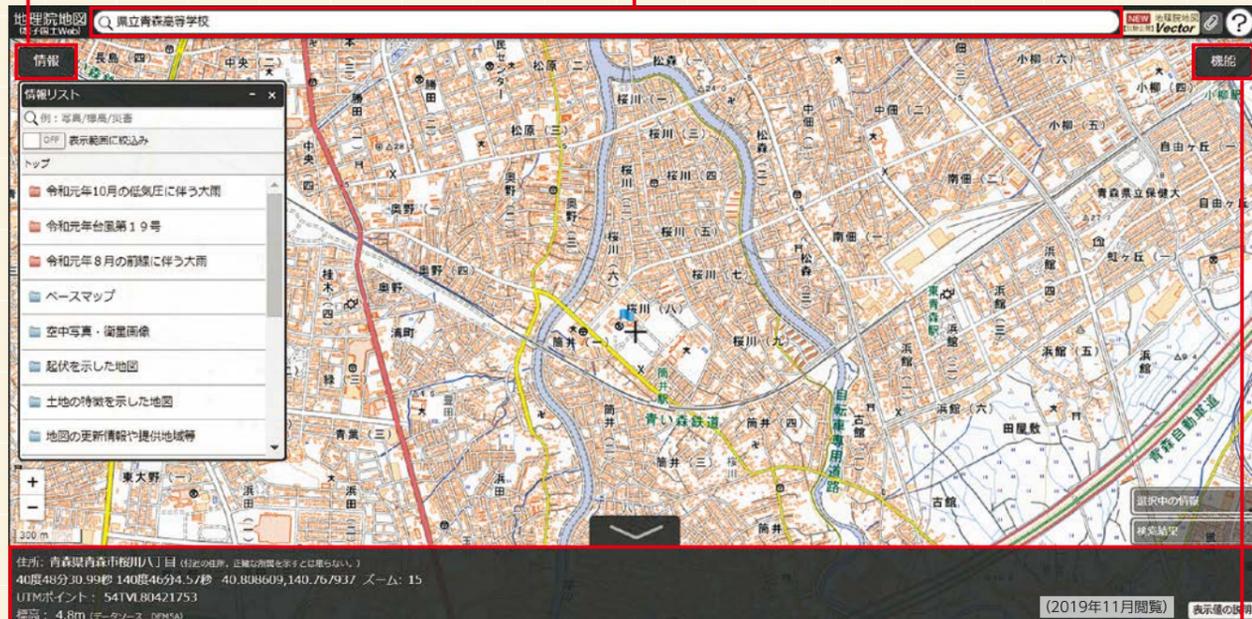
防災学習で活用できる技能も身に付く。

#### 「情報」ボタン

「情報」をクリックすると、「情報リスト」が開き、見たい項目をクリックすると詳細が表示される。また、ベースマップのほかの地理情報を重ねることができる。

#### 検索バー

入力ボックスに地名や住所、緯度・経度などを入力すると、その位置が地図上に表示される。地名や住所の場合は、検索結果が表示されるので、そのなかから選択する。



#### ↑1 地理院地図のウェブサイト

パソコンだけでなく、タブレットパソコンやスマートフォンなどの携帯端末でも閲覧することができる。

#### 「コンテキストメニュー」

図の中心地点の住所や緯度・経度、標高などが表示される。「〜」や「〜」のボタンで、情報の表示・非表示を切り替えることができる。

#### 「機能」ボタン

「機能」をクリックすると、「設定」、「ツール」、「断面図」「3D」などの項目が表示され、図形や文字の追加、距離や面積の計測、印刷、断面図や3D地図の作成などができる。

#### 地理院地図を使った情報の重ね合わせ・比較

地理院地図では、背景となる地図(ベースマップ)に空中写真を重ねたり、空中写真に自然災害での被害の情報を重ねたりすることができる。複数の情報を組み合わせることで、土地利用と地形の関係や、大雨による浸水被害範囲と地形の関係などを読み取ることができる。地図どうしや、地図と空中写真を重ねる場合は、透過率を調整すると両者の関係が読み取りやすくなる。情報が互いに多い場合は、2画面表示にして比較したほうが分析しやすいこともある。

#### TRY

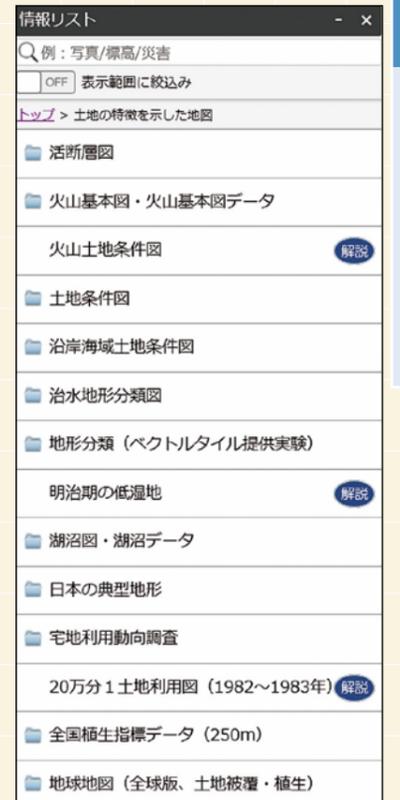
- 6 地理院地図では、ベースマップのほかに、どのような地図や情報を表示させることができるのだろうか。図2も参考にしながら確認しよう。
- 7 図3を参考に、6の作業で興味をもった地図や情報とベースマップの関係を(1)と(2)の方法で読み取り、気付いたことをまとめよう。
  - (1) 「選択中の情報」で、透過率を調整する。
  - (2) 「機能」にある「ツール」をクリックして、2画面表示にする。

#### 「選択中の情報」

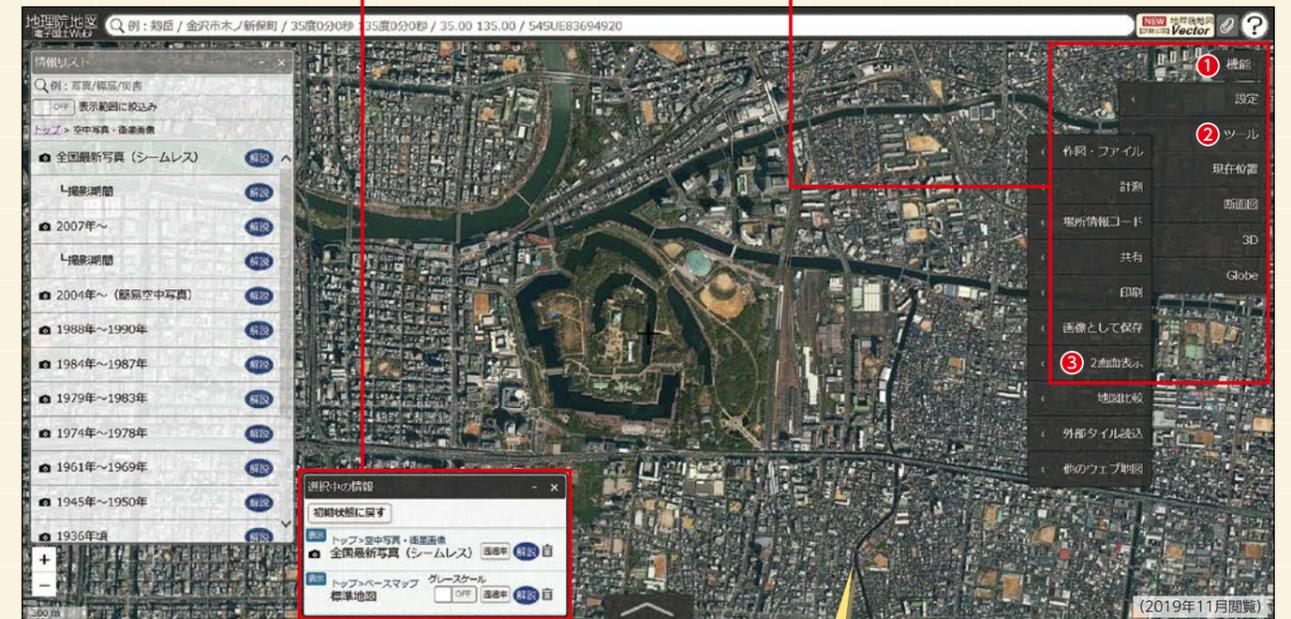
「情報リスト」の項目から、見たい情報をクリックすると、「選択中の情報」が表示される。それぞれの情報について、解説や凡例を確認したり、表示・非表示を切り替えたりすることができる。また、それぞれの透過率を設定して、透かして表示させることもできる。

#### 「2画面表示」

「機能」にある「ツール」から、「2画面表示」をクリックすると、二つの地図を並べて表示させることができる。図の中心地点や縮尺は、自動的に左右で同じになる。



↑2 図1の「情報リスト」から「土地の特徴を示した地図」をクリックして表示される情報の例



↑3 地理院地図で大阪城付近の全国最新写真(シームレス)を表示させた例

実際の画面で操作のイメージができる。

## 1節 世界の地形と人々の生活

節の主題 地球上には、高く険しい山脈や広大な平原、深い谷などの多様な地形がある。人々はこうした地形とどのように関わり合っているのだろうか。そして、世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。

### 1 大地形と人々の生活

学習課題 大地形は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。



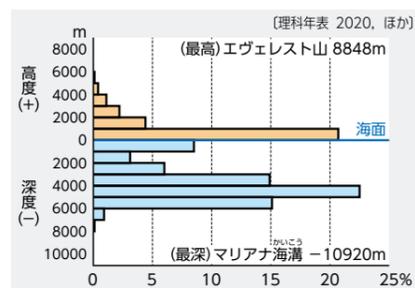
迫力ある導入資料で興味関心を高められる。

↑1 高く険しいアルプス山脈を走る鉄道(スイス、2015年8月) ↑2 大平原を走る鉄道(オーストラリア、9月)

読み解き 写真1と写真2の地形にはどのような違いがあるのだろうか。

地形と人々の暮らしの関わりが見える。

地図帳 巨大な山脈や海嶺、海溝の位置や分布を確認しよう。



↑3 地球表面の高度分布 読み解き 陸地の高さにはどのような特徴があるのだろうか。

①地殻変動 地球表面を覆う地殻に生じるさまざまな変化のこと。火山の噴火や地震などの活動に加え、長期間にわたる広大な地域の陸地の隆起や沈降、これに伴う褶曲や断層運動などがある。

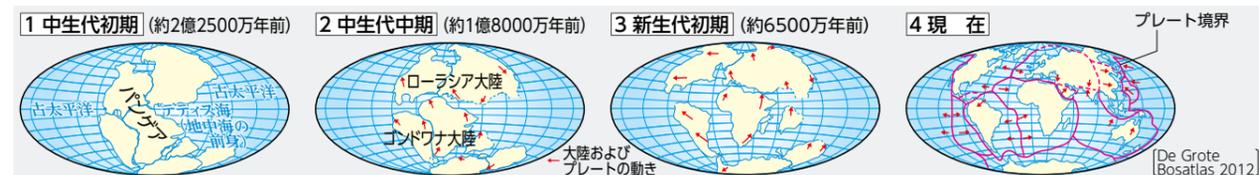
生活の舞台となる地形 人々の生活は、土地の高低や起伏といった地形と関わり合いながら成立しており、それは、線路がさまざまな地形に対応して敷設されていることから分かる(写真1・2)。

私たちの生活の舞台になっている陸地は、地球表面の3割を占めており、残りの7割は海である。陸地の大部分は高度1000m以下であり(図3)、世界の人々のほとんどがそこに暮らしている。広大な平野は一般に大陸の内陸部に広がっており、巨大な山脈は大陸の縁辺部に分布する傾向がある(図4)。起伏の小さな平野は、開発する際に地形的な制約が少ないため、大都市や農業地帯の多くが平野に立地している。

地形をつくる力 地球上の地形は、地球内部からの力である内営力と、太陽エネルギーを源にした外営力という二つの力が作用してつくられる。この力のバランスによって多様な地形が形づくられてきた。内営力は地殻変動や地震、火山活動によって地形を変化させる力であり、大陸や大平原、巨大な山脈などのような広



↑4 陸と海の地形(衛星画像) 読み解き 巨大な山脈や海溝、海嶺は、どのような場所に分布しているのだろうか。



↑5 大陸の移動と現在の大陸の分布 かつて存在した巨大大陸パングアが、分裂・移動して現在の大陸の分布に至ったと考えられている。読み解き 現在の大陸は、それぞれどのように移動してきたのだろうか。

範囲に及ぶ大地形をつくる。一方の外的営力は、気温の変化や雨、風、氷河、河川などの作用によって地形を変化させる力である。外的営力は狭い範囲に作用するため、比較的規模の小さな小地形をつくる。

変動帯と安定地域 世界の大地形は、地震活動や地殻変動が活発で、巨大な山脈や活断層、火山などが分布する変動帯と、それ以外の地震・火山活動が不活発な安定地域で特徴が大きく異なる。

地球の表面は厚さ100km程度の固い岩石でできたプレートに覆われている。変動帯はプレート境界に沿って広がり、プレートの運動と密接に関連している。プレートは十数枚に分かれており、それぞれが海面を覆いつくした流氷のようにゆっくりと滑り動いている(図5)。地殻変動や地震・火山活動と、これらによる大地形の発達は、プレートの動きが原因で生じると考えられている。このようにさまざまな地学現象をプレートの運動に求める考えをプレートテクトニクスとよぶ。変動帯と安定地域では、地形的な特徴や地震・火山活動に違いがあるため、それぞれの場所に暮らしている人々の生活にも違いがみられる。

(International Commission on Stratigraphy資料)

地質時代	年代	事項
先カンブリア時代	46億年前	微生物の誕生
		酸素濃度上昇と鉄鉱床の形成
古生代	5億4100万年前	陸上動物の出現
	2億5200万年前	石炭層の形成
中生代		シダ類と恐竜の時代
	6600万年前	ほ乳類の多様化
新生代	古第三紀	
	2300万年前	大陸氷河の出現
新第三紀		人類の誕生
	260万年前	氷河時代
第四紀		人類の進化と拡散

↑6 地質時代の区分

確認 巨大な山脈や海溝、海嶺などの大地形が、どのような力で形成されたのか説明しよう。

深い学び 土地の起伏が人々の生活に与える影響について、身近な地域の例を挙げて説明しよう。

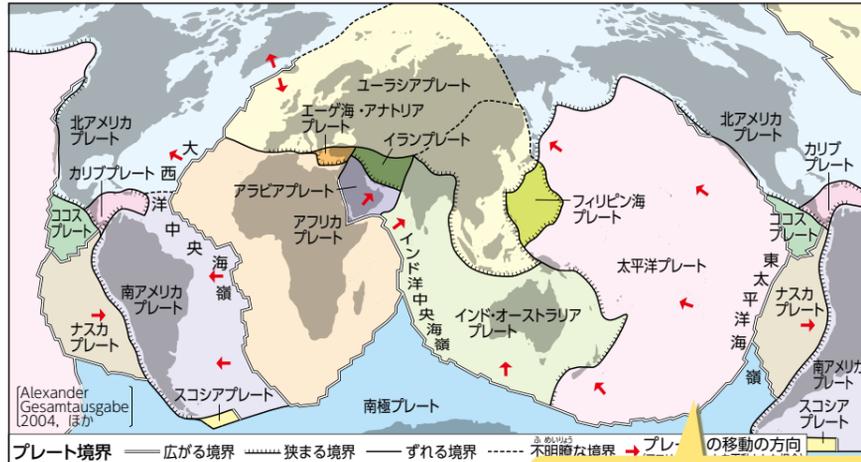
地形が生活に与える影響を、身近な地域と関連させながら考えることができる。

## 2 変動帯と人々の生活

学習課題 変動帯の地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。

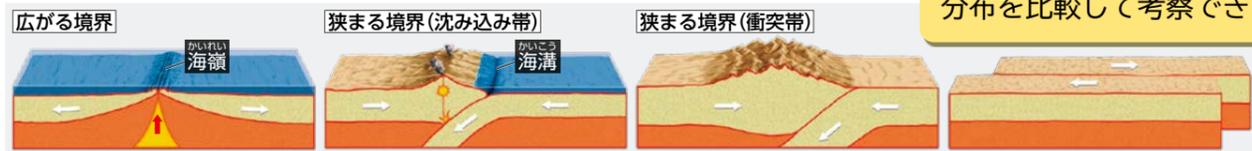


↑1 高く険しい山でトレッキングを楽しむ人々(ネパール、4月) ヒマラヤ山脈は、インド・オーストラリアプレートとユーラシアプレートの衝突によって形成された。



↑2 世界の主なプレートの分布

プレートの分布と地震・火山の分布を比較して考察できる。



↑3 プレート境界の模式図 読み解き それぞれのプレート境界には、どのような特徴があるのだろうか。



↑4 大地のさげ目(ギャオ)(アイスランド) 火山の火口が直線状に並んでいる。

①海嶺 大洋底にある長大な海底山脈のこと。中央海嶺はマントル対流の盛り上がり部分にあたり、プレートが生じる場所と考えられている。

②海溝 海底の細長い凹地のこと。多くが深さ6000m以上で、長さは数百kmから数千kmに及ぶ。固く密度の高い海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込む境界に形成される。

変動帯の大地形と生活 変動帯では、高い山地や深い谷などの起伏の大きな地形がみられ、その美しい景観が観光資源となっている場所が多い(写真1)。その一方で地震や火山の噴火などの自然災害が多く、人々の生活に大きな影響を与えている。変動帯にみられるプレート境界は、各プレートの動く向きによって3種類に分類される(図3)。

(1) 広がる境界 隣り合うプレートが互いに遠ざかり、引っ張り合う力が働く境界で、太平洋や大西洋、インド洋の海底で海嶺を形づくっている。大西洋中央海嶺に位置するアイスランドは、火山と氷河がつくる特異な景観によって、毎年多くの観光客が訪れる(写真4)。

(2) 狭まる境界 隣り合う二つのプレートが互いに近づき、押し合う力が働く境界で、プレートの沈み込みや衝突によって、海溝と列島や巨大な山脈などの大地形が形成される。一般に高く険しい山地がみられ、地震や火山の噴火、山崩れなどによる自然災害も多発する。

(3) ずれる境界 隣り合うプレートが互いにすれ違い、水平方向にずれ動くような力が働く境界で、主に海域に分布する。陸上では、アメリカ合衆国太平洋岸のサンアンドレアス断層などがみられる(写真5)。



↑5 プレートのずれる境界上にみられるサンアンドレアス断層(アメリカ合衆国、カリフォルニア州) 断層の長さは1000km以上に及ぶ。



↑6 噴煙をあげる火山(インドネシア、ジャワ島) インドネシアは、変動帯に位置しており、多くの火山がみられる。



↑7 世界の主な地震の震源地と火山

読み解き プレート境界と地震の震源や火山の分布には、どのような関係があるのだろうか。

地震・火山に 対応した生活 プレート境界では地震が発生し、建物の倒壊や火災、土砂崩れ、地盤の液状化などの被害が生じる場合がある。また、海底で地震が発生すると津波によって沿岸に災害をもたらすことがある。日本を含む地震の多発地域では、建物の耐震化や津波を防ぐ防潮堤の建設、避難路の確保など、地震や津波への対策になっている。

写真6のような火山の多い地域では、噴火に伴って溶岩や火山灰、火山ガス、火砕流が噴出し、火口周辺を中心にさまざまな被害をもたらす。しかし、火山活動に伴って湧出する温泉、火山灰や風化した溶岩を元とする肥沃な土壌、観光資源としての美しい景観、再生可能エネルギーとしての地熱など、人々は火山からさまざまな恩恵を受けている(写真8・9)。また変動帯のなかには、マグマの作用によって銅や銀、すずを高い密度で含む鉱床が形成される場所もあり、これらの鉱産資源は現代の産業に欠かせないものになっている。



↑8 温泉と間欠泉(チリ、チウキカマタ近郊、2016年9月) 熱水が噴き出す間欠泉を眺めながら、温泉につかることができる。

変動帯における生活の、正の側面と負の側面の両面がわかる。

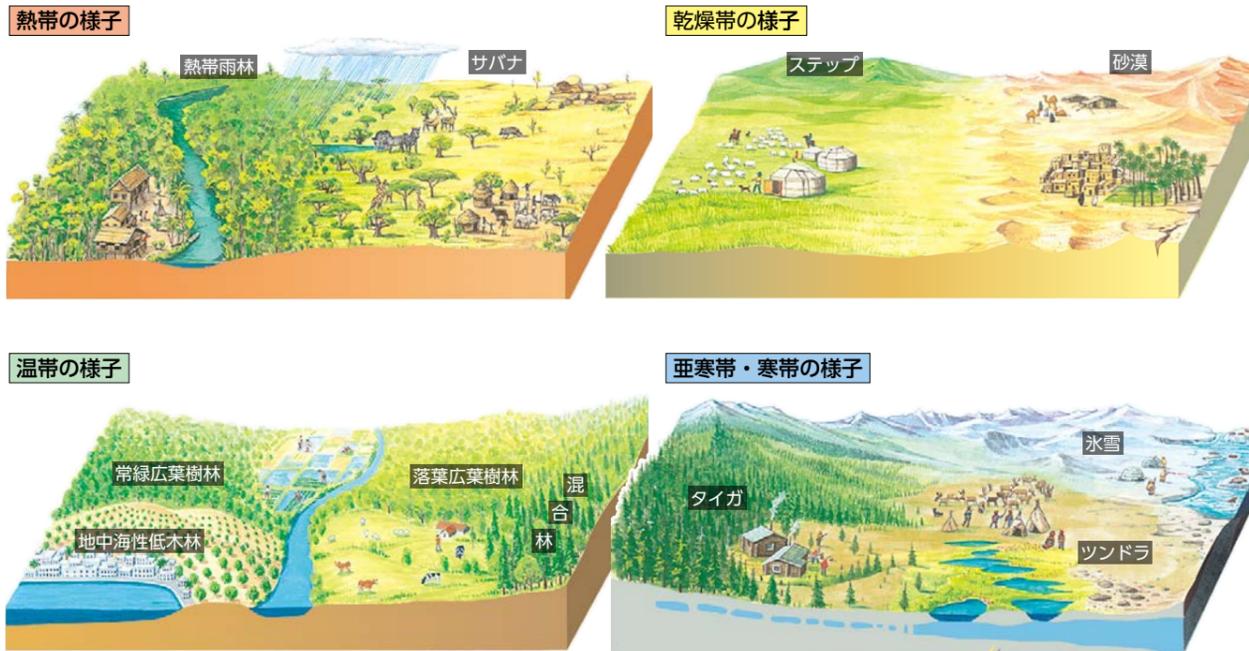
↑9 ワイラケイ地熱発電所(ニュージーランド) 火山の多いニュージーランドでは、地熱の利用が進められている。

確認 なぜ地震や火山が多い地域と少ない地域があるのだろうか。

深い学び 変動帯でみられる特徴的な生活を説明しよう。

## 3 世界の植生と気候区分

学習課題 世界の植生は、気候とどのように関わり合っているのだろうか。



↑1 各気候帯でみられる植生 | 読み解き 植生には、気候によってどのような違いがみられるのだろうか。

模式図で植生と気候の関わりを視覚的にイメージできる。

① 植生 ある地域に生育している植物の集まりのこと。荒原・草原・森林などがその例。地形や気候、土壌、さらには人間を含む動物などの関係によって、その地域独特の植生が形成される。

乾燥	湿潤	
永久氷雪	ツンドラ	タイガ
砂漠	ステップ	混 合 林 照 葉 樹 林
	サバナ	熱帯雨林
		寒冷
		温暖

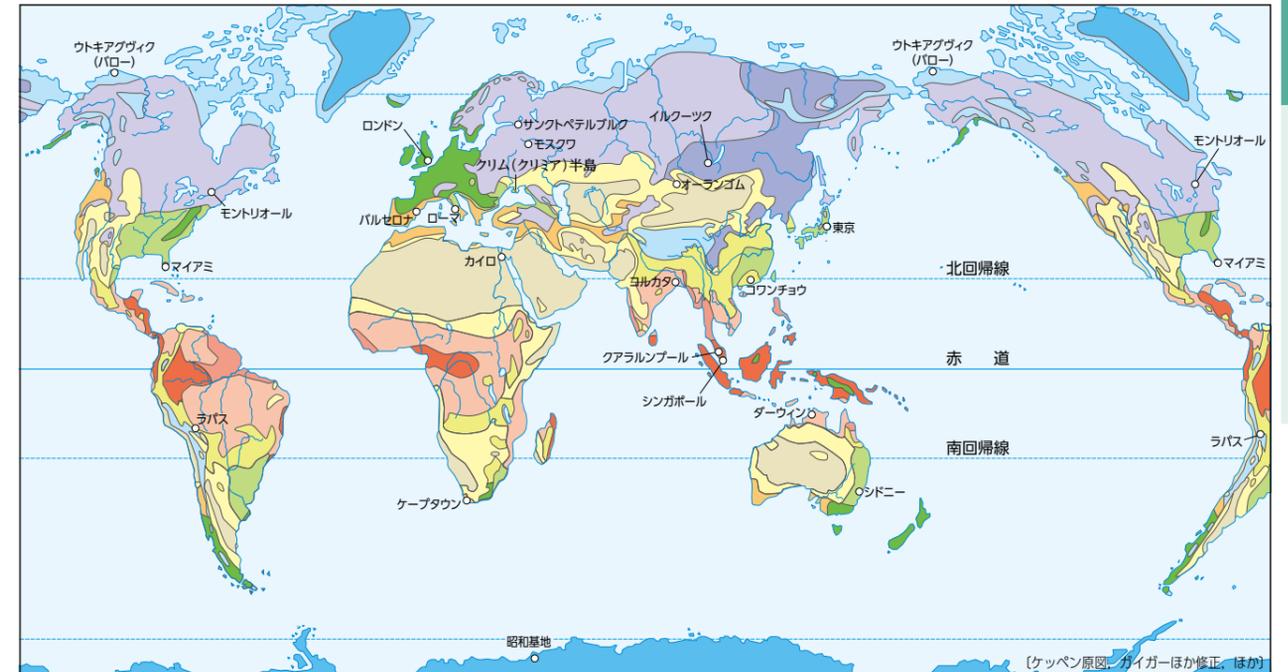
↑2 気候と植生の関係

地図帳 サントペテルブルクとクリム半島の位置を確認しよう。

ある地域を覆っている植物の集まりのことを**植生**という。植生には、気候の影響を受けて違いがみられ(図2)、世界各地にはその植生に適応したさまざまな生活文化がみられる。熱帯や温帯、亜寒帯(冷帯)では森林がみられる一方で、降水量が少なく蒸発量が多い乾燥帯や、気温が低く植物が育ちにくい寒帯では、森林はほとんど形成されない(図1)。植生は、気候に加えて地形や土壌などの自然環境や、農耕や林業などの人為的な影響も強く受けている。

**ケッペンの気候区分** ドイツの気候学者ケッペン<sup>W. Köppen</sup>は、大学生生活を過ごしたロシア西部のサントペテルブルクと家族の住む黒海沿岸のクリム(クリミア)半島を鉄道で行き来した際に、植生の変化を目の当たりにした。こうした旅の経験から、気候が植生に与える影響に着目し、植生の分布を基準に、気温と降水量を指標として世界の気候を区分した(図3・4)。

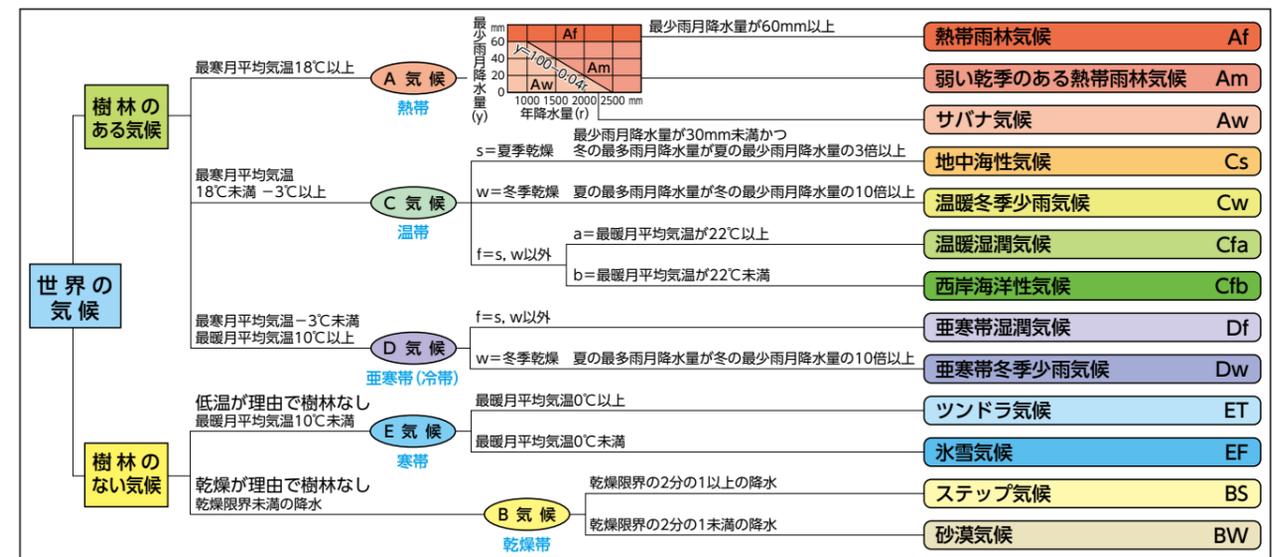
本書では、ケッペンの気候区分を基に、各地の気候とそこで暮らす人々の生活を考察していく。植生の分布は、農牧業や林業などと関係が深い<sup>あ</sup>ため、ケッペンの気候区分は人々の生活文化を理解するうえで有用



↑3 ケッペンの気候区分図

読み解き 各気候の分布にはどのような特徴や傾向があるのだろうか。

熱帯	乾燥帯	温帯	亜寒帯	寒帯
Af	BW	Cs	Df	ET
Am	BS	Cw	Dw	EF



↑4 ケッペンの気候区分の指標 気候帯の記号は、低緯度から高緯度に向けてAからEへと並びように工夫されている。

である。また、気温と降水量という世界各地で観測されている気象データを指標としているため、各地の気候を比較しやすい点も特長である。一方で、地球規模の気候判定を前提にしているため、日本国内などの比較的狭い地域の気候の判定には適さないことや、気候の地域的な違いが生じる原因を説明できないことなどの短所もある。

確認 ケッペンの気候区分の基準と指標を説明しよう。

深い学び 人々の生活文化を理解するうえで、ケッペンの気候区分にはどのような有用性があるのだろうか。

生活文化との関連から気候区分の有用性を考えることができる。

## 4

### 熱帯の生活

学習課題 熱帯の気候と植生は、人々の生活とどのように関わっているのだろうか。

豊富な写真で人々の暮らしがイメージできる。



1 一年中観光客が訪れるビーチリゾート（インドネシア、バリ島、2018年7月）年間を通して気温が高く、年較差が小さいため、一年中多くの人でにぎわう。

読み解き 写真1~4から読み取れる植生や生活文化は、熱帯の気候とどのように関わっているのだろうか。



2 熱帯の気候で育つ作物が並ぶ市場（インドネシア、2018年9月）



3 食事の様子（インドネシア、9月） ご飯と野菜や魚を混ぜて食



4 気候と人々の暮らしの関わりがわかる。



5 激しいスコールのなかを歩く子どもたち（インドネシア、サマリダ、9月）

1 熱帯雨林 熱帯林のうち、特に降水量が多く、気温が高い地域に生育する森林のこと。南アメリカではセルバ、東南アジアやアフリカではジャングルとよばれる。

高温多湿な熱帯の生活 熱帯は赤道付近の低緯度に広がり、気温が高く降水量が多い。人々は豊富な森林資源や高温多湿な環境に

適した家畜などを利用し、熱帯の気候に対応した生活文化を営んできた。

インドネシアの市場にはバナナやパイナップルなどの色鮮やかな熱帯性の

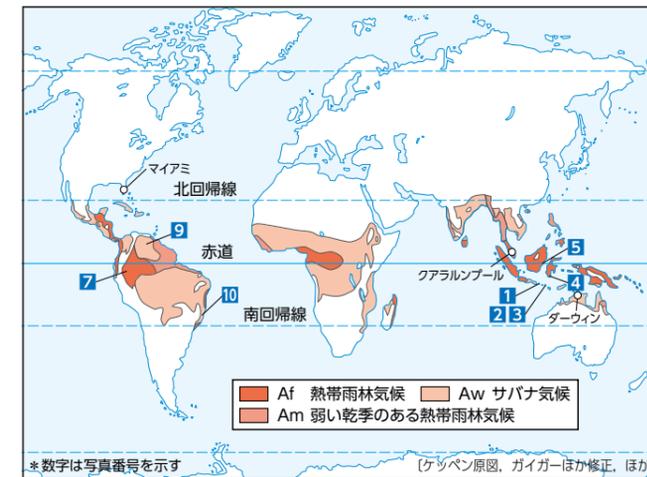
農作物が並ぶ(写真2)。食事は米のほか、キャッサバやタロイもなどの

いも類が主食である。年較差が小さく四季がないため、一年中風通しの

よい衣服で過ごす。伝統的な住居には木材が使われ、床は高床になって

おり、家の中に熱や湿気がこもらないように工夫されている(写真4)。

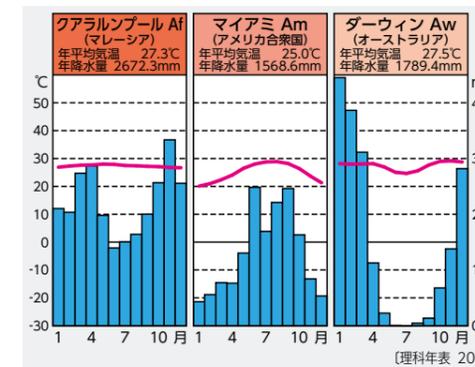
(1) 熱帯雨林気候(Af) 熱帯雨林気候は、ほとんどが赤道付近に分布し、一年中気温が高く、降水量が多い。午後にはスコールという、激しい雨を伴う強風に見舞われることもある(写真5)。熱帯雨林とよばれる多種類の常緑広葉樹からなる密林では、高さの異なる樹木が層をなしている



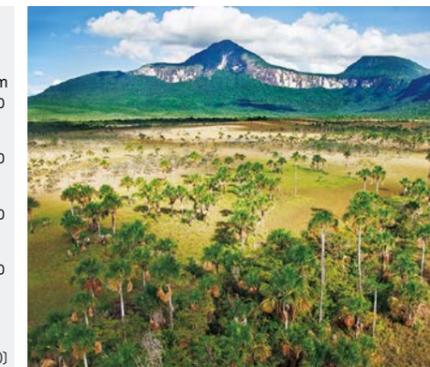
6 熱帯の分布 読み解き 各気候の位置や範囲に着目しよう。



7 アマゾン川と熱帯雨林(ペルー、2015年7月)



8 熱帯の気温と降水量



9 高木がまばらに生えるサバナ(ベネズエラ、1月)



10 コーヒーの収穫(ブラジル、2018年5月)

(写真7)。熱帯雨林では食用となる植物が少ないため、伝統的には狩猟や自給的な焼畑農業が行われてきたが、現在はバナナや天然ゴム、油やしなどの商品作物のプランテーションが広くみられる。季節風(モンスーン)の影響が強い地域は、弱い乾季のある熱帯雨林気候(熱帯モンスーン気候)(Am)となり、アジアでは稲作が盛んである。

(2) サバナ気候(Aw) サバナ気候は、熱帯雨林気候より高緯度側に分布し、夏には熱帯収束帯の影響で降水の多い雨季となり、冬には亜熱帯高圧帯の影響で降水の少ない乾季となる。草丈の長い草原のなかに樹木が点在するサバナが広がり(写真9)、アフリカではゾウやサイなどの大型草食動物が多い。乾季には、樹木はほとんどが落葉し、草原は枯れる。やせた土壌が多いが、インドのデカン高原ではレグール、ブラジル高原ではテラローシャとよばれる玄武岩が風化した肥沃な土壌が広がる。これらの地域では、さとうきびや綿花、コーヒーなどの商品作物の栽培が行われている(写真10)。

2 サバナ 草丈の長い草原の中に樹木が点在する熱帯の草原地帯のこと。雨季には草が茂り乾季には枯れる。南アメリカのサバナは、オリノコ川流域ではリャノ、ブラジル高原ではセラードやカンボとよばれる。

地図帳の活用を促す。

地図帳 デカン高原やブラジル高原の位置を確認しよう。

確認 熱帯雨林気候とサバナ気候の植生や気温・降水量の特徴を説明しよう。

深い学び 熱帯の気候と植生は、衣食住や産業とどのように関わっているのだろうか。事例地域を挙げて説明しよう。

## SKILL 14

### 写真の読み取り方 —生活文化—



↑1 蒸し焼き料理の準備  
【ポイント】パンノキの実と魚、タロイモがある。



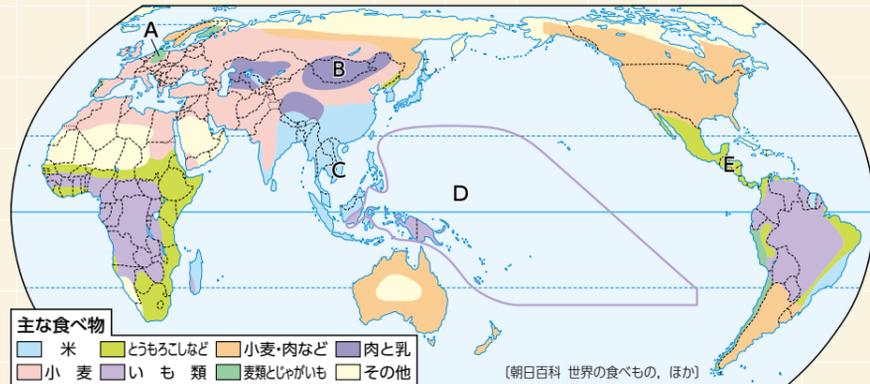
↑2 ライスペーパーづくり 【ポイント】水で溶いた米粉を薄くシート状に広げて乾かしている。



↑3 乾燥チーズづくり  
【ポイント】ゲルとよばれる移動式住居の屋根にチーズを載せて乾燥させている。



↑4 トルティーヤ用のとうもろこし粉づくり  
【ポイント】手動でとうもろこしをひいている。



↑5 世界の主な食べ物



←6 ジャガイモを使った料理(2019年)  
【ポイント】ビールの原料となる大麦やホップも、ジャガイモと同様に冷涼な気候下で育つ。

#### TRY

- 写真1~4, 6には、それぞれの地域の主食となっている食べ物(または主食を原料とした食材)が写っている。5枚の写真の地域の主食を図5を基に考えよう。
- 図5のA~Eから、写真1~4, 6の撮影地域を選ぼう。
- 世界の主な食べ物がその地域の気候とどのように関わり合っているのか説明しよう。

#### 写真から食文化を読み取る

世界各地で主食となっている食べ物は、その地域の自然環境をよく反映している。例えば、高温・多湿なモンスーンアジアでは米が主食であるのに対して、欧米諸国や西アジアなどでは、稲よりも低温・少雨で生育可能な小麦が主食となっている。一方、タロイモやキャッサバなどのいも類は、アフリカやオ

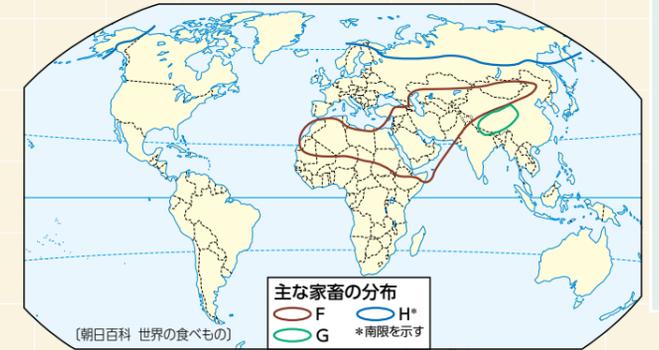
セアニア、ラテンアメリカなどの熱帯地域で、とうもろこしはその周辺にあたる地域で、人々の主食となっている。ユーラシア大陸の中央部などは、乾燥や寒冷のために農耕に向いていないため、遊牧が盛んであり、羊ややぎ・馬などの家畜から得られる肉と乳を主体とした食文化が育まれている。

写真を読み取る際の地理的な視点がわかる。

#### 家畜の写真から自然環境を読み取る

さまざまな家畜のなかでも、遊牧で飼育されている家畜は、農耕ができない地域の厳しい自然環境に適応できる動物でなければならないため、その地域の気候や地形を読み解く手がかりとなる。分厚い毛皮に覆われたヤクは冷涼な高山で、数日に一度の飲み水で生きることができ、らくだは乾燥した砂漠地帯で、人々の暮らしを助けてきた。コケ類などを食料とするトナカイは、極寒の北極周辺で遊牧民によって飼育されている。

TRY 4 写真6~10の家畜が飼育されている地域を図7中のF~Hから選ぼう。



↑7 遊牧で飼育される主な家畜



↑8 荷物を運ぶヤク 【ポイント】背後に険しい雪山がそびえる高山地域を移動している。



↑9 らくだにまたがる遊牧民 【ポイント】草がまばらで、雨が少ない乾燥した地域である。



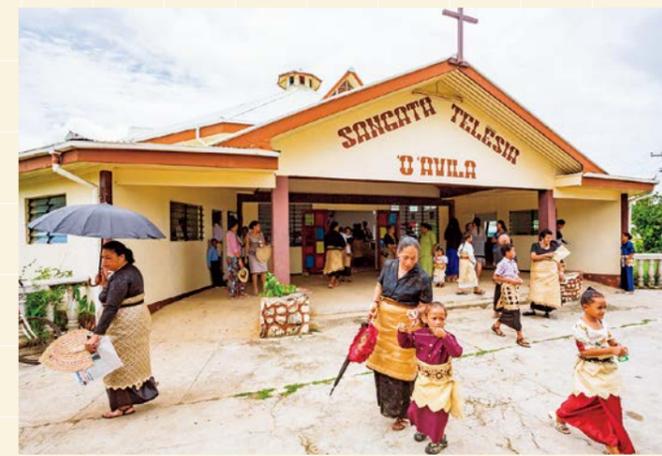
↑10 トナカイを引く男性 【ポイント】厚手の防寒着や帽子を身に付けている。

#### 日常の写真から地域の文化を読み取る

世界各地で撮影された日常の写真には、その地域の文化が読み取れる地理的な情報が映り込んでいることが多い。周辺の自然環境だけでなく、建物の特徴や言語、人々の服装などにも着目すると、地域の宗教や風土などが読み取れる。

#### TRY

- 写真11で、人々の服装に着目し、腰巻き素材や履き物の様子から、この地域の気候の特徴について考えよう。
- 写真12から、この地域の文化の特徴とほかの地域との結びつきについて考えよう。



↑11 教会のある風景(トンガ, 1月) 【ポイント】建物の屋根に付いている十字架から、この建物は教会であることが分かる。この写真は日曜の礼拝を終えて人々が帰る時の様子を撮影したものであり、人々が着用している伝統的な腰巻きは礼拝の際の正装である。



↑12 アメリカ合衆国から進出してきたコーヒー専門店(アラブ首長国連邦) 【ポイント】店の看板は英語とアラビア語で書かれており、白い服装の男性たちが店内で過ごしている。この国は観光客や出稼ぎ労働者が多く、外国資本の企業の進出も盛んである。

## 追究事例 宗教②

### ヒンドゥー教と人々の生活の関わり —インド—

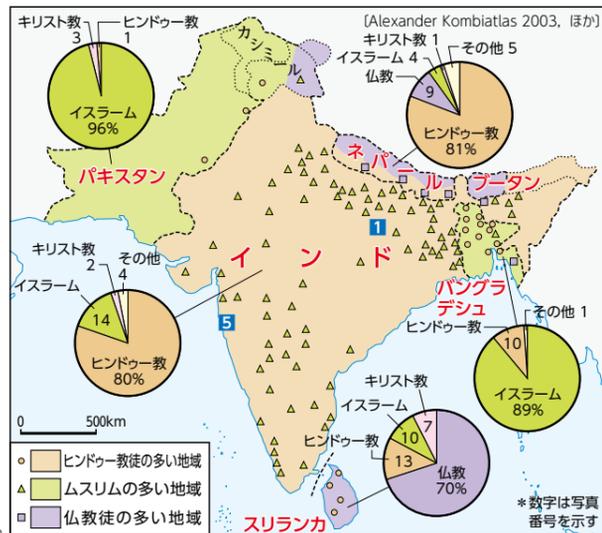
主題 インドには、大勢のヒンドゥー教徒が暮らしている。インドの人々の暮らしに、ヒンドゥー教はどのように関わっているのだろうか。



## 1

### インドの歩みとヒンドゥー教

学習課題 ヒンドゥー教は、人々の職業や社会進出にどのような影響を与えているのだろうか。



↑1 ガンジス川で沐浴するヒンドゥー教徒(インド, ヴァ) → 2 南アジアの宗教分布

読み解き 国表で南アジアの歩みを確認できる。

年	事項
1498	ヴァスコ＝ダ＝ガマが海路でインドに到達。ヨーロッパ人の進出が始まる。
1854	イギリス人によりアッサム地方で茶の栽培が始まる。
1877	イギリスのヴィクトリア女王がインド皇帝を宣言。
1930年代	ガンジーにより独立運動が全国的に広がる。
1947	インド連邦とパキスタンが独立。カシミール帰属をめぐるインド・パキスタン戦争が起こる。
1948	スリランカが独立。
1962	インド・中国国境紛争。
1971	パキスタンからバングラデシュが独立。
1991	インドで新経済政策を導入。経済自由化でICT産業などが急速に発展。

### ↑3 南アジアの歩み

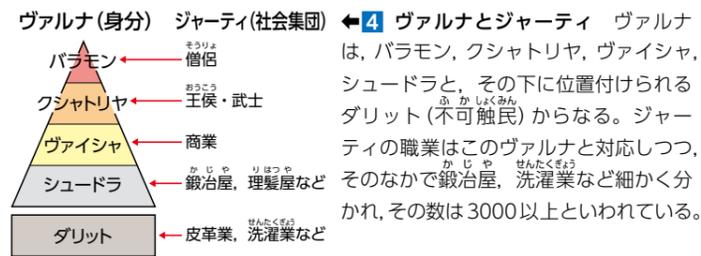
地図帳の活用を促す。



カシミール地方の未確定・係争中の国境を確認しよう。

南アジアの民族と歩み 写真1のように、ガンジス川沿いのヒンドゥー教の聖地ヴァラナシには、大勢の信者が集まり沐浴する。インドはヒンドゥー教徒が人口の8割を占めるが、イスラーム王朝が栄えた時代もあり、北部を中心にムスリムも多い(図2)。また、この地に興った仏教やジャイナ教、シク教を信仰する人々もいる。宗教面で多様なインドは、特定の宗教を国教としていない。一方、隣国のスリランカでは、仏教徒のシンハラ人に対して政府が優遇政策をとってきたことから、ヒンドゥー教徒であるタミル人との間で衝突が繰り返されてきた。

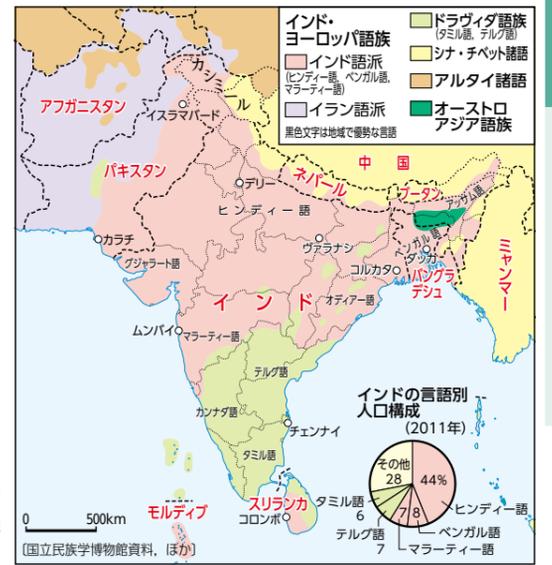
南アジアでは、さまざまな国家の興亡があった。そうしたなかで、ヒンドゥー教を中心としつつも、イスラームやほかの宗教を信仰する人々と共存する社会がつけられてきた。大航海時代以降、南アジアはヨーロッパとの接触が活発になり、19世紀には産業革命を達成したイギリスが、この地域の多くを植民地にした。第二次世界大戦後には、宗教間の対立が原因でヒンドゥー教徒の多い地域がインド、ムスリムの多い地域がパキスタンやバングラデシュに分離・独立した(図3)。また、インドと周辺諸国の間では領有をめぐる問題が生じている。



↑5 洗濯業のジャーティ(インド, ムンバイ) 屋外の洗濯場では、洗濯業のジャーティの人々が、家庭から預かった衣類を洗濯する。

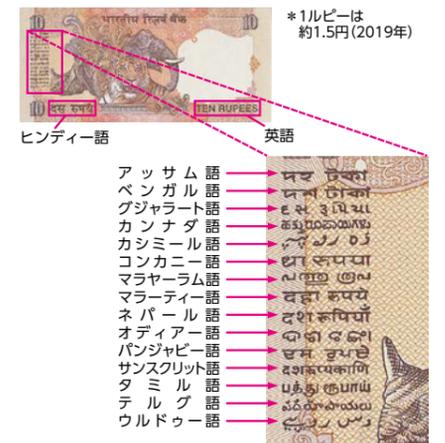
↑6 南アジアの言語分布とインドの言語別人口構成

インドでヒンディー語が話せる人は全人口の4割程度で、実際には英語が共通語として広く使われている。



ヒンドゥー教と人々の生活 インド社会は古代より、ヒンドゥー教の教えに基づくカースト制とよばれる身分制度に規定されている。カースト制ではヴァルナとよばれる身分と、出自で決められるジャーティという社会集団が重視される(図4)。ジャーティごとに、伝統的に同一の職業に就くことで社会の分業が成り立ち(写真5)、結婚もその集団内で行われる。上位カーストは下位カーストとの接触を不浄とみなすなど、カースト制には日常における差別を助長する面があるため、今日、憲法ではカーストによる身分差別を禁止し、職業選択や婚姻の自由も認められている。しかし、就職で必要となる学歴には、親の社会的地位や経済力が求められることが多く、従来のカーストに基づく分業が繰り返されることも多い。そのため、政府により下位カーストの人々を対象に奨学金制度や就職時の優遇政策がとられたり、特定のジャーティと結び付かない新しい産業の職に就いたりすることで、カースト制の意味はようやく弱まってきている。

多様な言語 写真7のように、インドの紙幣はさまざまな言語で表記されている。また、雑誌や新聞もさまざまな言語のものが発行されている。南アジアでは、少数民族の言語や方言を含めると数百から数千の言語が用いられているといわれている。インドでは、最も話す人が多いヒンディー語が連邦公用語に定められているが、州や地方別の公用語も設けられている。また英語が共通語として用いられる。近年では経済活動のグローバル化によって英語の重要性が増していることから、英語教育への関心がより一層高まっている。



↑7 17の言語で金額が示されたインドの10ルピー紙幣

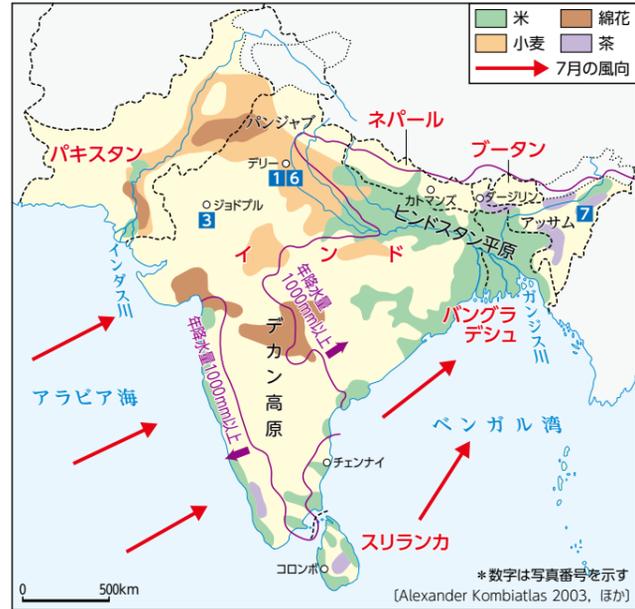
カースト制に規定されてきたインド社会の変化がわかる。

確認 南アジアの国々において、大多数の人に信仰されている宗教を国ごとに説明しよう。

深い学び ヒンドゥー教徒が多いインドでは、カースト制によってどのような問題を抱えているのだろうか。

## 2 宗教や自然環境の影響を受けるインドの食生活

学習課題 ヒンドゥー教や自然環境は、人々の食生活にどのような影響を与えているのだろうか。

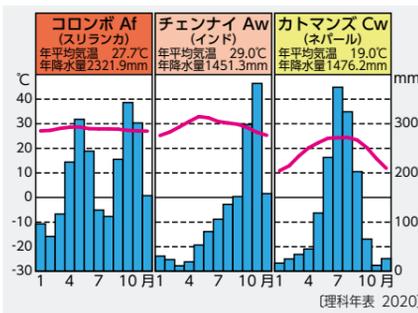


↑1 小麦でつくられたチャパティをカレーにつけて食べる人々 (インド、デリー)

→2 南アジアの農業地域  
読み解き 小麦は、どのような地域で栽培されているのだろうか。



↑3 町なかを自由に歩き回る牛(インド、ジョドプル)



↑4 主な都市の気温と降水量

宗教や農作物からみる食生活  
インドの代表的な料理といえばカレーである。インドの南部では、豆や野菜、ココナツを使ったカレーが、インドの北部では、カシューナッツや豆に生クリームを加えたカレーがよく食べられている。ヒンドゥー教では、左手は不浄とする考えがあるため、写真1のように、食事は右手を使って行われる。また、ヒンドゥー教では、牛はシバ神の乗り物とされ、神聖な動物であると考えられている。このため、ヒンドゥー教徒が牛の肉を食べることは決してなく、牛は人々に大切にされている(写真3)。

また、インドの北部と南部の食事では、自然条件による違いもみられる。例えば、図2のように、ヒンドスタン平原や沿岸部の平野など、季節風(モンスーン)の影響を受け、年降水量が1000mmを超える稲作中心の地域では、米飯や、米と豆をすりつぶして焼いたドーサーなどが主食となる。一方、パンジャブ地方など年降水量が1000mm未満の地域では、小麦の生産が盛んである。そのため、練った小麦粉を焼いたナンやチャパティなど、小麦を用いた主食が多い(写真1)。

巨大な人口を支える農業改革  
約13億の人々が暮らすインドをはじめ、南アジアの国々では食料不足の克服が長年の課題であった。1960年代に、収量が多い穀物品種の導入を中心とした農業の

### 深める 世界有数の牛肉輸出国 インド

インドが牛肉の輸出大国となった背景が詳しくわかる。

インドは牛肉の輸出量が世界第1位である(2017年)。インドの人口の8割はヒンドゥー教徒であり、その人々は牛肉を食べることは決していない。しかし、約1.7億人のムスリムもインドで暮らしている(2011年)。ムスリムは、豚肉を食べてはいけないという宗教上の禁忌(タブー)があるが、牛肉は禁じられていない。また、インドでは生乳の生産が急増しているが、その半分以上が水牛のミルクである。水牛は搾乳できなくなると、食肉用として出荷される。インドで生産された肉牛や水牛の牛肉は、インド国内でも消費されるが、その多くは輸出されるため、牛肉輸出大国になった。



(インド、デリー、2019年) イギリスに輸出するための紅茶を生産する際に出た、粉末状の茶葉を使ったのが始まりである。



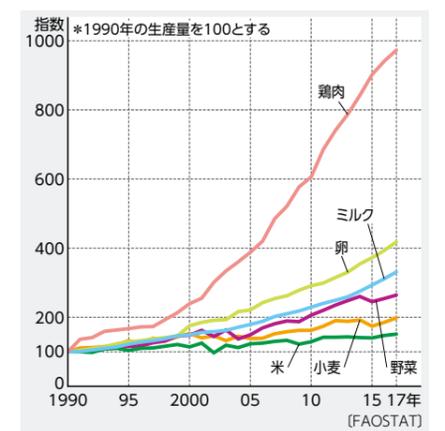
→7 アッサム地方の茶摘み(インド、4月) 読み解き インドでは、どのような場所で茶が栽培されているのだろうか。図2で確認しよう。



技術革新を行ったことで、農業生産が飛躍的に増加した。このことは、緑の革命とよばれている。これらの品種の栽培には、井戸や用水路といった灌漑施設、農薬や化学肥料が必要であったため、その費用を負担できる農民は、政府の買い上げ制度による穀物販売の収入で裕福になった。一方で、零細な農民や土地をもたない農民には恩恵が少なかった。その結果、経済格差が拡大したほか、地下水の過剰な汲み上げ、農薬や化学肥料の過剰な利用などによる環境の悪化が懸念されている。

畜産の発達と食生活の変化  
ヒンドゥー教には、肉を食べない菜食主義者(ベジタリアン)が多いので、たんぱく質をとるためにヨーグルトやミルクなどが多く飲まれてきた。沸かしたミルクに紅茶を混ぜて砂糖をたっぷり入れたチャイは、インドの国民的な飲み物であり、街角でもよく売られている(写真6)。チャイを飲むのは、かつての宗主国であるイギリスに紅茶を輸出していたころからで、その茶葉は降水量の多いアッサム地方やダージリンなどで生産されている(写真7)。

1990年代になると、急速な経済発展によって食生活も変化した。雑穀に代わり、米や小麦の消費が伸びたほか、生乳や乳製品への需要が高まった。畜産においては乳牛の品種改良や酪農協同組合が設立されたことによって、ミルクの生産量が増加した(図8)。このことは、ミルクの色にたとえられて白い革命とよばれる。また、宗教的な禁忌(タブー)の少ない鶏肉の生産が急増しており、このことはピンク革命とよばれる。



↑8 インドにおける主な農産物の生産量の推移

①ピンク革命 経済成長などを背景として、食肉の生産量や消費量が顕著に増加すること。肉の色にたとえられて、このようによばれる。

確認 インドの食生活には、ヒンドゥー教や自然環境によって、どのような特徴がみられるのだろうか。

深い学び インドの食生活は、農業や経済の発展によって、どのように変化してきたのだろうか。

白い革命の背景までわかる。

## 3

### 変化するヒンドゥー教徒の生活

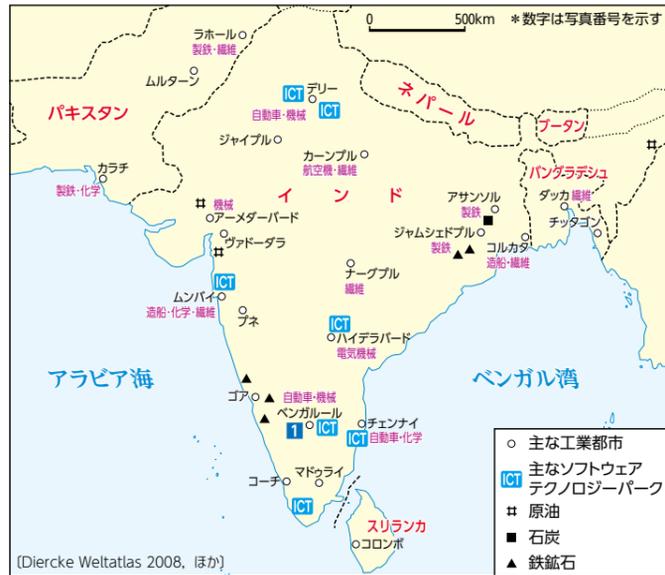
**学習課題** 経済成長により、ヒンドゥー教の影響を受けた生活は、どのように変化しているのだろうか。



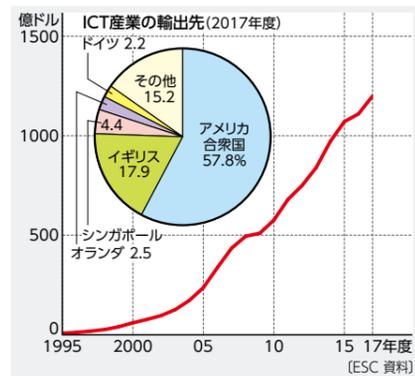
↑1 ソフトウェア開発会社(インド, ベンガルール, 2015年)

#### 南アジアの鉱工業

**読み解き** ソフトウェア テクノロジーパークがインドの各地に分布していることを確認しよう。

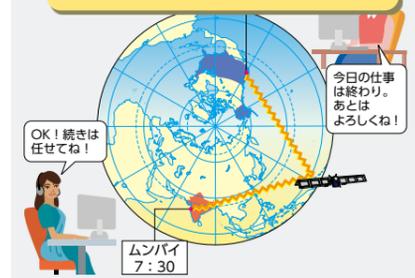


[Diercke Weltatlas 2008, ほか]



↑3 インドのICT産業の輸出額の変化と輸出先

インドでICT産業が成長した背景がわかる。



↑4 時差を利用したインドとアメリカ合衆国との仕事のやり取り

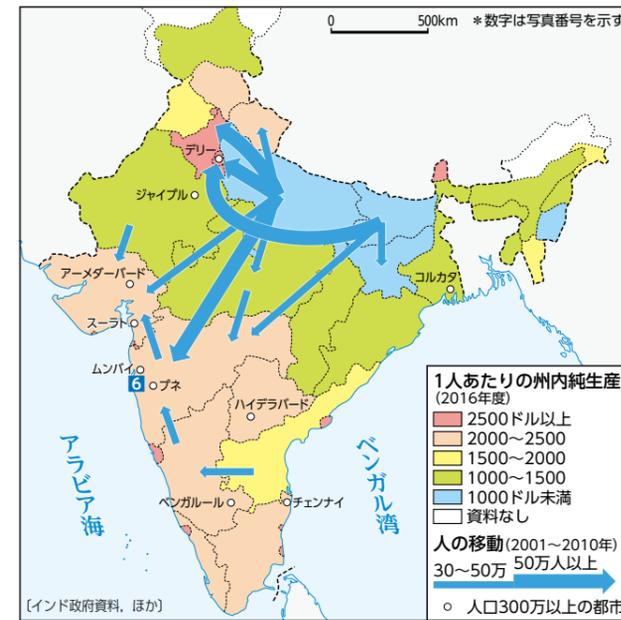
#### ICT産業の発展

インドでは1950年に憲法でカースト制が禁止されたが、職業の選択においては、いまだにカースト制の影響が大きい。しかし、写真1のような情報通信技術(ICT)産業は、カースト制が廃止されたあとにできた産業であることから、その影響は受けにくい。そのため、インドではICT産業が急速に成長し、経済発展を支える産業になった(図3)。ICT産業が発展した背景には、このことに加え、イギリスの植民地だったことから英語に堪能な人材が多いこと、数学やコンピュータ技術などの教育に力を入れてきたこと、アメリカ合衆国との時差を生かして、コールセンター業務やデータ処理業務などを引き継ぐこと(図4)などもある。

ICT産業の成長に伴い、ベンガルール(バンガロール)やデリーなどの多くの都市には、これらの関連企業が立地するソフトウェアテクノロジーパークが整備された(図2)。また、技術者を育成する高等教育機関も増え、高い技術をもった人材が世界各地で活躍するようになった。

#### 成長するインドの工業

インドの工業化は、巨大な人口を抱える国内市場への販売とともに、海外への好調な輸出も背景にある。インドはイギリスからの独立後、高い関税を課したり、手続きを厳格化したりすることで外国企業の活動を制限し、国内企業によって国内市場向け生産を行う輸入代替型の工業化を進めた。その結果、1970年



[インド政府資料, ほか]

#### 深める 世界で活躍するインド系移民

インドは世界各地に多くの移民を送り出してきた。インド系移民は、19世紀に奴隷制が廃止されたのち、労働力が不足したカリブ海諸国や南アフリカ、東南アジア、オセアニアなどのイギリス植民地を中心に、プランテーションや都市建設の労働力となった。第二次世界大戦後は、旧宗主国であるイギリスや、英語力の高さを生かせるアメリカ合衆国やカナダへも渡っている。1970年代以降、西アジアへの出稼ぎ労働者も増加したが、この地域の政情不安により外貨獲得が困難になった。このことがインドでの市場開放の要因の一つとなった。近年は、高い教育を受けた人材がその技術を海外で生かす例も目立ち(→p.130)、日本でもインド系のICT技術者が活躍している。

↑5 インドの1人あたりの州内純生産額と人口移動 **読み解き** 州内純生産額が高い地域は、どのあたりに分布しているのだろうか。

ごろには鉄鋼、自動車、衣類など、さまざまな製品の国内生産を実現した。しかし、外国資本を排除したことで技術革新は遅れ、インドの製品は国際競争力を失っていった。そのため、インド政府は1980年代から徐々に世界市場への開放を図り、1991年に外国資本への規制をほぼ撤廃した。これにより自動車や電気・電子部品などの部門に外国企業が参入してきた。その結果、インドは2000年代以降、BRICSとよばれる経済成長国になった。

#### 経済成長による生活の変化

ICT産業の成長や外資の積極的な導入は、ヒンドゥー教の伝統や慣習に基づいた人々の生活に変化をもたらしている。例えば、牛肉などを使用する外資系のファストフード店は、牛を神聖な動物とするヒンドゥー教徒や菜食主義の人々にも配慮した独自のメニューを開発することで店舗を拡大し、インドの食文化に変化をもたらした。また、ICT産業の職に就き、高い所得を得る中間層のなかには、欧米の生活様式を取り入れて、Tシャツやジーンズでショッピングや外食を楽しむ人もいる(写真6)。

経済成長の著しい都市では、高層ビルが建ち並び、現在も建設ラッシュが続いている。一方で、都市の鉄道や河川沿いにはスラムが拡大している。この背景には、経済成長に伴う経済格差の拡大があり、経済成長から取り残された農村部などでは、多くの貧困層を抱えている(図5)。そのため、農村部から都市部に出稼ぎに行く人々が増加し、スラムでの生活を余儀なくされている人々もいる。

**BRICS** 経済成長が著しいブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ共和国の5か国のこと。英語表記での各国名の頭文字をとってBRICSとよばれる。



↑6 カフェでくつろぐ人々(インド, ムンバイ)

**スラム** 主に大都市にみられる、失業者や低所得者層が密集して居住している地区のこと。一般に犯罪率が高く、衛生状態もよくない。

**確認** ICT産業の成長や外国の食文化の広まりが、ヒンドゥー教徒の生活に与えた影響を説明しよう。

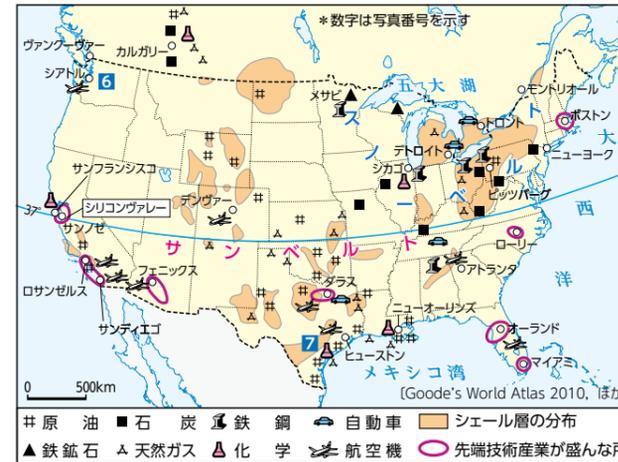
まとめの問いで、学習を振り返ることができる。

#### まとめ

インドの人々の生活は、宗教とどのように結び付いているのだろうか。



↑6 航空機の組み立て工場(ワシントン州, シアトル近郊) アメリカ合衆国の航空宇宙産業の生産額は、世界最大である(2016年)。



↑5 アメリカ合衆国の主な鉱工業 読み解き 先端技術産業が盛んな所は、どのような地域に集まっているのだろうか。

## 追究事例 産業①

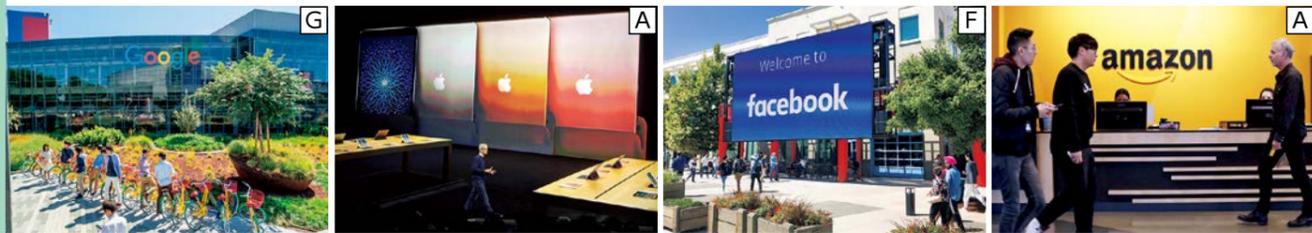
### 産業力が世界の生活文化に与える影響 —アメリカ合衆国—

主題 アメリカ合衆国では、世界標準の工業製品が生み出されたり、世界の食を支える農産物が生産されたりしている。この国の産業は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。

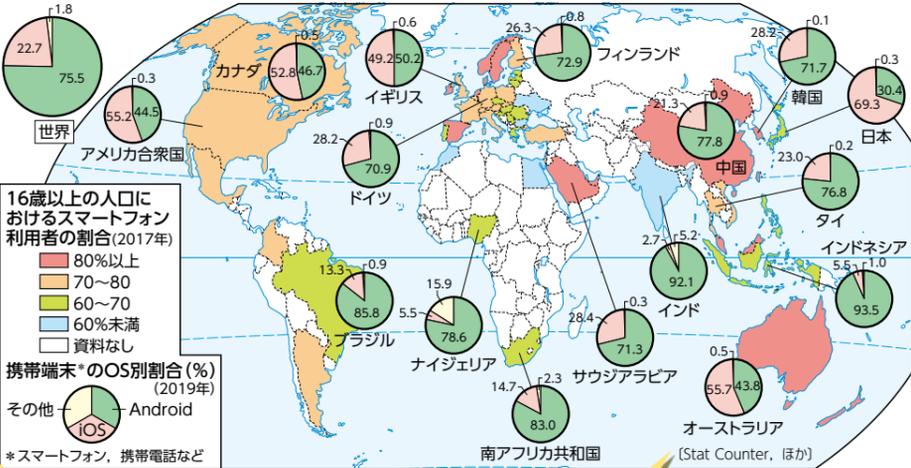
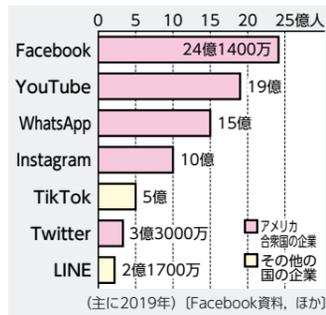


## 1 世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源

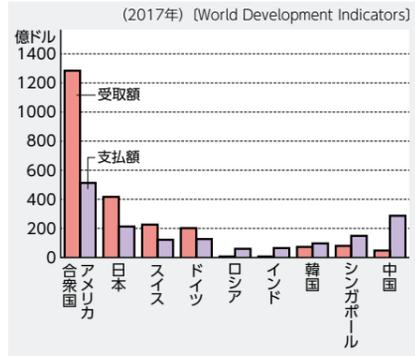
学習課題 アメリカ合衆国の知識産業や鉱工業は、世界にどのような影響を与えているのだろうか。



↑1 アメリカ合衆国に本社を置く世界的なICT企業 写真の4社は、世界の人々の生活に絶大な影響力をもつ企業として、企業名の頭文字をとってGAF(A)とよばれている。



↑2 世界の主なソーシャル ネットワーキング サービス(SNS)の利用者数 地図やグラフから、アメリカ合衆国の経済力がわかる。



↑4 主な国の知的財産使用料 読み解き 受取額と支払額の差に着目して、各国を比較しよう。

世界標準を生み出す ICT 産業 私たちは、パソコンやスマートフォンを使って、インターネットによる情報の検索や商品の購入、ソーシャル ネットワーキング サービス(SNS)の利用など、アメリカ合衆国で開発された情報通信技術 (ICT) を日常的に利用している(写真1, 図2)。また、携帯端末の基本ソフトウェア(OS)のほとんどは、アメリカ合衆国で開発されたものである(図3)。このようにアメリカ合衆国では、研究開発によって生み出された新たな知識や技術を商品として販売したり、蓄積した知識の組み合わせにより新分野を開拓したりする知識産業が発達してきた。そして、ICT 産業などの分野で特許登録された知識や技術は、知的財産使用料という形で国際的に取り引きされ(図4)、その収入はアメリカ合衆国の経済をけん引している。

産業構造の変化と サンベルトの台頭 20世紀前半までのアメリカ合衆国は、石炭や鉄鉱石などの豊富な鉱産資源と水運を生かした重工業が盛んで、その中心は五大湖沿岸から大西洋沿岸にかけての北東部であった。特にピッツバーグでは鉄鋼業が、デトロイトでは大量生産方式による自動車産業が発展した。しかし、第二次世界大戦後は日本やヨーロッパの工業の発展に伴い、鉄鋼業や自動車産業が激しい国際競争にさらされた結果、この地域は工場の閉鎖が相次いで失業者が増加し、スノーベルト(フロストベルト)とよばれるようになった。

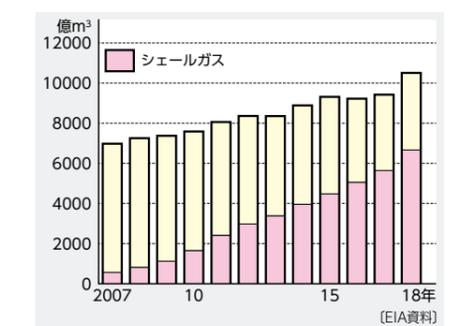
北東部の伝統的な工業地域で経済が衰退したのに対して、1970年代以降は北緯37度以南のサンベルトとよばれる地域に新しい工業地域が形成された。サンベルトでは、温暖な気候や安価な土地・労働力などを背景に、航空宇宙産業やICT産業などの先端技術産業が発達した(図5)。特にカリフォルニア州のシリコンヴァレーには、名門大学を研究開発の拠点として、多くのICT企業が集中している。

世界を揺るがした シェール革命 アメリカ合衆国では、採掘が難しかった頁岩(シェール)層からの天然ガスや原油の採掘が可能になったことにより、2000年代後半以降、特にシェールガスの開発が急速に進んだ(写真7)。その結果、天然ガスの国内生産量が増加し(図8)、西アジアやアフリカの産油国へのエネルギー依存率は低下した。また、供給過多による天然ガスの国際価格の下落は、世界のエネルギー需給に多大な影響を与え、シェール革命として注目された。一方で、化学物質を含んだ高圧の水で地下の岩盤を破壊する採掘方法は、地盤沈下や地下水の汚染などを引き起こす可能性が指摘されている。

アメリカ合衆国の工業が発達した歴史的背景がわかる。



↑7 シェールガスの採掘施設(テキサス州, オースティン)



↑8 アメリカ合衆国における天然ガスの生産量の推移

①シェールガス 地下の頁岩(シェール)という地層の隙間から採掘される天然ガスのこと。

確認 私たちが日常的に利用している情報通信技術 (ICT) のうち、アメリカ合衆国で開発されたものを挙げよう。

深い学び アメリカ合衆国の鉱工業は、特にどのような分野で、世界に大きな影響を与えているのだろうか。

## 2

### 世界の食卓に影響を与える農業

**学習課題** アメリカ合衆国の農業は、世界の人々の食生活や農業にどのような影響を与えているのだろうか。

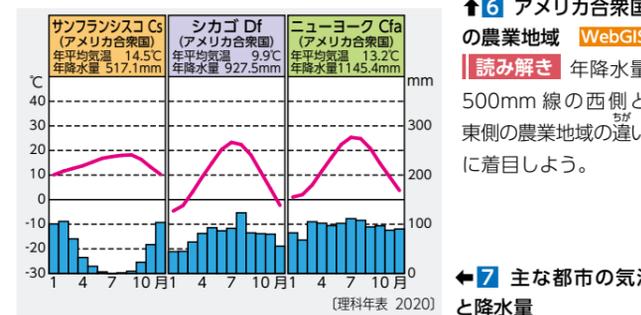
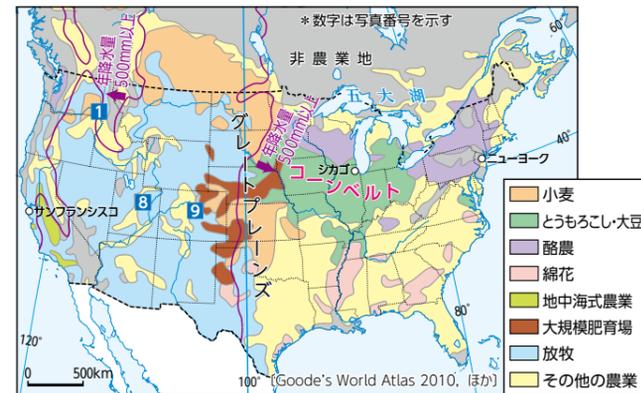


↑1 広大な小麦畑での大型機械を用いた収穫作業(ワシントン州、プルマン近郊、8月) 農地が非常に広いので、GPSで位置を確認しながら収穫作業が進められる。



↑2 中国で販売されるカーギル社の食用油(2018年) 世界中でアメリカ合衆国の商品が販売されている。

↑3 穀物メジャーの一つ、カーギル社が進出している国・地域 **読み解き** 世界各地に進出している点に着目しよう。



↑8 センターピボット方式による大規模な灌漑(ユタ州) 地下水をくみ上げて回転するアームから散水するため、円形の農地になる。



↑9 フィードロットでの肉牛の肥育(コロラド州、2019年)

綿花	776万t	41.9%
大豆	1億5184万t	36.5
とうもろこし	1億6125万t	32.9
豚肉	1177万t	14.7
小麦	1億9679万t	13.9
牛肉	935万t	9.8

(2017年) (FAOSTAT)

↑4 主な農産物の総輸出量に占めるアメリカ合衆国の割合

	アメリカ合衆国	日本
1人あたりの耕地面積	60.5ha	1.7ha
1人あたりの穀物収量	185.9t	4.8t

\*農林水産省発表

↑5 アメリカ合衆国と日本の農業の比較

世界の穀物市場を動かす穀物メジャー ビジネス(農業関連産業)が盛んである。アグリビジネスを行う企業は、農産物の生産や流通、種子や農薬・化学肥料・農業機械の開発など、多岐にわたる事業を展開している。なかでも穀物メジャーとよばれる巨大な穀物商社は、多くの国や地域に拠点を置いて、穀物の生産、小麦粉・食用油などへの加工、製品の流通と販売に関わり、世界の穀物の需給に大きな影響力をもっている(写真2, 図3)。

アメリカ合衆国は、世界有数の農産物の生産国であり、輸出国でもある。小麦や大豆などの穀物をはじめ、牛肉や豚肉などがこの国で大量に生産・輸出され、世界の人々の食卓を支えている(図4)。写真1のように、アメリカ合衆国の農業の特徴は規模の大きさにある。この国の農業従事者は労働人口のわずか数%であるが、穀物の生産では大型農業機械やリモートセンシングの技術などを用い、農薬や化学肥料、遺伝子組み換え作物などを多用する生産方式によって、労働生産性の高い農業が営まれている(図5)。食肉の生産においても、フィードロットとよばれる肥育場

で、とうもろこしなどを飼料として肉牛が大規模に飼育されている(写真9)。日本はアメリカ産牛肉の最大の輸出先である(写真10)。

#### 適地適作の農業と大規模農業の課題

アメリカ合衆国では、自然環境に適した農産物を生産する適地適作の農業が発達してきた(図6)。農業地域は西経100度付近を境に、降水量の少ない西側での放牧や灌漑農業、降水量が多く湿潤な東側での畑作農業に大別できる。かつて大陸氷河に覆われていたために、土壌がやせている五大湖周辺では、酪農が行われている。その南の比較的湿潤な地域はコーンベルトとよばれ、とうもろこしや大豆などの飼料作物と家畜の飼育を組み合わせた混合農業が盛んである。グレートプレーンズでは、1960年代から豊富な地下水を利用したセンターピボット方式の灌漑による飼料作物の栽培が盛んになり(写真8)、コーンベルトに代わって肉牛の一大産地となった。西海岸のカリフォルニア州では、温暖な地中海性気候の特性を利用してかんきつ類やぶどう、野菜の生産が盛んである。

アメリカ合衆国では、省力化を求めて、大型機械を使用し、少ない種類の作物を繰り返し耕作する農業が広く行われるようになった結果、各地で土壌侵食や農地の荒廃などの問題が生じるようになった。大規模な灌漑農業で地下水を過度に使用することによる地下水位の低下も懸念されており、農地や土壌、農業用水の適切な管理が求められている。



↑10 日本のスーパーマーケットで売られるアメリカ産牛肉(東京都、江東区)

①遺伝子組み換え作物 遺伝子を人工的に操作することによって、新しい特性が与えられた作物のこと。省力化やコスト削減のため、除草剤や病虫害に強くなるように開発されている。

②グレートプレーンズ ロッキー山脈の東に南北に広がる台地状の大平原のこと。東に向かって緩やかに低くなっている。

**確認** アメリカ合衆国で行われている適地適作の農業について、「降水量」と「西経100度」の語句を用いて説明しよう。

**深い学び** 大規模な農業経営には、どのような利点や課題があるのだろうか。

日本の農業との比較によって農業規模の理解が深まる。

適地適作 コーンベルト グレートプレーンズ

大規模農業の課題までわかる。

## 3

### 産業の発展を支えてきた移民の力

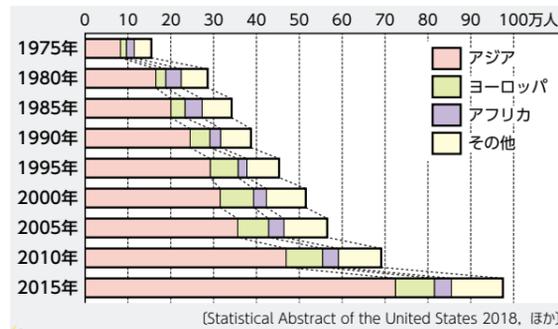
**学習課題** アメリカ合衆国の産業力は、どのような社会的背景のもとで育まれてきたのだろうか。



↑1 シリコンヴァレーにあるICT企業の様子(カリフォルニア州、サンノゼ近郊、2018年)



↑2 シリコンヴァレーの住民構成 **読み解き** シリコンヴァレーでは、どのような地域の出身者が多いのだろうか。

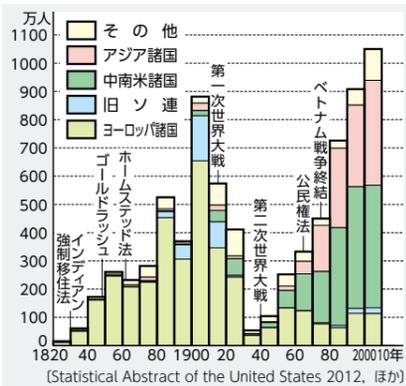


↑3 アメリカ合衆国への留学生数とその出身地の推移 **読み解き** どのような地域からの留学生が多いのだろうか。

アメリカ合衆国の産業力が、多様な民族に支えられていることがわかる。



シリコンヴァレーの場所やそこに位置する都市を確認しよう。

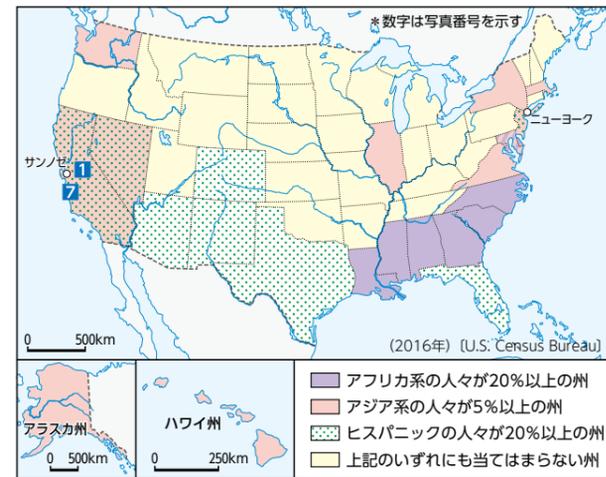


↑4 アメリカ合衆国の出身地別移民数の変化 **読み解き** 時代によって、移民の出身地の中心が移り変わっていることに着目しよう。

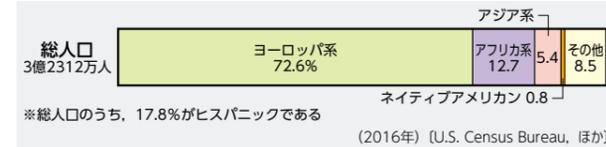
① **ワズプ(WASP)** アメリカ合衆国に暮らす白人(White)、アングロサクソン系(Anglo-Saxon)、プロテスタント(Protestant)の人々のこと。

**世界の人材** 世界標準となる情報技術を次々と開発し続けるシリコンヴァレーのICT企業でも、インド人や中国人などのアジア系技術者をはじめとして、世界中から集まった優秀な人材が、その発展を支えている(写真1, 図2)。また、アメリカ合衆国は、世界で最も留学生の多い国でもあり、特にアジアからの留学生が増加し続けている(図3)。英語を身に付けることができ、政府や企業からの多額の研究費をもつ大学が多いことなどが、留学先として人気の理由となっている。

**移民国家としての発展** アメリカ合衆国は、先住民(ネイティブアメリカン)と移民によって形成されてきた(図4)。17世紀に入ると、イギリスなどヨーロッパの人々が大西洋岸に入植し、西に領土を拡大していった。建国当時からアメリカ合衆国の政治・経済・文化の発展をけん引したのは、ワズプ(WASP)であった。未開の地を切り開く開拓者精神(フロンティアスピリット)は、アメリカ合衆国建国の原動力となり、やがて努力によって成功をつかむことができるというアメリカンドリーム(アメリカン・ドリーム)の概念が生まれた。それは今でも世界中から多くの移民をひきつける魅力の一つとなっており、経済的な豊かさ(アメリカン・ドリーム)と仕事を求めて、



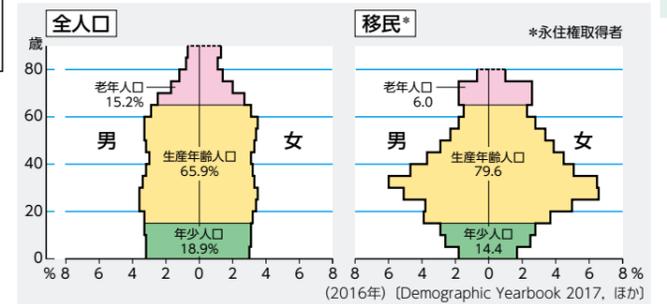
↑6 アメリカ合衆国の人種・民族構成 ヒスパニックは、さまざまな人種・民族の人々で構成されている。



↑7 レタスを収穫するヒスパニック(カリフォルニア州、サリナス、2019年)



↑7 レタスを収穫するヒスパニック(カリフォルニア州、サリナス、2019年)



多くの移民が流入し、年間110万を超える人々が永住権を取得している。移民の多くは、働き盛りの若い年齢層であるため、アメリカ合衆国は、先進国のなかでも高齢化の進み方が緩やかになっている(図8)。

今日、アメリカ合衆国は3億以上の人口を抱える大国となり、多民族国家を形成している(図6)。移民の多くが母国の文化を維持しつつ、互いに尊重しながら生活していることから、アメリカ合衆国の多民族社会はサラダボウルにたとえられる。例えば、メキシコ国境沿いやフロリダ州などに多いヒスパニックは、スペイン語を話したり、スペイン語の新聞やテレビ放送を利用したりするなど、母国の文化や価値観を守っている。また、農作業や建設業、サービス業といった低賃金の労働の多くをヒスパニックが担い、地域の経済を支えている(写真7)。

**多民族国家で生まれた文化** 移民が持ち込んだ多様な文化は、アメリカ合衆国の社会に活力を与え、世界中で受け入れられる文化を生み出す基盤となってきた。例えば、アイルランド移民が持ち込んだハロウィンは、アメリカ合衆国の年中行事として根つき、日本でも行われるようになってきている。また、ハンバーガーなどのファストフードやジーンズなどの服装、ハリウッド映画やテーマパークなども、世界中に浸透するアメリカ合衆国生まれの生活文化となってきた(写真9)。

② **ヒスパニック** スペイン語圏からアメリカ合衆国へ移住した人々のこと。メキシコ・キューバ・プエルトリコなどの出身者が多い。



多民族国家であることの利点に目を向けることができる。

**確認** アメリカ合衆国におけるヒスパニックの職業には、どのような特徴があるのだろうか。

**深い学び** アメリカ合衆国に流入し続ける移民は、この国の人口や社会にどのような影響を与えているのだろうか。

**まとめ** アメリカ合衆国の産業は、世界の人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。

## 4節 人口問題

節の主題

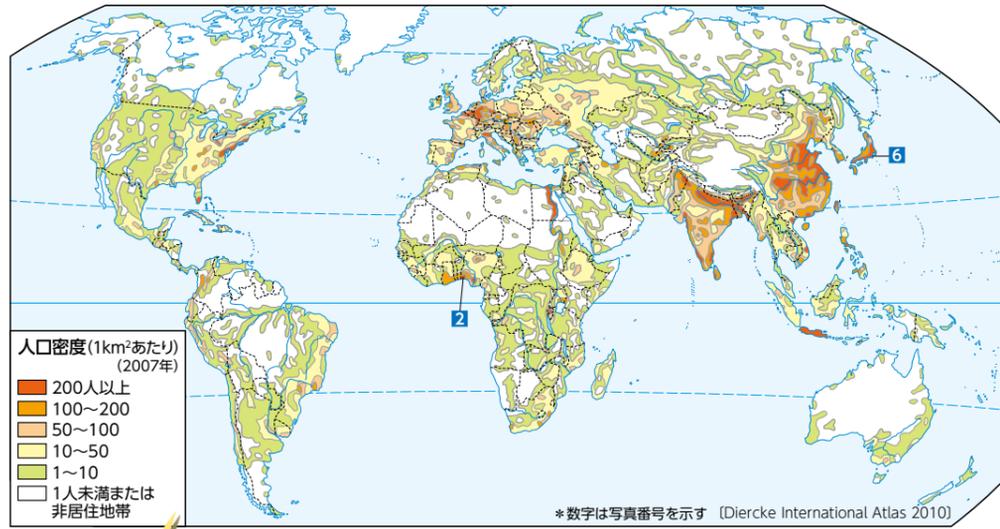
世界の人口分布には偏りがあり、人口増加の傾向や人口構成も、国や地域によって異なっている。世界には、国や地域によってどのような人口問題があり、どのような対策が行われているのだろうか。

### 1 世界の人口

**学習課題** 世界の人口分布や人口増加には、どのような傾向がみられるのだろうか。

#### →1 世界の人口密度

**読み解き** 人口密度が高い地域には、どのような特徴があるのだろうか。また、人間の居住がほとんどみられない地域は、どのような自然環境の場所だろうか。p.65 図3と比較して考えよう。



大きな地図と**読み解き**で、世界の人口分布の特徴がわかる。



**↑2 人や車であふれる通り**(ナイジェリア, ラゴス, 2017年) ナイジェリアはアフリカで最も人口が多い国であり、2015~2020年の人口増加率は2.6%で、近い将来に世界一の人口を抱えると予測されるインド(1.0%)と比較しても、高い人口増加率となっている。

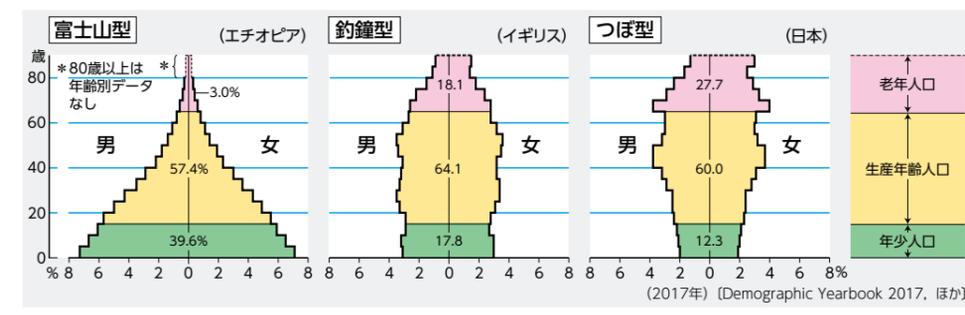
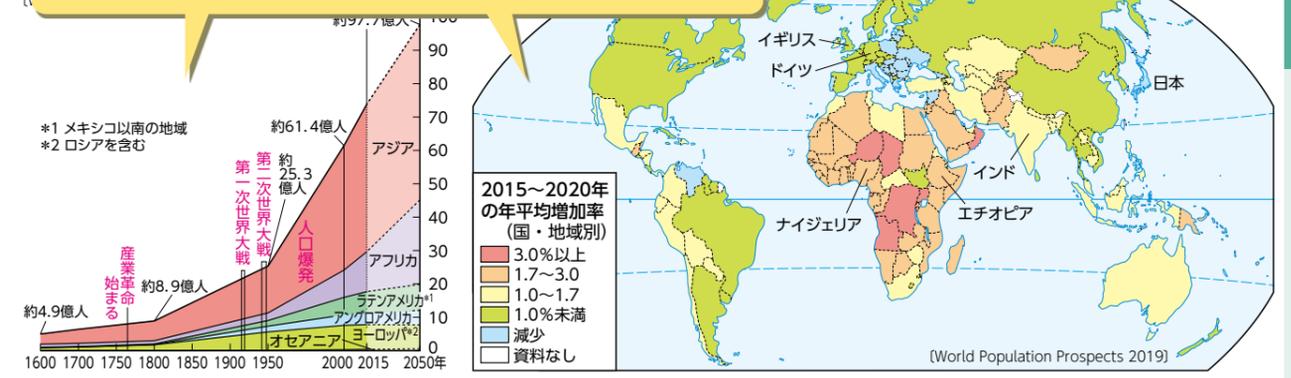
#### 世界の人口分布

人間が常に居住する地域のことを**エクメーネ**といい、地球上には70億を超える人々が生活している。人口密度が高いのは、モンスーンアジアや地中海沿岸、西ヨーロッパ、北アメリカ東部などである(図1)。モンスーンアジアでは多くの人口を養うことのできる稲作農業が古くから盛んであり、地中海沿岸では早くから都市文明が栄え、西ヨーロッパや北アメリカ東部では産業革命が契機となって経済が著しく発展した。他方、乾燥地域や高山地域、極地は人口密度が低く、人間が居住しない地域である**アネクメーネ**も存在する。

#### 世界の人口増加

世界の人口は、17世紀ごろまではゆっくりと増加してきた。18世紀になると人口の増加が少しずつ急になり、20世紀の後半にはアジアやアフリカ、ラテンアメリカで**人口爆発**とよばれるほどの急激な人口増加が起こった(図3)。21世紀に入ると、人口増加の勢いはやや弱まったものの、今世紀後半に世界の人口は100億を超えると推計されている。世界の人口増加率には地域差があり、先進国では総じて低く、なかには日本や東ヨーロッパのように減少している国もある。一方、発展途上国では総じて高い人口増加率となっている(図4)。

複数の資料から、世界の人口増加の特徴を考察できる。



#### 人口ピラミッドからみる特徴

図5のように、ある国や地域の人口を男女・年齢別にグラフで表したものが**人口ピラミッド**である。人口ピラミッドにはいくつかの典型的な型がある。エチオピアのような発展途上国では、出生率も死亡率も高いため、年齢が若いほど人口が多くなる**富士山型**の人口ピラミッドになる。一方、イギリスのような先進国では、高齢者を除いて年齢による人口の差があまりみられない**釣鐘型**の人口ピラミッドになる。この型は、出生率と死亡率が低く、両者がおおむね釣り合っている場合にみられる。先進国のなかには、日本やドイツのように、高齢者を除いて年齢が若いほど人口が少なくなる**つぼ型**の人口ピラミッドになる場合もある。この型は、出生率と死亡率が低く、なおかつ出生率が死亡率よりも低い場合にみられる。

経済成長に伴って栄養状態や衛生状態が改善され、医療が普及すると、各国の人口には、死亡率が下がり、やがて出生率も下がっていく傾向がみられる(**人口転換**)。その過程で、出生率よりも死亡率が低い状態が続く時期には人口増加率が高くなりやすい。また、人口転換に伴って人口ピラミッドの形状は富士山型から釣鐘型やつぼ型へとしだいに変わっていき、その過程で人口に占める高齢者の割合が高くなる**高齢化**が進む(写真6)。高齢者の割合は、人口ピラミッドがつぼ型の国で高くなりやすい。



**↑6 老人ホームで介護支援ロボットを相手にゲームをする高齢者たち**(神奈川県, 横浜市)

**①人口転換** 人口変動の在り方が、多産多死から多産少死の時代を経て、少産少死へと変化する。

**確認** 20世紀後半に急激な人口増加が起こった地域を挙げよう。

**深い学び** 発展途上国と先進国では、典型的な人口ピラミッドの型にどのような違いがみられるのか説明しよう。

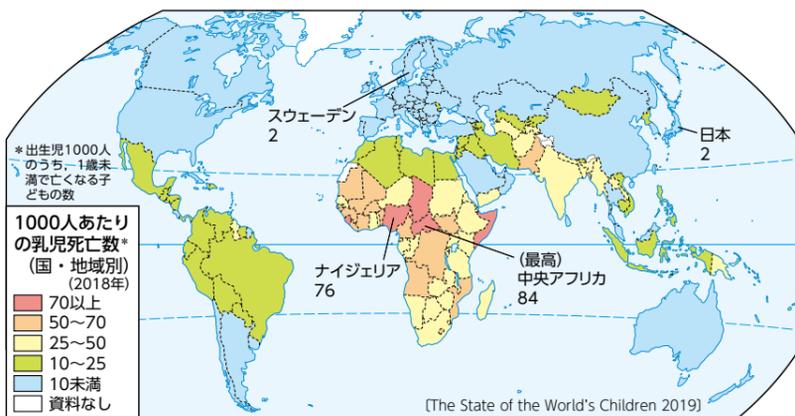
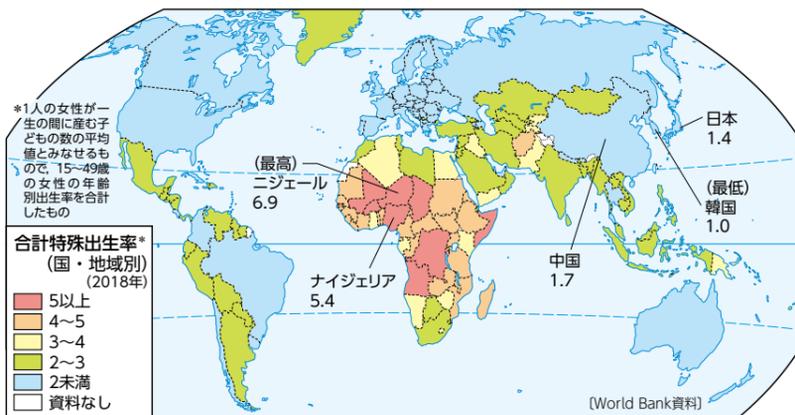
## 2

### 発展途上国と先進国の人口問題

学習課題 発展途上国と先進国の人口問題には、どのような違いがあるのだろうか。

#### 1 世界の合計特殊出生率

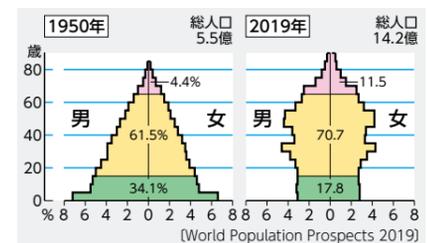
読み解き 合計特殊出生率には、発展途上国と先進国でどのような違いがみられるのだろうか。



2 家族計画の普及活動 (ナイジェリア, カノ) 女性たちがボランティアから子どもを産む間隔を空けることの重要性を教わっている。

#### 3 世界の乳児死亡率

読み解き 乳児死亡率が高い地域にはどのような特徴があるのか、図1と比較して考えよう。



側注解説で本文の用語の意味を確認できる。

1 家族計画 家族の生活の安定などのために、出産する子どもの数や時期を計画的に調整すること。発展途上国では、政府が政策的に家族計画を奨励している例もある。

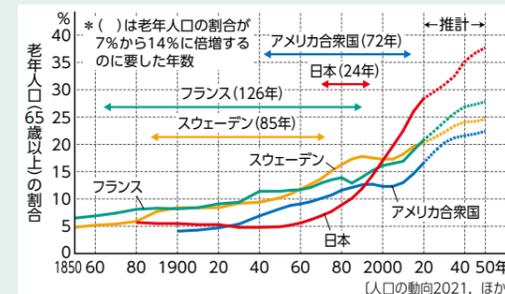
2 一人っ子政策 1組の夫婦の子どもを一人に制限する中国の人口政策のこと。1979年に始められたが、この政策は見直され、現在は3人まで子どもをもつことが認められるようになった。

#### 発展途上国の人口問題

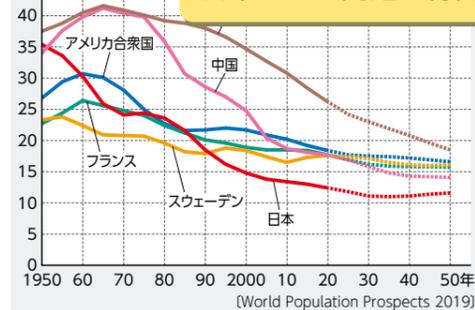
発展途上国の死亡率は、感染症の流行や紛争などのため先進国より高いが、衛生状態の改善や医療の普及によって低下してきた。他方、多くの子どもをもつことを望ましいとする考え方が根強く、妊娠・出産に関する情報が十分でないなど、発展途上国の出生率は先進国より高い(図1)。このため、発展途上国では出生率と死亡率の差が大きく、人口増加率が高い。その結果、経済の発展に人口増加に追いつかず、食料や就労機会の不足などが生じている。また、農村から都市に向かう国内人口移動も増え、急激な都市化の一因になっている。多くの発展途上国では、高い人口増加率をもたらす出生率を下げるために**家族計画**が奨励されてきた(写真2)。しかし、家族計画がうまく普及せず出生率がなかなか下がらない国や、中国の**一人っ子政策**のように政府主導の取り組みが功を奏したものの出生率が下がり過ぎ、人口ピラミッドが**つば型**に変化している国もある(図4)。

#### 世界の日本の人口問題

日本は世界で最も高齢化の進んだ国である。日本の高齢化は1970年代から進み始め、老年人口の割合は、わずか24年で7%から14%に倍増した。このような急速な高齢化は出生率の低迷と関連しているため、政府は高齢化や少子化への対応を本格化させていった。例えば、介護保険制度によって社会で介護を支えるしくみをつくり、育児休業の取得推奨や保育所定員枠の増大などにより、社会で子育てを支える環境の整備を進めている。しかし、より少ない労働力で多くの高齢者や子どもを支えなければならないため、制度の整備や運用には課題も多い。



#### 日本の人口問題の特徴がわかる。



先進国では、高齢化と合わせて少子化が進行していることを、図5と比較しながら確認しよう。

#### 先進国の人口問題

先進国では、出生率の低下と平均寿命の伸びによって、**少子化・高齢化**が進んでいる(図5・6)。高齢化が進むと高齢者に比べて若年者が少ない状態になるため、これまでのように若年者が高齢者を支えるという社会のしくみを維持することが難しくなる。また、高齢者の生活を支えるための介護や医療の施設を増やしたり(写真7)、既存の施設のバリアフリー化を進めたりする必要もある。さらに若年者が減ることで、産業を支えてきた労働力も不足するようになるため、先進国では労働力としての**移民**の受け入れが進んでおり、文化的な背景が異なる人々との共存という別の課題に直面している。

#### 人口移動と移民

人々はしばしば居住地を変える。そのような人々の動きが人口移動であり、国内に限られる国内人口移動と国境をまたぐ国際人口移動がある。このうち**国際人口移動**は、通信や移動の手段が発達し、世界中にそれらのネットワークが張りめぐらされることで活発になっている。国際人口移動によって、生まれた国とは別の国に住む**移民**は、その多くが仕事を求めて移動した人々とその家族である。このため国際人口移動は、主に先進国や産油国などの就労機会が多い国々へ向かう流れとなる。また移民のなかには、**紛争**や**人権侵害**といった事情で生まれた国を離れ、**難民**として暮らす人々もいる(写真8)。



↑8 難民キャンプの学校で授業を受けるロヒンギャ難民の子どもたち(バングラデシュ, 2022年)

地図帳 世界の国別統計で人口の多い国を調べよう。

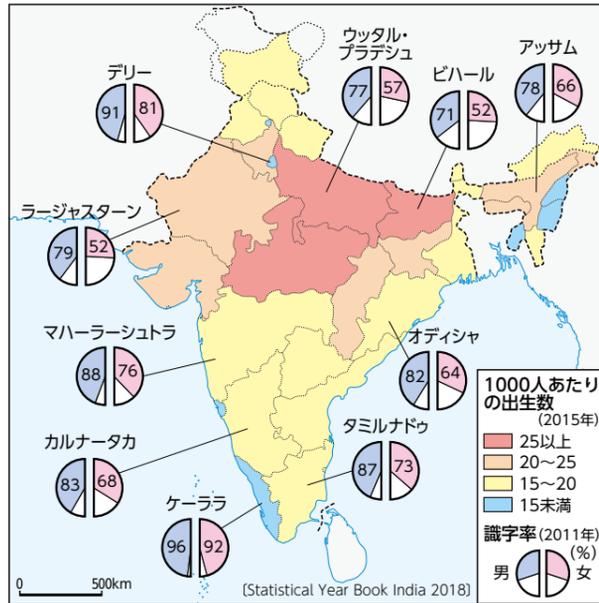
確認 先進国の人口問題の特徴を、「少子化」「高齢化」の語句を用いて説明しよう。

深い学び 発展途上国の人口問題の解決には何が必要なのだろうか。また、先進国の高齢化にはどのような対策が必要なのだろうか。

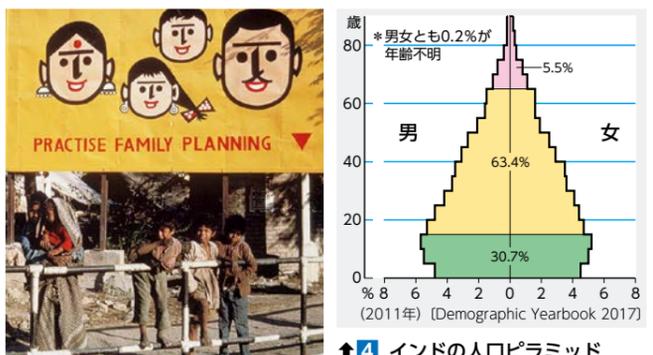
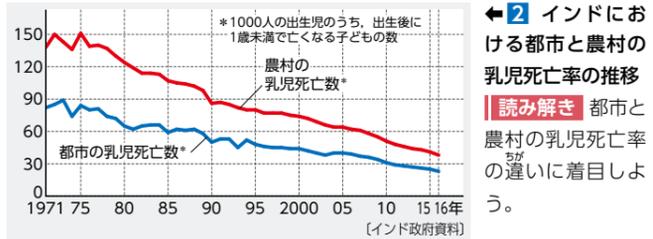
国際人口移動が活発化する背景がわかる。

## 3 地域で異なる人口問題への取り組み

学習課題 人口問題への取り組みは、インドとフランスでどのように異なるのだろうか。



↑1 インドの州別出生率と主な州の識字率 読み解き 出生数が多い地域の識字率の傾向を、男女差にも着目してとらえよう。



↑3 家族計画の普及をよびかける看板(インド、ニューデリー) 読み解き 家族計画の普及をよびかける看板(インド、ニューデリー) 読み解き



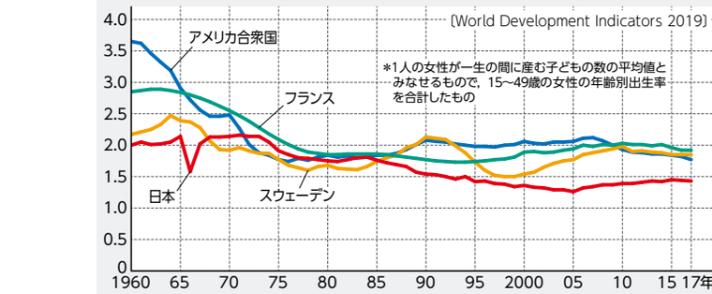
↑5 読み書きを習う農村部の女性たち(インド、ウッタル・プラデシュ州)

教育の普及や貧富の差が出生率に影響していることがわかる。

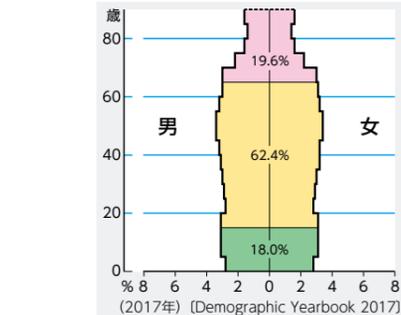
①識字率 15歳以上の人口のなかで、日常生活の簡単な内容についての読み書きができる人口の割合のこと。一般に、その国の教育水準をとらえる際の目安として用いられる。

**インドでの人口増加抑制の取り組み** インドの人口はおよそ13億で、中国に次いで世界第2位である。インドでは20世紀後半に急激な人口増加を記録した。この間に食料生産が増加し、経済発展も進んだが、貧富の差が大きく、十分な食料を得られない人々も多いため、栄養不足の人口の割合は比較的高い。

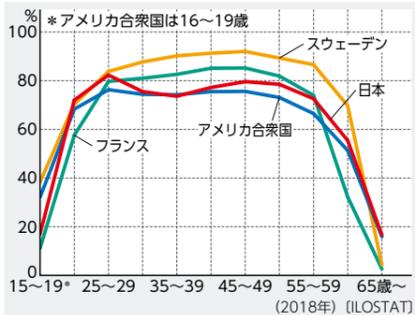
インド政府は、1960年代から**家族計画**の普及に努めてきた(写真3)。その成果もあって現在では出生率が低下し、以前よりも人口増加の勢いは緩やかになった。しかし、図1でインドの出生率の地域差をみると、南部では低いのに対し、北部では高い。このような地域差には、教育の普及の程度を表す**識字率**や、貧富の差などが関係している。特に子どもが労働力と考えられている農村部では、子どもをたくさんもつという考えを変えることは容易ではない。家族計画は人々の価値観とも関わるため、その普及にあたっては慎重に進めることが大切である。女性の識字率の向上は、家族計画の普及のみならず、国の経済発展にも影響を及ぼすため、成人女性のための読み書き教室を開設する活動などが行われている(写真5)。また、子どもに登校を促すために給食を無料で提供する取り組みも、政府やNGOなどによって進められている。



↑6 主な国の合計特殊出生率の推移 各国とも、1970年代ごろまでは第二次世界大戦後のベビーブームの影響で合計特殊出生率が高かった。



↑8 フランスの人口ピラミッド 読み解き p.167 図5の日本の人口ピラミッドと比較しよう。



↑9 主な国における女性の年齢別就業率 読み解き 子育て世代の20代~40代に着目して、日本とほかの国を比較しよう。



↑7 自宅で幼児の面倒をみる保育ママ(フランス、パリ、2016年) 写真の保育ママは32年間で160人以上の子どもの預かってきた。

	0歳	2歳	3歳	就学前
施設	一時託児所			
	保育学校			
在宅	保育所: 施設型、親管理型など		幼稚園	
	家庭型保育所			
	認定保育ママ: 県政府に登録		無認定保育ママ	

↑10 フランスの主な保育サービス フランスでは、在宅での保育サービスが発達しており、なかでも認定保育ママは、保育需要の7割を担っているとされる。

**フランスでの人口増加維持の取り組み** 6000万を超える人口をもつフランスは、早くに人口転換が終わり高齢化も進んでいるが、その人口ピラミッドは釣鐘型で(図8)、日本のようなつぼ型にはなっていない。その一因として、子どもをもつことを社会的に支援する**家族政策**が整備され、出生率の低下に歯止めがかかっていることがある(図6)。家族政策の内容は幅広く、例えば子育て世帯に対する現金給付や保育費用の控除などの税制上の優遇では、子どもの数が多いほど有利になるしくみになっている。また、乳幼児の保育については保育所や保育ママが整備され、子育て世帯の仕事と家庭生活の両立を支えている(写真7、図10)。さらに、父親の出産休暇制度も整備され、取得率も高い。ほかにも、妊娠と出産にかかる費用は原則無料で、3人以上の子どもがいる世帯では鉄道や公共施設などで割引を受けられるしくみもある。

他方で、高齢化の進行に伴って国内の産業に従事する労働力は不足しがちであり、国外から多くの移民を受け入れている。新たに移民として入ってきた人々だけでなく、かつての移民の子孫も含め、フランス国内には多様な文化的背景をもつ人々が暮らす。そのような多様な人々の存在は、社会的な対立につながることもあり、共存の道が模索されている。



↑11 カーゴ付きの自転車で子どもを送迎する父親(フランス、トゥールーズ、2018年)

具体的な取り組みをもとに、日本の将来を考えることができる。

この費用については公的な補助がある。

**確認** 発展途上国のインドと先進国のフランスが抱える人口問題には、どのような違いがあるのだろうか。

**深い学び** インドとフランスでは、人口問題を解決するために、どのような取り組みが行われているのか説明しよう。

持続可能な社会づくりに向けて



## 教育の普及について考えよう

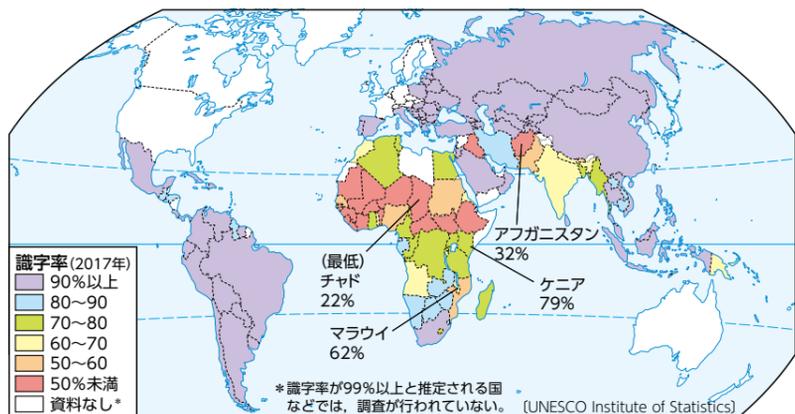
質の高い教育を普及させるための取り組み

### TRY

- 1 すべての人に質の高い教育を普及させることは、SDGsにおける17の目標のうち、どの目標の解決に結び付くのだろうか。関連すると考えられる目標を赤色で囲もう。
- 2 世界の教育の現状について、1の事例からとらえよう。
- 3 2と3の事例から、教育に関連したSDGsの目標を達成するために、日本が協力できることや私たちが取り組めることは何か考えよう。

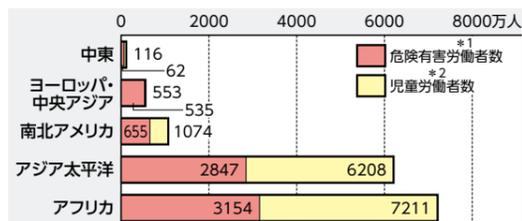


### 1 教育をめぐる世界の現状



15歳以上の人口のなかで、日常生活で使う簡単な文章を読み書きできる人口がどのくらいいるのかを表すのが、識字率(→p.170)である(図1)。識字率は、小学校段階の教育がどのくらい普及しているのかということと関連しており、国や地域による差が大きい。識字率が高いのは、日本をはじめ、欧米などの先進国である。一方、アフリカや南アジアなどの発展途上国では識字率は低い。発展途上国では、貧しい家計を助けるために多くの子どもたちが労働に従事しており(図2、写真3)、働くために学校に通えない子どもが多いことが問題となっている。

日本では、1970年代半ばごろには約9割の人が高校へ通うようになり、大学への進学率も一気に上がった。1990年代以降は幅広い知識や高い専門性が求められるようになり、女性の大学進学率も高まっている(図4)。

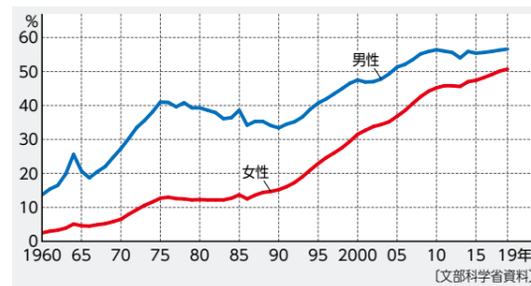


↑1 世界の識字率  
読み解き 識字率が低い国は、どの地域に集中しているのだろうか。

←2 地域別にみた児童労働者数



←3 日干しレンガづくりをする子どもたち(アフガニスタン、カブール) 貧しい家庭が多いアフガニスタンでは、子どもも収入を得るための労働力と考える家庭が今なお多い。



↑4 日本の男女別大学進学率の推移  
読み解き 複数の資料から教育をめぐる世界の現状を考察できる。

### 探究課題

すべての人に質の高い教育を普及させることは、持続可能な社会をつくるうえで最も効果的な手段の一つである。世界の教育環境にはどのような課題があり、質の高い教育を普及させるためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。ここでは、4節「人口問題」の学習内容を生かして、質の高い教育の普及について考えよう。

育を普及させるためには、どのような取り組みが必要なのだろうか。ここでは、4節「人口問題」の学習内容を生かして、質の高い教育の普及について考えよう。

### 2 子どもたちが学校に通える環境を整えるために必要なこと



↑5 屋外で授業を受ける子どもたち(マラウイ、2015年) 教室の設備は黒板だけで、子どもは土の地面にじかに座っている。

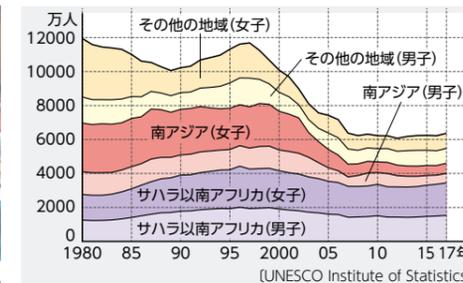
小学校に通えない子どもの数は、図7のように減少傾向にある。しかし、地域によっては、依然として小学校に通えない子どもの数が多い所もある。例えば、サハラ以南アフリカでは子どもの約5人に1人、西アジアおよび南アジアでは子どもの約10人に1人が小学校に通うことができていない。

このような状況の改善には、紛争の解決や国内の治安の改善、教室などの教育を受けるための施設の整備など、学校に通うための社会環境づくりが必要である。そこで、生活水準の向上、学校給食の普及のような、子どもを学校に通わせたいとするしくみづくりが、国連やNGO(→p.147)などによって行われている。

→6 学校給食プログラムで給食を食べるスラムの小学校の子どもたち(ケニア、ナイロビ)



国連世界食糧計画(WFP)では、学校で毎日栄養価の高い給食を提供する取り組みを、アフリカなどの国々を中心に実施している。この取り組みによって、子どもたちの通学頻度が高まり、教育水準も向上することが期待されている。



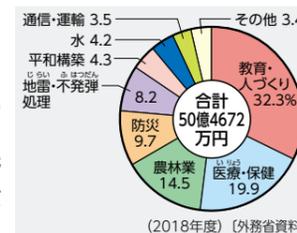
### 3 質の高い教育の普及を援助する日本の国際協力



↑8 日本から送られたミシンで縫製の職業訓練を受ける女性(フィリピン) 女性が経済的に自立するための技能教育がNGOによって行われている。

アジアやアフリカなどの発展途上国では、一般的に男性よりも女性のほうが教育を受ける機会に乏しい。そのため、日本政府はこれらの国々でNGOなどを支援することで、十分な教育を受けられず、貧しい生活環境におかれている女性たちに教育を受ける機会を設け、貧困から抜け出すための手助けを行っている(写真8、図9)。このような取り組みは、女性自身の人生を豊かにするだけでなく、次世代の子どもたちへの貧困の連鎖を防ぐことにもなる。また、教育を普及させるためには、教育を担う教員が必要となるため、小学校の教員などの人材を養成するための取り組みも進められている(写真10)。

→9 NGOの活動に対する日本政府の資金援助の内訳



読み解き どのような分野に力が入られているのだろうか。

→10 日本の国際協力機構(JICA)が支援している小学校教員養成のための学校(カンボジア、2019年) 子どもたちの教育を支える教員を養成するため、各国で施設の建設や技術協力が進められている。



質の高い教育を普及させるために、日本が様々な取り組みをしていることがわかる。

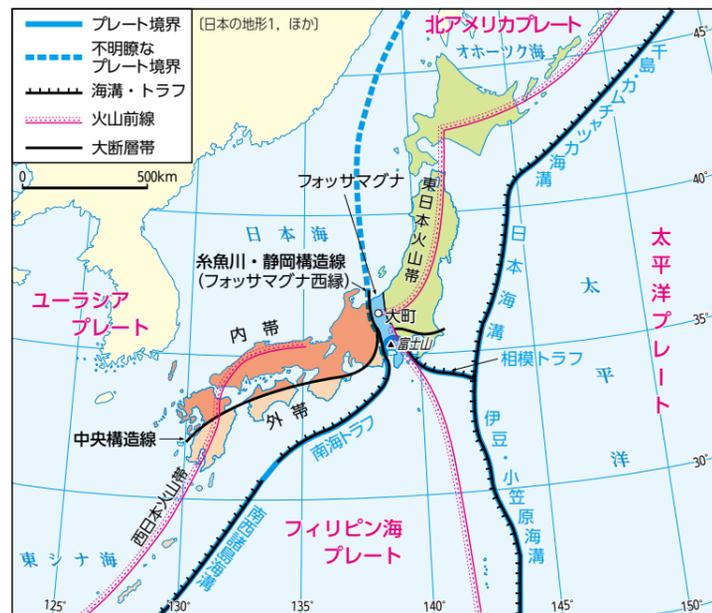
## 1節 日本の自然環境

節の主題

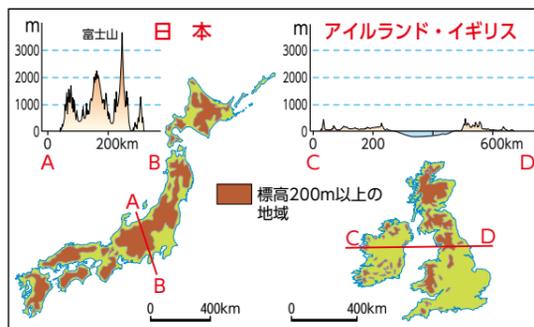
世界や日本の各地で発生する自然災害は、その地域の地形や気候といった自然環境と密接に結び付いている。日本の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか。

## 1 日本の地形

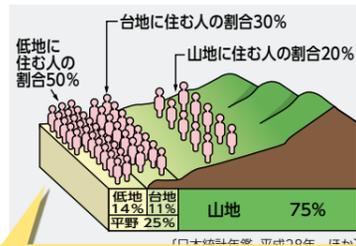
**学習課題** 日本の地形にはどのような特徴があり、どのようにして形成されたのだろうか。



↑1 日本の地体構造 トラフとは、海底の深い部分にある幅をもった溝で、海溝ほどの深さのない所のこと。プレート境界に沿って、トラフや海溝がみられる。



↑2 日本とアイルランド・イギリスの地形の比較  
読み解き 地図中の標高200m以上の地域の分布を比べよう。



↑3 地形別に見た日本の人口  
複数の資料から日本の地形の特徴を考察できる。

**地図帳** 日本の主な山脈の位置を確認しよう。

① **弧状列島** 大陸の縁に位置する弓の形をした長い島または島の列のこと。島の列に並行するように大洋側に海溝がみられる。日本列島のほか、アリューシャン列島や千島列島などがある。



↑4 北アルプスとよばれる飛騨山脈の尾根を歩く登山客(長野県, 2018年7月)

**プレートが重なり合う日本列島** 日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれた弧状列島であり、本州や北海道、四国、九州などの多くの島々からなる(図1)。

日本の地形は、日本付近に位置する4枚のプレートの動きと深く関わっている。例えば東日本の山地は、太平洋プレートが北アメリカプレートの下へ斜めに沈み込むことで、土地が少しずつ隆起してつくられた。また、プレートが沈み込む所では地下にマグマができやすいため、日本には火山が多い。それに加え、プレートが沈み込む圧力によって、地震も発生しやすい。

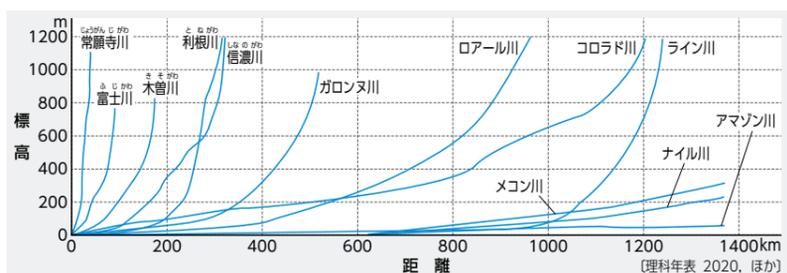
**日本列島の背骨をなす山地** 世界の陸地に占める山地の面積は約25%であるのに対して、日本では山地の面積が国土の75%を占める(図2・3)。日本列島には、山地や山脈が背骨のように連なっており、本州の中央部には3000m級の山々からなる飛騨山脈・木



↑5 フォッサマグナの露頭(新潟県, 糸魚川市, 2018年) 東西での地質の違いを明瞭に確認することができる。



↑6 空から見たフォッサマグナの西縁(長野県, 大町市)



↑7 日本の河川と外国の河川の勾配  
読み解き 同じ標高差を流れる距離の違いに着目しよう。



↑8 利根川の上流部(群馬県, みなかみ町) 急流を利用したラフティングを楽しむ人々がみられる。

曽山脈・赤石山脈の日本アルプスがそびえている。日本アルプスは、登山客やスキー客をひきつける観光資源となっている(写真4)。また、古くから林業が盛んな地域として、木材を供給する役割も果たしてきた。

日本アルプスの東側にはフォッサマグナとよばれる地溝帯が南北にはしり(写真5・6)、日本列島はここを境に折れ曲がっている。日本の山地や山脈は、フォッサマグナを境にして山々が連なる方向が異なっており、東北日本ではほぼ南北方向に、西南日本では北東から南西方向、または東西方向に並んでいる。

**日本の河川と沖積平野** 日本列島には標高の高い山脈が連なり、そこを境に太平洋側と日本海側に分かれている。この山脈のため、日本の河川は、アマゾン川やナイル川、ライン川などの大陸の河川に比べると全体の長さが非常に短く、勾配が急で流れも速い(図7、写真8)。このような河川の流域で大雨が降ると、水や土砂が山地から下流に一気に流れ込むため、洪水のたびに河口付近を中心に土砂が堆積し、沖積平野が形成されてきた。沖積平野は貴重な平坦地であり、大都市や農地が広がるなど(写真9)、活発な経済活動が営まれている。

② **フォッサマグナ** 本州の中央部を南北に縦断する地溝帯のこと。西縁は糸魚川・静岡構造線だが、東縁は不明で多くの断層が集まっている。この構造線を境に、東北日本と西南日本では地質が異なる。



↑9 砺波平野にみられる水田(富山県, 砺波市)

**確認** 大陸の河川と比べて、日本の河川にはどのような特徴があるのだろうか。

**深い学び** プレートの活動は、日本の地形にどのような影響を与えているのだろうか。

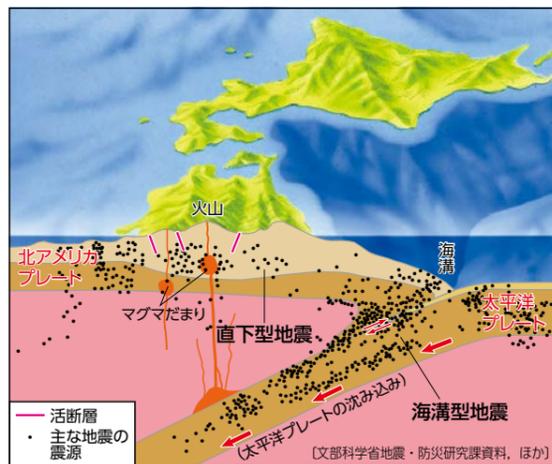
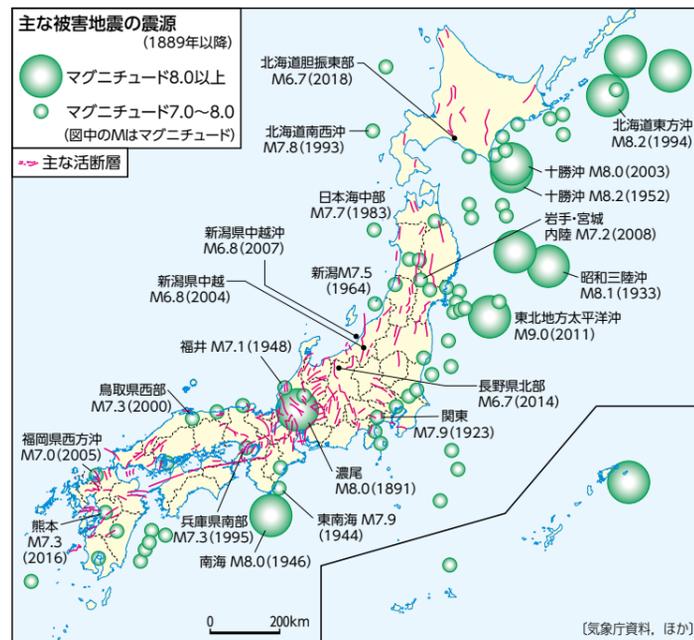
## 2節 地震・津波と防災

節の主題

変動帯に位置する日本は、数多くの地震によってさまざまな被害を受けてきた。地震や津波は、どのような被害をもたらすのだろうか。また、地震や津波の発生に備えて、どのような取り組みが必要なのだろうか。

## 1 地震・津波による災害

**学習課題** 地震・津波による災害は、地域によってどのような違いが生じるのだろうか。



**↑2 主な地震の震源の深さ(模式図)**  
**読み解き** 直下型地震と海溝型地震の震源の深さには、どのような違いがみられるのだろうか。

**←1 主な地震の震源と活断層**  
**読み解き** 規模の大きな地震はどこで発生しやすいのだろうか。

**① マグニチュード(M)** 地震の規模を表す値のこと。マグニチュードの値が1大きくなると、地震のエネルギーは約32倍になる。

**② 震度** 各地点の揺れの大きさを示す指標のこと。日本では、震度は0から7までの数字で決められ、そのうち、震度5と6は弱と強の二つに分かれており、計10段階で示される。



**↑3 長野県北部地震によって地表に現れた断層**(長野県、白馬村、2014年)

### 地震の種類と特徴

変動帯に位置する日本は、世界的にみても特に地震の多い地域である(図1)。地震はプレートの沈み込みや衝突で生じる力により、プレート境界に徐々に蓄積されたひずみが、一気に解放されるときに発生する。地震の規模はマグニチュード(M)で表され、各地点の揺れの大きさは震度で示される。通常、震源から遠ざかるにつれて震度は小さくなる。また、地盤の質の違いによっても震度の大きさは異なる。日本列島の太平洋沖に分布する千島・カムチャツカ海溝、日本海溝、相模トラフ、南海トラフ、南西諸島海溝などに沿う場所では、プレート境界にたまったひずみが解放されると、非常に規模の大きな海溝型地震が発生する(図2)。海溝型地震では、津波が発生して海岸地域に甚大な被害をもたらすことがある。一方、内陸部の活断層がずれ動いて発生する地震は、人の住む土地の直下で発生することから直下型地震とよばれる。直下型地震は規模が小さくても、震源に近い都市に大きな被害をもたらすことがある。

QRコンテンツの動画で、さらに理解を深められる。  
 \*詳細は本冊子p.68参照。

### 先人の知恵 過去の教訓を残す自然災害伝承碑

岩手県宮古市は、津波による被害を繰り返し受けてきた。市内にある姉吉地区の山あいの道路沿いには、写真4のような石碑が立っている。これは、1933年に発生した昭和三陸沖地震の際の津波被害を教訓につくられた。「此処より下に家を建てるな」と記されており、その先人の教えを守って高台に集落を築いたこの地区では、2011年の東北地方太平洋沖地震の際には、津波の被害に遭わずに済んだ。国土地理院では、このような災害教訓の伝承の貢献度を踏まえ、2019年から自然災害伝承碑の情報を地理院地図や地形図などに掲載し(→p.14)、過去の自然災害の教訓を生かした的確な防災行動による被害の軽減をよびかけている。

**→4 大津波記念碑**(岩手県、宮古市)



自然災害伝承碑が、教訓として役立つことがわかる。



**↑5 土砂に飲み込まれた住居や農地**(北海道、厚真町、2018年)

**読み解き** 写真5～7から、地域によって地震災害の違いがあることに着目しよう。



**↑6 液状化現象による家屋や道路の損壊**(北海道、札幌市、2018年)



**↑7 地震が原因で停車した電車を降りて線路を歩く人々**(兵庫県、神戸市、2018年)

### 地域で異なる 震災の被害

地震は建物の倒壊や津波のほかにもさまざまな災害(震災)を引き起こす。震災は地形や地盤などの自然条件や、都市か農村かといった社会条件によっても異なる。山間部では土砂災害が発生しやすく、河川の流域では堤防の決壊によって洪水が発生することもある。地盤が軟弱な場所では、地震の揺れが大きくなったり、液状化現象が発生したりすることがある(写真6)。沿岸部では津波による災害が発生する場合もある。また、都市では火災の発生やライフラインの断絶などの二次災害が発生しやすい。2018年の北海道胆振東部地震の際には、山間部で崖崩れや地すべりが多発し(写真5)、道路が寸断されて集落が孤立した。また、発電所が破損し、道内のほぼ全域で停電が発生した。停電に伴い水道やガスが止まり、鉄道も運転を見合わせるなど、経済活動への影響も大きなものになった。

**③ 液状化現象** 水分を多く含んだ軟弱な地盤が、地震の揺れによって液体のような現象のこと。建物や構造物が沈下したり、砂が吹き上がったりする。三州や旧河道、埋立地などで発生しやすい。

**④ ライフライン** 生活や生命の維持に必要な電気やガス、水道、交通、通信などの設備のこと。

**確認** 海溝型地震と直下型地震の違いを説明しよう。

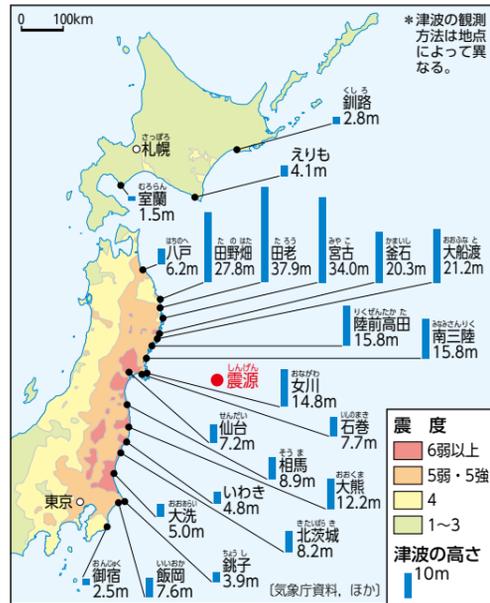
**深い学び** 震災による被害は、都市と農村でどのように異なるのだろうか。

## 2

### 地震・津波の被災地の取り組み

**学習課題** 地震・津波に対して、どのような防災・減災の取り組みが行われているのだろうか。

海溝型地震と直下型地震について、被害の特徴や対策を比較しながら考察することができる。



↑1 津波が押し寄せる仙台平野(宮城県、名取市・岩沼市、2011年) 高さ10m程度の津波が押し寄せて内陸まで達し、住宅地や農地が飲み込まれた。

↑2 東北地方太平洋沖地震の震度と津波の高さ  
読み解き 場所による津波の高さの違いに着目しよう。



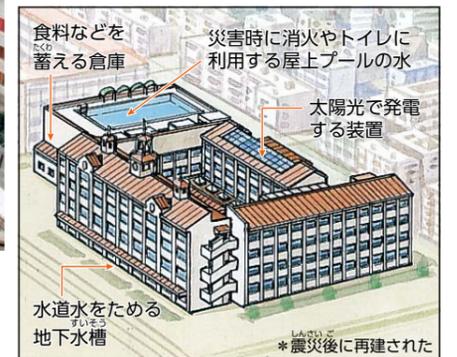
↑4 兵庫県南部地震で倒壊した高速道路(兵庫県、神戸市、1995年)

読み解き 高速道路の倒壊は、人々の生活にどのような影響を与えるのだろうか。

→6 災害に備えた設備がある小学校(神戸市立本庄小学校)



↑5 兵庫県南部地震の震源と活断層



\*震災後に再建された

三陸海岸の位置と海岸の地形の特徴を確認しよう。

①ハザードマップ 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図のこと。防災マップ、被害予測図、被害想定図などとよばれることもある。



↑3 復興中の田老地区の様子(岩手県、宮古市、2018年)

### 東日本大震災と防災の取り組み

2011年3月11日、マグニチュード9.0、最大震度7の東北地方太平洋沖地震が東日本を襲った。地震の揺れは広い範囲に及び、家屋の倒壊や火災、液状化現象などが東日本の各地で発生した。また、巨大な津波が東日本の太平洋沿岸地域を襲い、海岸部の広い範囲が津波による大きな被害を受けた(写真1・図2)。さらに、津波による浸水によって、福島第一原子力発電所の原子炉から放射性物質が漏れ出す重大事故も発生した。この地震による一連の災害は東日本大震災とよばれる。死者・行方不明者は1万8000人を超え、犠牲者の多くが津波によるものと考えられている。

東日本大震災で防潮堤や避難場所の建物も津波の被害を受けた三陸海岸では、震災後、ハザードマップの見直しが進められた。宮古市では、海岸近くの低地を商工業用地に指定して住宅の建設を規制する一方で、海から離れた高台に新しく宅地を造成する新たなまちづくりが進められている(写真3)。仙台平野では、海水をかぶった農地の塩分を取り除く作業が行われ、さらに農地の個々の区画を大きくすることにより、震災前よりも農地の生産性を高めようとしている。また、海岸近くを小高い堤防のようにはする高速道路を一時避難場所にした訓練も行われている。

### 阪神・淡路大震災と防災の取り組み

1995年1月17日の早朝に発生した兵庫県南部地震は、神戸市を中心に6400人以上の命を奪い、都市の機能を一瞬でまひさせた。神戸市の震度は7に達し、多数の建物が倒壊するとともに、火災も発生した(写真4)。犠牲者の大半は、壊れた建物や家具の下敷きになった人々だった。この地震による一連の災害は阪神・淡路大震災(阪神大震災)とよばれ、直下型地震が大都市の近くで発生した際の危険を多くの人に知らしめることになった。

この震災の際には、学校などに避難した住民のための食料の確保やライフラインの早期復旧が大きな課題となった。また、一斉に複数の地点で災害が発生したため、消防など既存の組織だけでは対応しきれなかった。そこで神戸市では、避難場所に指定した学校に食料を備蓄し、震災後に建てた学校の多くに災害時でも発電できる太陽光発電装置を付けるなど、学校が災害時の拠点になるよう整備を進めた(図6)。また、日頃から地域の福祉活動を通して、災害時に地域住民が中心となって消火や救護などの活動を展開できるような組織づくりも進められている。震災後につくられた防災学習施設では、震災経験者が自身の体験を語り継ぎ、見学者に避難体験をしてもらう取り組みなども行われている(写真7)。



↑7 「人と防災未来センター」で津波によって浸水した際の避難を体験する家族(兵庫県、神戸市、2018年) 水圧がかかるなかでの歩行がいかに困難かを、特殊な歩行装置で体験することができる。

確認 東日本大震災と阪神・淡路大震災では、被害の規模や範囲、原因にどのような違いがあるのだろうか。

節のまとめで、自分の住んでいる地域における地震・津波対策を考えることができる。

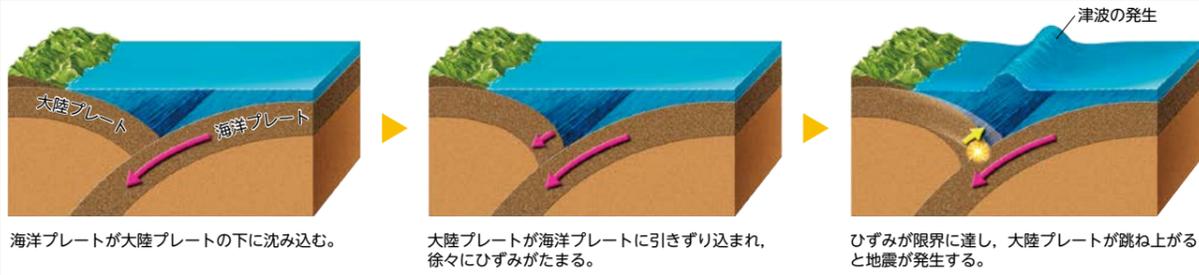
自分が住んでいる地域では、地震や津波に備えてどのような対策が必要なのか考えよう。

## 地盤のしくみ 地震や津波が発生するしくみ

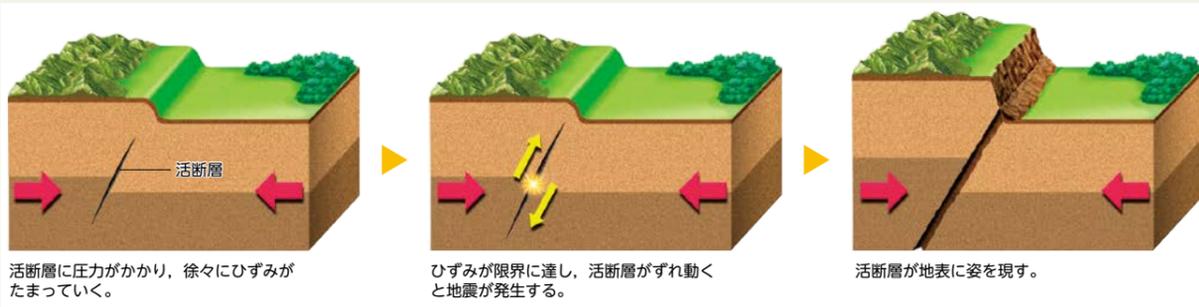
地震のしくみが視覚的にイメージできる。

### 地震のしくみ

①海溝型地震 海洋プレートが沈み込むと、大陸プレートも引きずられてひずみがたまり、境界に達すると、大陸プレートが跳ね上がって地震が発生する。巨大地震はこのタイプが多い。 ↓1 海溝型地震のしくみ



②直下型地震 海洋プレートの沈み込みによって大陸プレート内部に圧力がかかるとひずみがたまって活断層がずれ動き、地震が発生する。震源は地下十数kmと浅いことが多い。 ↓2 直下型地震のしくみ



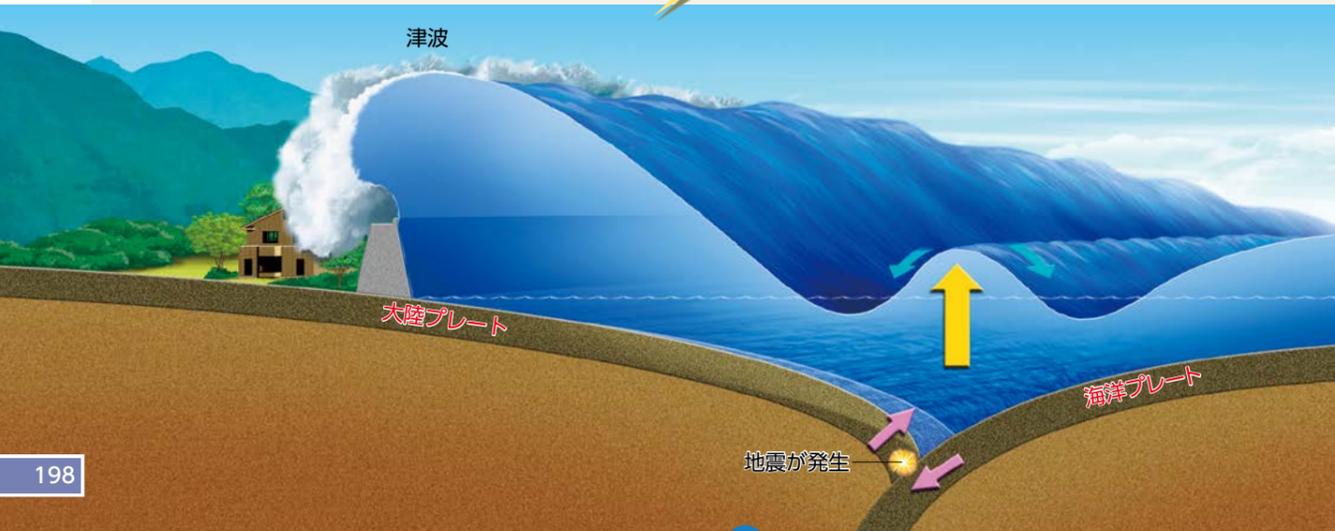
### 津波のしくみ

津波は、海溝型地震の発生に伴う大陸プレートの跳ね上がりによって、海底が隆起したり沈降したりすることで発生する。海底地形の変化と連動して、海水も隆起したり沈降したりする。隆起した海水は重力によって崩れ、高波となってあらゆる方向へ広がる。陸に向かった波は、水深が浅くなるにつれて高さを増し、津波となる。



丁寧な解説と迫力ある模式図によって、津波のしくみがよくわかる。

↓4 津波のしくみ QR動画



## SKILL 17 ハザードマップの見方

### ハザードマップの利用

ハザードマップは、将来発生する可能性がある災害の範囲や被害状況を予測した地図であり、過去の災害記録や、地形・地質などに関する資料などからつくられる。洪水や地震など、自然災害の種類別につくられ、その地域に暮らす住民の災害に対する意識を高めたり、災害発生時に取るべき行動を考えたりする際に有効である。

ハザードマップを見る際には、自分が住んでいる場所と想定される被害状況との関係を考えることが重要である。居住地にも被害が及ぶのか、及び際にはどのように避難すればよいのかということ、地図から読み取る必要がある。

- TRY**
- 図6の地図中の避難場所には、なぜ海拔高度が載っているのだろうか。災害の種類に着目して考えよう。
  - 市区町村のウェブサイトなどから、自宅や学校周辺のハザードマップを探そう。

災害の種類	ハザードマップで示される内容
地震	地震による津波被害や土砂災害の予想範囲などを表現。液化現象の危険性を示したのものもある。
津波	津波による浸水域と水深を表現。高台の避難所に速やかに避難できるように避難の方向を示したのものもある。
火山	噴火時の火砕流や溶岩流の到達範囲、土石流が発生する危険がある箇所などを表現。噴火時の立ち入り禁止箇所を示したのものもある。
洪水	洪水発生時の浸水域と水深を表現。平地の場合、避難所の階数まで示したのものもある。
土砂災害	崖崩れ、地すべり、土石流が発生する危険がある箇所を表現。

↑5 さまざまな自然災害とハザードマップで示される情報

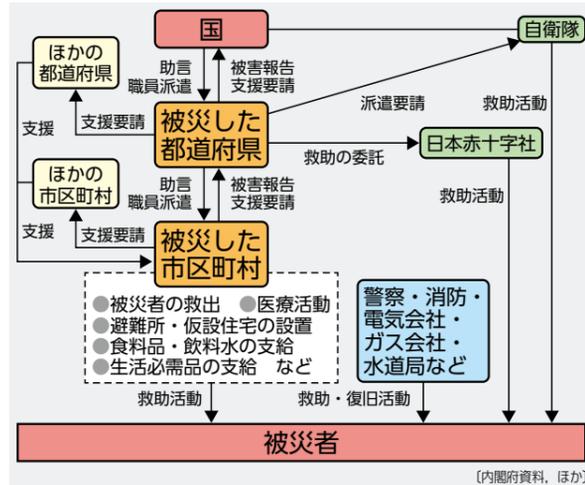
↓6 函館市の津波ハザードマップ(部分)



# 第3部第1章 自然環境と防災

## 2 被災地への支援

学習課題 自然災害の被災地には、どのような支援が必要なのだろうか。



↑1 自衛隊による救助活動(佐賀県, 武雄市, 2019年8月)

読み解き 災害の発生時、被災地はどのような支援を受けられるのだろうか。

↑2 被災者支援の流れ



↑3 避難所で夕食を受け取る人たち(北海道, 厚真町, 2018年9月)

事前復興計画 災害が発生した際のことを想定し、被害を最小化するために行う都市計画やまちづくりのこと。



佐賀県武雄市や北海道厚真町の位置を確認しよう。

確認 自助・共助・公助の語句の意味を説明しよう。

深い学び なぜ、事前復興計画を立てる自治体が増えているのだろうか。

### 自助・共助・公助

災害が発生した際には、被災地の自治体を中心として、被災者の救助や避難所・仮設住宅の設置、水・食料や生活用品の支給、医療活動といった支援が行われる(写真3)。それだけでは救助や復旧が難しい場合は、ほかの地域からも自治体・警察・消防・自衛隊の人々などが被災地に派遣される(写真1)。このように、災害時に国や市区町村などが行う応急対策活動を公助とよぶ。一方、地域の防災には、私たちが自分自身でできること(自助)も多い。例えば、避難所での生活で必要となる物資は、個人や家庭で準備しておくことが有効である。また、近隣の人たちと日常的な関わりをもっておくことは、災害が発生した際に、住民どうし、さらに外部からの災害ボランティアと協力して助け合うこと(共助)にもつながる。

### 復旧・復興の取り組み

自然災害をゼロにすることは難しい。そのため、災害が発生して被災した際には、復旧・復興のための取り組みが進められることになる。復旧・復興においては、建物やライフラインといったハード面の復旧だけでなく、経済・産業活動の回復、さらに、心身に大きな打撃を受けた被災地の人々の生活や心のケアも大切である。また、スムーズな復旧・復興を実現するためには、そのための計画をあらかじめつくっておくことが望ましい。このため近年では、事前復興計画という形で、被災前から、実際に被災したときの復旧・復興計画を立てておく自治体も増えている。

### 節のまとめ

自然災害に備えて自分たちができることを話し合おう。

学習のまとめとして、自分たちができる取り組みを話し合う課題を設定。

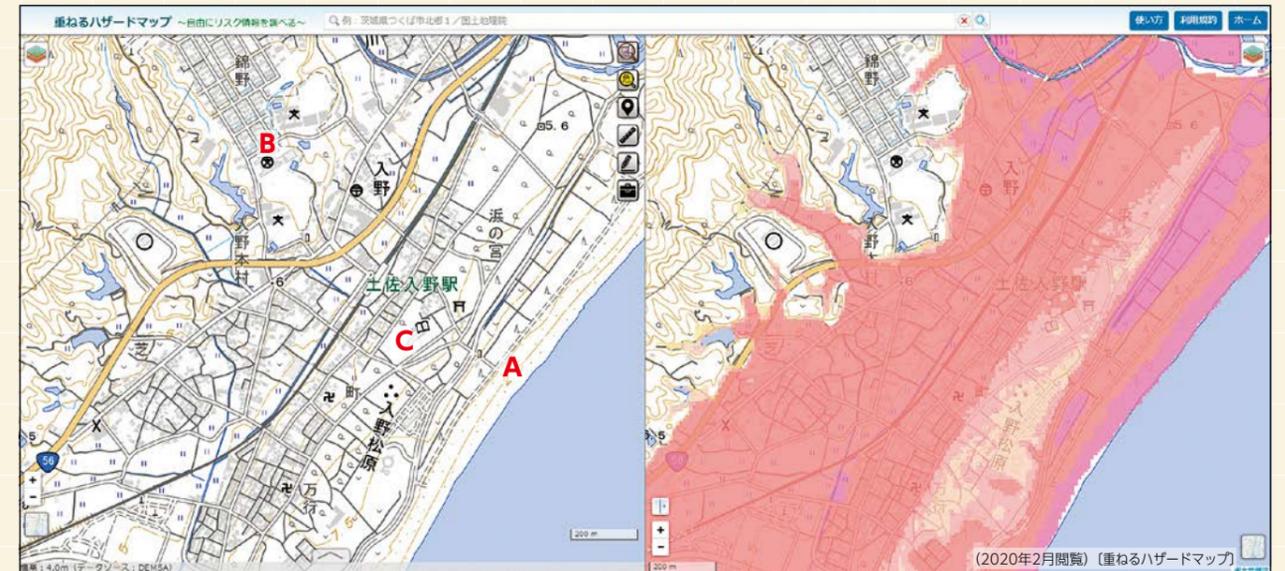
## SKILL 20 防災ゲーム「クロスロード」の活用

TRY 1 図4を参考にしながら、地震が発生したときのことを考えよう。Q1～Q3のような判断の分かれ道(クロスロード)で、あなたならYESとNOのどちらを選ぶだろうか。また、そのように判断した理由を話し合おう。  
2 国土地理院の「重ねるハザードマップ」で、図4の地域の津波浸水想定を調べよう。また、津波の指定緊急避難場所も確認しよう。

Q1 YES or NO  
あなたは同級生たちと海辺(A)に遊びに来た。地震を感じたが、大した揺れではないように感じた。まず、スマートフォンで情報収集をする？

Q2 YES or NO  
スマートフォンで津波警報を受信したので、急いで逃げ始めた。高台の高校(B)まで行けば安全そうだが、20分くらいかかりそう。友人は、「近くの図書館の屋上の避難場所(C)の方が近そうだ」と言う。友人に付いて行く？

Q3 YES or NO  
避難場所に着いた。時間がたち、食べ物がない。あなたはとても空腹。限られた食料を小学生以下の子どもと65歳以上の高齢者にだけ配布してはどうかと提案があった。賛成する？



↑4 「重ねるハザードマップ」でみた高知県黒潮町の周辺(左)と同じ場所の津波浸水想定(右) 左の地形図に津波浸水想定を重ね合わせると、右の地図になる。この地図に、さらに指定緊急避難場所や、道路の通行規制区間、冠水想定箇所などの道路防災情報を重ね合わせることもできる。

ポイント 国土地理院が公開している「重ねるハザードマップ」では、津波や洪水、土砂災害のハザードマップなどを重ねて表示することができる。

### 防災ゲーム「クロスロード」とは

防災は人間と自然の対決に見えるが、防災のための技術や制度が複雑化し、人々の考え方や価値観が多様化した現代社会では、人間と人間、あるいは、ある対策と別の対策との間の葛藤と調整、合意形成における判断なども重要な意味をもつ。

「クロスロード」とは判断の分かれ道のことで、防災に関する取り組みにみられるジレンマを題材に、二者択一の設問にYESまたはNOの判断を下すことを通して、防災を他人事ではなく自分のこととして考え、相互に意見交換することをねらいとした集団ゲームである。

災害時の行動にはっきりとした正解がないのと同様に、「クロスロード」の選択肢にも明確な正解はない。例えばQ1では、情報収集は確かに大切なことではあるが、地震発生後、わずかな時間で津波が押し寄せる可能性もあるので、直ちに高い場所に逃げたほうがよい場合もある。災害時に多くの人に受け入れられる判断を導き出し、実行に移すための対策を事前に進める準備として「クロスロード」に取り組むことが大切である。

防災に関する設問にYESまたはNOを選ぶゲームを通して、災害時の行動を実践的に考えることができる。



# 教科書内容の理解を助ける 充実のコンテンツ



スマートフォン  
からも閲覧可能。

●教科書p.4「関連するQRコンテンツ」  
や、教科書の裏表紙のQRコードを  
読み取ることアクセス可能。



\* QRコードを読み取り、表示されたウェブサイトにアクセスした際には、通信料がかかる場合があります。  
\* QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



# デジタル副教材も完備

●デジタル端末でご活用いただける副教材をご用意。

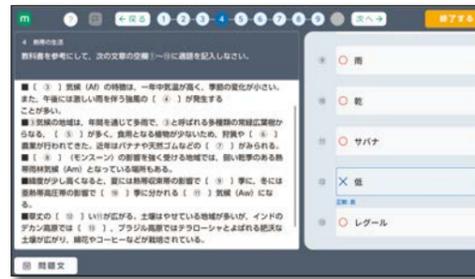


\* 詳細はQRコードからご覧いただけます。

\* 価格は2023年度版のものです。

**デジタル準拠ノート 高等学校 新地理総合**  
デジタル版：定価980円(税込)  
セット版(書籍+デジタル)：定価1,480円(税込)

- 教科書準拠ノートを、タブレット用に再構成。
- \* 生徒向け機能：正誤自動判定/オリジナルの「見方・考え方問題」
- \* 先生向け機能：学習状況管理/観点別レーダーチャート自動作成/作問ツール



▲正誤自動判定



▲観点別レーダーチャート

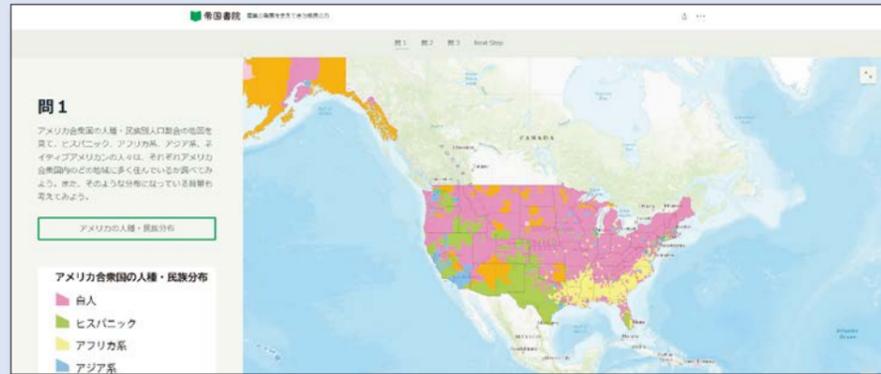


こちらの  
ノートの  
デジタル版  
です。



## アクセスWebGIS

教科書に **WebGIS** のマークがある用語に関連するWebGISコンテンツを10点収録。  
簡単な操作でGISを活用した授業ができる。各テーマに対応するワークシートも用意。



▲「産業の発展を支えてきた移民の力」の例

テーマ
1 GISを使ってみよう1 (デジタルの地図と地球儀)
2 GISを使ってみよう2 (地理情報システムの活用)
3 GISを使ってみよう3 (さまざまな統計データ)
4 植民地支配の影響が残るアフリカの産業
5 世界の食卓に影響を与える農業
6 産業の発展を支えてきた移民の力
7 EU統合による工業や社会への影響
8 火山地形の読み取り方
9 河川地形とさまざまな気象災害1 (扇状地)
10 河川地形とさまざまな気象災害2 (河岸段丘と氾濫原)

▶アクセスWebGISのテーマ

**新詳地理資料 COMPLETE 2023**  
クラウド配信版：定価988円(税込)  
セット版(書籍+クラウド配信)：定価1,488円(税込)

- タブレット端末で閲覧できる「クラウド配信版」と、書籍とクラウド配信の「セット版」を用意。
- クラウド配信版オリジナルコンテンツとして、地形や気候への理解が深まる動画などを全34点収録。



▲拡大・縮小、書き消し機能付き



▲オリジナルコンテンツの動画



こちらの  
資料集の  
デジタル版  
です。



## 一問一答

重要語句を確認できる。  
約200問収録。



## 用語解説

学習内容の理解に役立つ。  
側注解説で取り上げた用語を含め、  
300語以上収録。



## 動画

教科書に **QR動画** のマークがある用語に関連する動画を収録。  
アニメーションと解説によって学習内容の理解が深まる。



## 日本・世界の主な項目の統計資料

面積・人口、農業・漁業・林業、鉱工業、貿易などの統計を収録。円グラフや統計地図で表現することも可能。毎年、最新の統計に更新予定。

**地理統計Plus -WebGIS付き- 2023年版** 定価700円(税込)

- 書籍の統計書に加え、各統計データを地図化したWebGISを閲覧可能。
- 応用編の「NEXT STEP」では、ベースマップや表現の色も変更可能。



▲NEXT STEP



## ●指導を支援する教科書関連教材が充実。

### 1 指導資料

書名	内容	定価
高等学校 新地理総合 指導資料 指導用教科書	<p>◆教科書本体の見開きページの縮刷版をもとに構成した、教科書と同じデザインの指導用教科書。</p> <p>*こちらの販売形態は指導用教科書のみで単品販売です。下記で紹介している指導書Webサポートはご使用いただけません。</p>	4,400円 (税込)
高等学校 新地理総合 指導資料 Webサポートコンテンツ付	<p>①指導用教科書 ②指導書Webサポート*</p> <p>◆授業スライド(.pptx/Googleスライド) ◆授業プリント(.docx) ◆見通し・振り返りシート(.xlsx) ◆特設ページワークシート(.docx) ◆評価問題例(テスト例)(.docx) ◆映像資料 ◆年間指導計画案・評価規準例(.xlsx) ◆板書例(.txt) ◆教科書紙面(.pdf) ◆教科書本文(.txt) ◆教科書掲載図版〈カラー/モノクロ〉(.jpg)</p> <p>◆「高等学校 新地理総合ノート」データ(.docx) ◆教科書QRコンテンツ〈一問一答〉(.xlsx) ◆教科書QRコンテンツ〈用語解説〉(.xlsx) ◆教科書QRコンテンツ〈WebGISワークシート〉(.pdf) ◆白地図集(.jpg) ◆地理院地図の使い方/e-StatとjSTAT MAPの使い方動画 ◆GISサポート冊子のワークシート(.docx) ◆GIS主題図クリエイター(体験版)へのリンク(クーポンを登録してから半年間利用可能)</p> <p>*Webサポートは、帝国書院ウェブサイトからデジタルコンテンツをダウンロードいただけるサービスです。</p> <p>③付録冊子 ◆Webサポート紹介冊子 ◆GISサポート冊子</p>	24,200円 (税込)

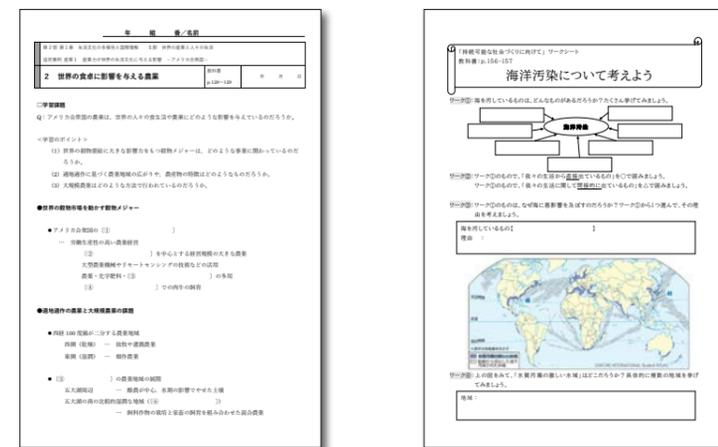
### ▼指導用教科書



- 教科書本体の見開きページの縮刷版をもとに構成した、教科書と同じデザインの指導用教科書。
- 解説や導入の活用例などを具体的に掲載しており、授業の流れがわかる。
- 「確認」や「深い学び」の解答例を掲載しており、学習の振り返りに役立つ。

◀教科書p.128-129に対応したページ

### ▼授業プリント・特設ページワークシート



- 教科書の各見開きに対応した授業プリントを用意。先生ご自身で加工も可能。
- 教科書特設ページに対応したワークシートも用意。主体的・対話的で深い学びをサポート。

◀教科書p.128-129に対応した授業プリント(左), p.156-157に対応した特設ページワークシート(右)

### ▼授業スライド

- 教科書1見開きにつき10~20枚のスライドを用意。先生ご自身で加工も可能。
- 白黒反転版も収録。

**教科書p.128~129**

#### 2 世界の食卓に影響を与える農業

第2部 国際理解と国際協力  
第1章 生活文化の多様性と国際理解  
5節 世界の産業と人々の生活  
追究事例 産業1 食料が世界の生活文化に与える影響 -アメリカ合衆国-

**学習課題**

アメリカ合衆国の農業は、世界の人々の食生活や農業にどのような影響を与えているのだろうか。

**学習のポイント**

- 世界の穀物供給に大きな影響力をもつ穀物メジャーは、どのような事業に関わっているのだろうか。
- 適地適作に基づく農業地域の広がりや、農産物の特徴はどのようなものだろうか。
- 大規模農業はどのような方法で行われているのだろうか。

**世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 1**

●アメリカ合衆国の①労働生産性の高い農業経営…②を中心とする経営規模の大きな農業…大型農業機械やリモートセンシングの技術などの活用…農業・化学肥料・③の多用…④での肉牛の飼育

**世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 2**

128-3 穀物メジャーの一つ、カーギル社が輸出している国・地域

**世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 3**

小麦	94.0%
大豆	33.7%
とうもろこし	22.6%
豚肉	16.3%
牛肉	15.1%
鶏肉	94.0%

128-4 主な農産物の輸出輸出に占めるアメリカ合衆国の割合

**確認**

アメリカ合衆国で行われている適地適作の農業について、「降水量」と「西経100度」の語句を用いて説明しよう。

**白黒反転の例**

世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 1

●アメリカ合衆国の①労働生産性の高い農業経営…②を中心とする経営規模の大きな農業…大型農業機械やリモートセンシングの技術などの活用…農業・化学肥料・③の多用…④での肉牛の飼育

**NEW**  
2023年4月より  
Googleスライドも  
ご利用いただけます

◀教科書p.128-129に対応した授業スライドの一例

**白黒反転の例**

世界の穀物市場を動かす穀物メジャー 1

●アメリカ合衆国の①労働生産性の高い農業経営…②を中心とする経営規模の大きな農業…大型農業機械やリモートセンシングの技術などの活用…農業・化学肥料・③の多用…④での肉牛の飼育

### 2 書籍版副教材

**高等学校 新地理総合ノート**  
定価630円(税込)

教科書完全準拠の構成で、学習事項を着実に習得できる。

**新詳地理資料 COMPLETE 2023**  
定価988円(税込)

地理総合から地理探究までを一冊でカバーする資料集。

**図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2023**  
定価978円(税込)

唯一の“地誌”重視の資料集。

\*価格は2023年度版のものです。

### 3 学習者用デジタル教科書

アプリ版 定価1,100円(税込)/クラウド配信版 定価1,320円(税込)

- ①教科書紙面(紙の教科書と同内容)
- ②拡大・縮小, 書き消し, 保存機能
- ③特別支援教育対応機能
  - ・リフロー\*表示や総ルビ, 白黒反転, 読み上げの機能を搭載。

\*書体や文字サイズ, 行間, 余白などを自由に変更して表示する機能です。

## 特色一覧

\* 下記の表は、帝国書院ウェブサイトでご覧・ダウンロードできます。

項目	特色
総合的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊富な写真や図表と因果関係がわかる本文を通して、<b>地理的な見方・考え方を働かせた学習</b>ができる。</li> <li><b>最新の具体事例</b>を数多く扱うことで興味関心を高め、理解を深める工夫がなされている。</li> <li>世界各地の生活文化の特色や現代世界が抱える諸課題を学ぶことで<b>異文化理解につながる教科書</b>になっている。</li> </ul>
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1部第1章「地図と地理情報システム」では、地図やGISの活用といった基礎的・基本的な<b>地理的技能を習得</b>できるよう、特設「SKILL」が設けられている。</li> <li>第1部第2章「結び付きを深める現代世界」では、国と国との結び付きや地域的な枠組みについての理解が深まるよう、<b>具体事例をもとに学習</b>できるようになっている。また、交通・通信や観光などに関して、グローバル化が進む世界の様子が多様な写真や地図、グラフなどで示されている。</li> <li>第2部第1章「生活文化の多様性と国際理解」では、世界各地の生活文化の特色を捉える上で、学習効果の高い写真・図版や具体事例が数多く扱われており、<b>生徒の興味関心を高める工夫</b>がなされている。また最新の内容で、地域の「今」の姿が捉えられるようになっている。</li> <li>第2部第2章「地球的課題と国際協力」では、持続可能な社会の形成に参画する態度を養うことができるよう、地球環境問題や資源・エネルギー問題、食料問題など、現代世界が抱える課題について<b>具体的な事例</b>が数多く取り上げられている。</li> <li>第3部第1章「自然環境と防災」では、<b>災害発生のメカニズム</b>や特徴から<b>具体事例による防災対策</b>まで総合的に学ぶことができ、災害発生時に生徒自身がとるべき行動を能動的に考えることができるようになっている。</li> <li>第3部第2章「生活圏の調査と地域の展望」では、自ら発見した疑問や課題を多面的・多角的な視野から考察する態度を養うことができるよう、調査テーマの設定方法や現地調査の手順、発表方法が<b>具体的なレポート</b>とともに提示されている。</li> </ul>
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導要領に合わせて、重要事項が適切かつ丁寧に解説されている。また、発展的な内容も学習できるように<b>側注欄の解説</b>や資料、<b>特設コーナー</b>が充実している。</li> <li>原則、<b>1時間1見開き構成</b>となっているので、分量が適量で学習計画を立てやすくなっている。</li> <li><b>学習課題→導入資料→展開→確認・深い学び</b>と学習の流れが整理されているため、効果的に学習できるようになっている。</li> <li>特設「SKILL」では、地理学習に欠かせない重要な地理的技能が習得できるようになっている。</li> </ul>
表記・表現 及び 使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々の生活や地域の動向がいきいきと伝わる写真や、地図・グラフなどの資料が豊富に設けられており、生徒が自らの力で地理的事象の傾向を読み取り、<b>視覚的に理解</b>できるようになっている。</li> <li>地理的事象の背景や因果関係までわかる、丁寧な本文となっている。また、<b>ふりがなや重要語句へのゴシック(太字)</b>も効果的に振られている。</li> <li>本文内容を補足する<b>側注解説</b>が数多く設置されており、理解を助ける工夫がなされている。</li> <li>本文には関連図版・写真の図番号が示されており、<b>資料の活用を促す工夫</b>がなされている。</li> <li>グラフなどの統計資料は、<b>新しいデータ</b>が使用されている。</li> <li>本文行間には、関連する事項が扱われているページの参照ページが割り当てられている。</li> </ul>
ユニバーサル デザインへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文や側注、キャプションなどの文字は、はっきり読み取ることができる<b>ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)</b>が使用され、読み取りやすく配慮がなされている。</li> <li><b>カラーユニバーサルデザイン</b>に配慮されており、色覚特性をもつ生徒にも読み取りやすい表現になっている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙は環境に配慮した<b>森林認証紙</b>が使用されている。従来よりも軽く(旧課程教科書比、単位面積あたり約5%軽量)、かつ裏写りがしない用紙となっている。</li> <li>インキには、再生産が可能な植物由来の油などを原料とするインキが使用されている。</li> <li>使用期間の間、破損することがないよう、<b>堅牢なつくり</b>になっている。</li> <li>指導資料やデジタル教科書・教材、準拠ノートなど、<b>充実した関連教材が用意</b>されている。</li> </ul>

## 著作者

新井 祥穂 (東京農工大学 准教授)	●	須貝 俊彦 (東京大学 教授)	●	矢守 克也 (京都大学 教授)
市川 康夫 (埼玉大学 准教授)	●	戸井田 克己 (近畿大学 教授)	●	新井 教之 (京都教育大学附属高等学校 教諭)
大呂 興平 (大分大学 教授)	●	根元 一幸 (神奈川大学 特任准教授)	●	高木 優 (神戸大学附属中等教育学校 教諭)
小野寺 淳 (横浜市立大学 教授)	●	武者 忠彦 (信州大学 教授)	●	中村 光貴 (筑波大学附属高等学校 教諭)
木村 圭司 (奈良大学 教授)	●	矢野 桂司 (立命館大学 教授)	●	森田 浩司 (大阪教育大学附属高等学校池田校舎 教諭)
佐々木 緑 (広島修道大学 教授)	●	山内 昌和 (早稲田大学 教授)	●	株式会社帝国書院

## 特別支援教育に関する監修・校閲者

丹治 達義 (筑波大学附属視覚特別支援学校 教諭)

